取扱説明書

ハードディスクレコーダー
DVR-S220 / DVR-S320

4CH / 8CH

DVR-S220

DVR-S320

この度は、セレン製ハードディスクレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この商品を安全に正しく使用していただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分理解してください。
お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。保証書は、必ず必要事項が記載されていることをご確認ください。

目次

1 お使いになる前に

2 使用を開始する 17

3 再生する 33

4 各項目の設定 43

目次

5 ネットワーク設定 125

6 その他 133

遠隔操作ガイド 別冊

付属品の確認

本製品には、下記の付属品が同梱されています。
梱包箱を開封した際には、下記の付属品が揃っているか内容をご確認ください。

	DVR-S220	DVR-S320
■ 本体	×1	×1
■ 専用ACアダプター	×1	×1
■ 電源ケーブル	×1	×1
■ リモコン	×1	×1
■ リモコン用乾電池（単4形）	×2	×2
■ BNC/RCA変換コネクター	×5	×9
■ マウス	×1	×1
■ 映像ケーブル	×1	×1
■ CD-ROM（ActiveX）	×1	×1
■ 取扱説明書（本書+遠隔操作ガイド）※保証書付き	×1	×1

本書の表記について

- 本書は、Windows®7、Internet Explorer®8を例に説明しています。
- 本書では、DVR-S220、DVR-S320を「本機」、または「本製品」、「DVR」と表記しています。
- 本書では、画面上のボタンを【　】に囲んで表記しています。　例：⇒【OK】
- 本書では、画面上の表示を[　]に囲んで表記しています。　例：⇒[解像度]
- 本書で記載している画面の表示内容は、「例」です。
- 本書は、主にDVR-S220の画面を使用して説明しています。
- 本書内に記載しているイラストや画像は、実際とは異なる場合があります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

○お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくため、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

表示	表示の意味
⚠警告	『取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されること』を示します。
⚠注意	『取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定されるか、または物的損害の発生が想定されること』を示します。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**

図記号	図記号の意味
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	指示する行為の強制（必ず実行していただく）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

指示

煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理をご依頼ください。

分解禁止

キャビネット（天板）をはずしたり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・修理は、販売店にご依頼ください。

水ぬれ禁止

花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

内部に異物を入れない

通風口や排気口から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

禁止

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

禁止

落としたり、キャビネットを破損したりした場合は使わない

火災や感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴り出したら本体および電源プラグには触れない

感電の原因となります。

禁止

電源コードを傷つけない

●重いものをのせない　●引っ張らない
●ねじらない　●無理に曲げない
●加熱しない●加工しない●束ねない

コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり、断線したりするなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

⚠警告

指示

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

交流100V以外の電圧で使用したり、配線器具の定格電流を超えて使用したりすると、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。

指示

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。また、傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

指示

ACアダプターなどは、付属又は指定のものを使う

指定以外のものを使用すると、電圧・電流値や＋－の極性が異なっていることがあるため、火災の原因になります。

指示

ACアダプターを抜き差しするときは、コードを持って引っ張らない

コードを引っ張って抜くと、コードが破損し、火災や感電の原因になります。

⚠注意

禁止

湿気やほこりの多い場所に設置しない

火災や感電、故障の原因になります。

禁止

振動や強い衝撃を与えない

火災や感電、故障の原因になります。

指示

本製品（付属品含む）は屋内専用です

屋外での使用は、火災や感電、故障の原因になります。

電源プラグ

長時間使用しないときや、お手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜く

漏電、感電の原因になります。

禁止

通風口をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない

通風口、排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

指示

本製品は日本国内専用です

放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。
This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

禁止

電池は幼児の手の届く所に置かない

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

指示

電池はプラス（+）とマイナス（−）の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破壊・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

禁止

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の破壊・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指示

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電や液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

電池の破壊・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。

指示

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

使用上のご注意

内蔵ハードディスク（以下、HDD）について

●本製品は、精密機器であるHDDを搭載しております。
本製品の取扱いには、十分ご注意ください。

●本製品に振動や衝撃を与えないでください。
特に通電中やHDDへのアクセス中は、故障の原因となりますので十分ご注意ください。

●録画・再生の動作中に、電源プラグを抜かないでください。

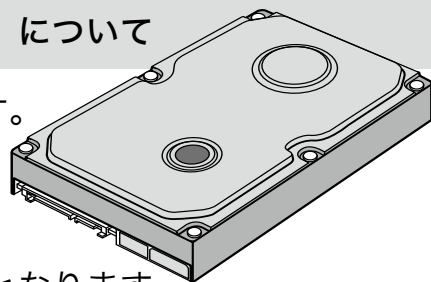
●本体の電源を切ってから少なくとも1分間は移動させないでください。

●強い磁気を持っているもの、強い電磁波を出すものを近づけないでください。
HDDに記録されているデータが損なわれることがあります。

● HDDに異常が発生したと思われる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

● **HDDは、消耗劣化する部品です。使用環境により寿命は異なりますが、＋25℃の環境でご使用になる場合で、20,000 ～30,000時間を目安に交換してください。**
（ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、寿命を保証するものではありません。）

● HDDの交換は、お買い上げの販売店にご相談ください。

●故障の早期発見のため、定期的に録画再生の確認をされることをおすすめします。

使用電源について

・使用電源はAC100Vです。
・消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。

使用温度範囲について

・この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。また、内蔵ハードディスクは特性上、温度が高くなると特性劣化や寿命に影響を与えます。+20℃～+30 ℃以内で使用されることをおすすめします。

結露について

・故障の原因となりますので結露に注意してください。結露が発生しやすい条件は次のような場合です。目安として電源を入れるまで2時間程度放置してください。
□湿度の高いところ
□暖房した直後の部屋
□冷房されているところと、温度や湿度の高いところを移動したとき

長期間使用しない場合の対応について

・機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき（1週間に1回程度）電源を入れて録画・再生動作を行い、映像を確認してください。

大切な記録の保存について

・必ず事前に記録を行い、正常に記録されていることを確認してください。また定期的に確認を行い、正常に録画されていることを確認してください。
・本機を使用中、本機もしくは接続機器等の不具合により、記録されなかったり正常に再生できなくなったりした場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
・万一の故障や事故に備えて、大切な記録の場合は定期的にバックアップをとられることをおすすめします。

ネットワークについて

・ネットワークの設定については、必ずネットワーク管理者の権限のもとで設定されることをおすすめします。

動体検知機能について

・本機に搭載されている動体検知機能は、入力される映像信号の状態などにより、誤動作する場合があります。本機の検知機能を用いて発報するシステムなどに接続している場合は、誤動作にご注意ください。
・以下のような場合、動きを検出しにくい、または検出しなかったり、誤動作する場合があります。
□背景と動いている被写体に輝度（明るさ）の差がない
□夜間など、映像の輝度が低い
□被写体の動きが遅い
□被写体が小さい
□屋外、窓際など光線状態が変わりやすい
□日光・車のヘッドライトなどの外光が入る
□蛍光灯がちらつく
□被写体に奥行きがある
・動体検知の設定を行う際は、カメラの設置状況・予想される被写体の動きにあったエリア設定、感度設定を行った後、昼間と夜間にその動作を確認してください。また、検出しない場合や誤検出する場合は、別途センサーを使用してください。

本機を使用した監視システム構築上の注意

・本機を使用して監視システムを構築される際には、事前に他の機器との接続や組み合わせによる動作確認を行った上で、ご使用になることをおすすめします。
・大切な記録の場合は、必ず定期的にコピー／バックアップをとられることをおすすめします。
・万一、本機の不具合により監視システムの動作エラー、記録データの消失、その他の損失が発生した場合、弊社はその補償や責任を一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・本機のリレー機能を、重大な判断に使用したり、人命に関わる用途などに使用したりしないでください。
・記録動作中にコンセントを抜いたりブレーカーを切ったりすると、ハードディスクが故障したり、記録したデータが再生できなくなる恐れがあります。

外部機器について

・本製品には、USBメモリーでのバックアップ機能が搭載されています。また、本製品をインターネット環境に接続し、外部のパーソナルコンピュータより映像の確認をすることができます。
・本製品に接続する外部機器については、実際の運用前に必ず確認をしてご使用いただくようお願いします。
・ご使用になりたい外部機器が運用方法に適さない場合があります。販売店にお問い合わせしていただくことをおすすめします。

機器を廃棄または譲渡される場合

・HDD内の映像データの取り扱いに注意し、ご使用者側の責任において行ってください。

使用上のご注意

使用場所について

・本機は屋内専用です。また、以下の場所には設置しないでください
□直射日光の当たる場所
□振動の多い場所や衝撃が加わる場所
□スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
□結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
□厨房など蒸気や油分の多い場所
□傾斜のある場所
□水滴または水沫のかかる場所
・横置き（水平）に設置してください。縦置き、傾けての設置など不安定な場所に置いて使用すると、HDDなどの故障の原因となります。

放熱について

・内部に熱がこもると、故障の原因となります。
・通風口を壁やラック、布などでふさがないでください。ほこりなどで通風口がふさがれないように、定期的にお手入れしてください。

冷却ファンについて

・冷却ファンは使用環境により寿命は異なりますが、消耗劣化する部品です。+25℃の環境でご使用になる場合で、20,000〜30,000時間を目安に交換してください。（ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、寿命を保証するものではありません。）
・交換時は、お買い上げの販売店にご相談ください。

雑音源は避けてください

・電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、映像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本製品の位置を変えてください。

付属の電源コードについて

・付属の電源コードは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

お手入れについて

・お手入れは電源を切ってから行ってください。
・キャビネットの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
・汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたしたあとよくしぼった布で汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。
・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
・ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。変質したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。

その他

・殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
・ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
・許容周囲温度を必ずお守りください。
・移動させるときは、必ず電源スイッチをOFF にし、完全に停止したことを確認したあと、電源プラグをコンセントから抜いてください。通電中に過度な衝撃を与えると、機器内部の電子部品やHDD をいためることがあります。
・移動させるときは、内部に衝撃を与えないように緩衝材などで包んでください。

免責について

・本製品は盗難・犯罪防止器具、災害防止器具ではありません。本製品の使用または使用不能から生じる不随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
・地震、雷、風水雪害などの自然災害、当社の責任によらない火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は、一切の責任を負いません。
・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
・弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や操作不能などから生じる損害に関しては、弊社は一切の責任を負いません。
・本機を使用中、万一何らかの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、弊社は一切の責任を負いません。
・お客様ご自身または権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
・本製品により記録・編集された映像が何らかの理由により公となり、または記録・編集目的以外に使用され、その結果個人または団体などによるプライバシーの侵害などを理由とするいかなる賠償請求やクレームなどに関しては、当社は一切の責任を負いません。
・商品の設置（取付け・取外しなど）により生じた建物への損害やその他の損害について、当社は一切の責任を負いません。

個人情報の保護について

・本製品のシステムを使用して撮影、記録された人物・その他の映像で、個人を特定できるものは、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。（その映像の開示・公開、インターネットでの配信はあらかじめ承諾を得ることが必要になり、システムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。）
※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

著作権・肖像権についてのご注意

・本製品で録画した映像を無断で複製、放映、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
・お客様が本製品で録画した映像を権利者に無断で使用、開示、頒布または展示等を行うと著作権・肖像権等の侵害となる場合があります。なお、実演や興行、展示物などの中には、監視などの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている映像やファイルの伝送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますのでご注意ください。

輸出制限について

・本製品を海外へ持ち出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国輸出管理規制等、外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

用途制限について

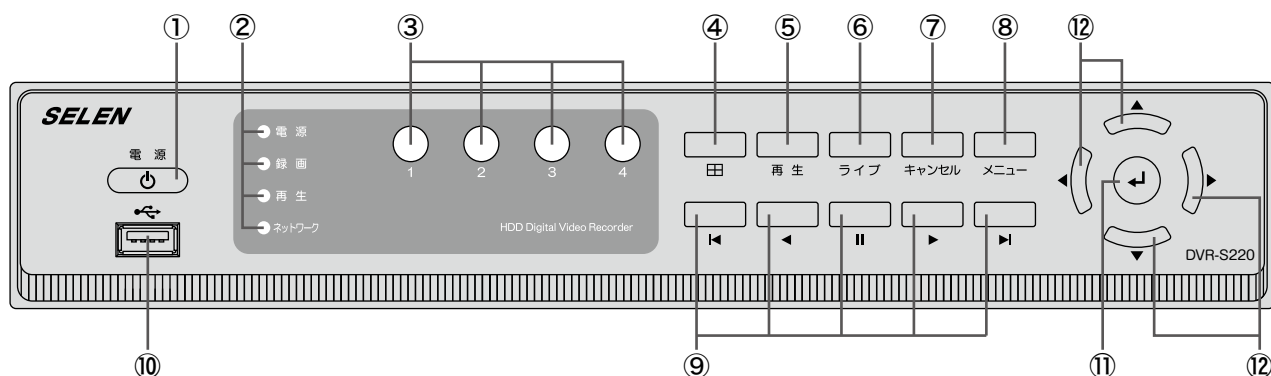
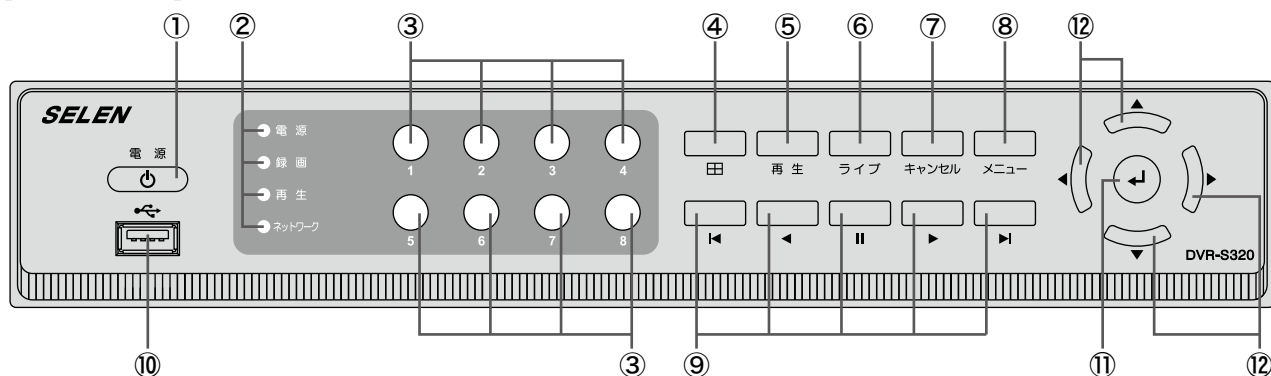
・本製品は、一般家庭・店舗用を意図として設計・製作されています。
・生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、当社は一切の責任を負いません。
※高信頼性を必要とする用途例：化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御、重要な監視用途など

商標および登録商標について

Microsoft®、Windows®、Windows® XP、Windows® Vista、Windows® 7は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。（Windows® の正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。）
その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
（なお、本文中では「®」を明記していません。）

各部の名称とはたらき

本体前面

【DVR-S220】

【DVR-S320】

① 電源ボタン
本機の電源を ON ／ OFF します。

② ランプ

[電源] 電源が入っているときに点灯します。

[録画] 録画しているときに点灯します。

[再生] 再生しているときに点灯します。

[ネットワーク] ネットワークに接続しているときに点灯します。
データ通信時は点滅します。

③ カメラ切替ボタン
各カメラ [1 ～ 8(5～8は、DVR-S320のみ)] の画面に切り替えます。

④ 分割画面切替ボタン
（DVR-S220の場合）4 分割画面に切り替えます。
（DVR-S320の場合）4 分割画面・8 分割画面に切り替えます。

⑤ 再生メニュー画面切替ボタン
ライブ画面から再生操作画面に切り替えます。

⑥ ライブ画面切替ボタン
再生中の画面からライブ画面に切り替えます。

⑦ キャンセルボタン
各項目をキャンセルします。

⑧ メニューボタン
メニュー画面を表示させます。

⑨ 再生時操作ボタン

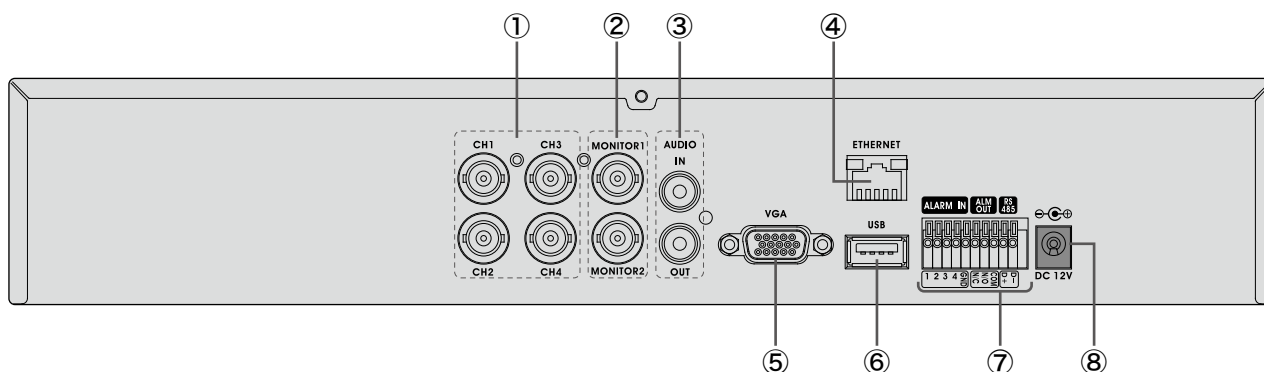
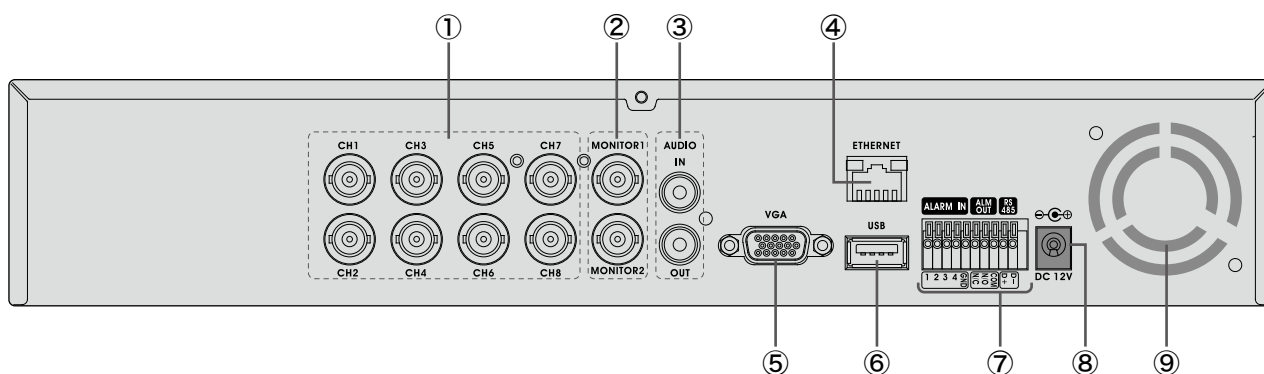
⏮ コマ戻しボタン	コマ戻し再生をします。
◀ 戻し再生ボタン	戻しながら再生します。
❚❚ 一時停止ボタン	再生を一時停止します。
▶ 再生ボタン	再生をします。
⏭ コマ送りボタン	コマ送り再生をします。

⑩ USB 端子
マウスや USBフラッシュメモリーなどを接続します。

⑪ 決定ボタン
選択、設定内容を確定させます。

⑫ 上下左右移動ボタン
メニュー画面でカーソルを移動させます。

本体後面

【DVR-S220】

【DVR-S320】

① カメラ（映像）入力端子
カメラ（映像）を入力します。

② モニター出力端子
映像を出力します。

③ 音声入出力端子
音声を入出力します。

④ LAN 端子
LAN ケーブルを接続します。

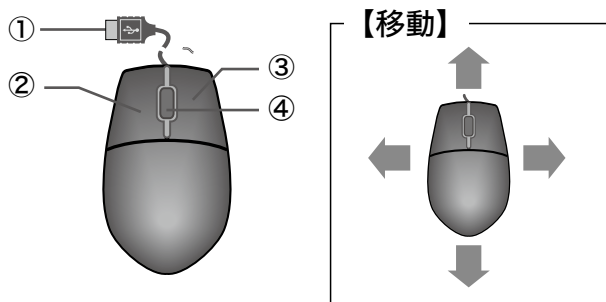
⑤ VGA 端子
VGA 仕様のモニターや VGA ケーブルを接続します。

⑥ USB 端子
マウスや USBフラッシュメモリーを接続します。

⑦ センサー入力・リレー出力・
RS485 信号端子
※詳しくは、P.137「背面の端子について」をご覧ください。

⑧ 電源入力［DC12V］
付属の AC アダプターを接続します。

⑨ 冷却ファン

マウス

① USB端子
本体のUSB端子に接続します。

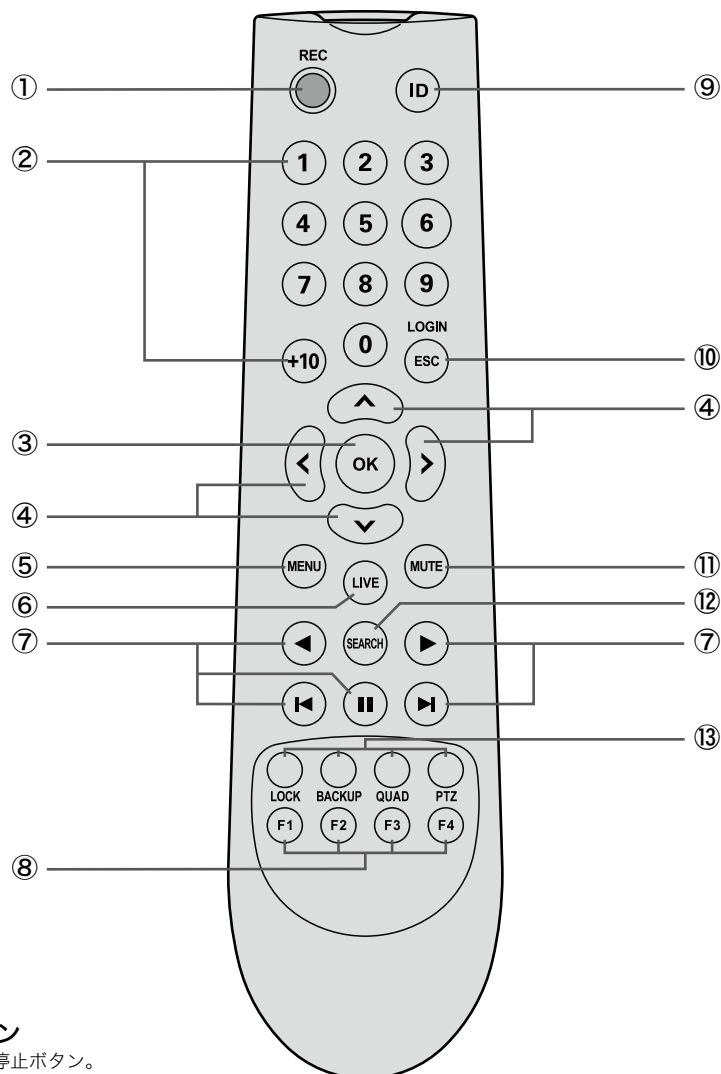
② 左クリックボタン
選択、決定などの時に使用します。

③ 右クリックボタン
ログイン時のライブ画面で「ツールバー」を表示させます。

④ スクロール
選択項目をスクロールする時に使用します。

本体前面もしくは背面のUSB端子にマウスを接続します。しばらくすると、画面上にマウスポインタ（矢印）が表示されます。

各部の名称とはたらき

リモコン

① 手動録画ボタン
手動録画の開始・停止ボタン。

② カメラ切替ボタン
カメラ切替には、1〜8(5〜8は、DVR-S320のみ)のボタンを使用します。

③ 決定ボタン
各項目の設定内容や数値などを変更・確定します。

④ 上下左右移動ボタン
メニュー画面でカーソルを移動させます。
再生時、再生スピードを切り替えます。

⑤ メニューボタン
メニュー画面を表示させます。

⑥ ライブ画面切替ボタン
再生中の画面からライブ画面に切り替えます。

⑦ 再生時操作ボタン

◀ 戻し再生ボタン　戻しながら再生します。
▶ 再生ボタン　再生します。
⏮ コマ戻しボタン　コマ戻し再生をします。
⏭ コマ送りボタン　コマ送り再生をします。
⏸ 一時停止ボタン　再生を一時停止します。

⑧ ファンクションボタン
使用しません。

⑨ ID ボタン
リモコンの ID ボタン

⑩ ログインボタン
キャンセルボタン

⑪ ミュートボタン
ミュートの設定・解除。

⑫ 再生メニュー画面切替ボタン
ライブ画面から再生操作画面に切り替えます。

⑬ 各種設定操作ボタン

LOCK ロックボタン
操作をロックさせます。

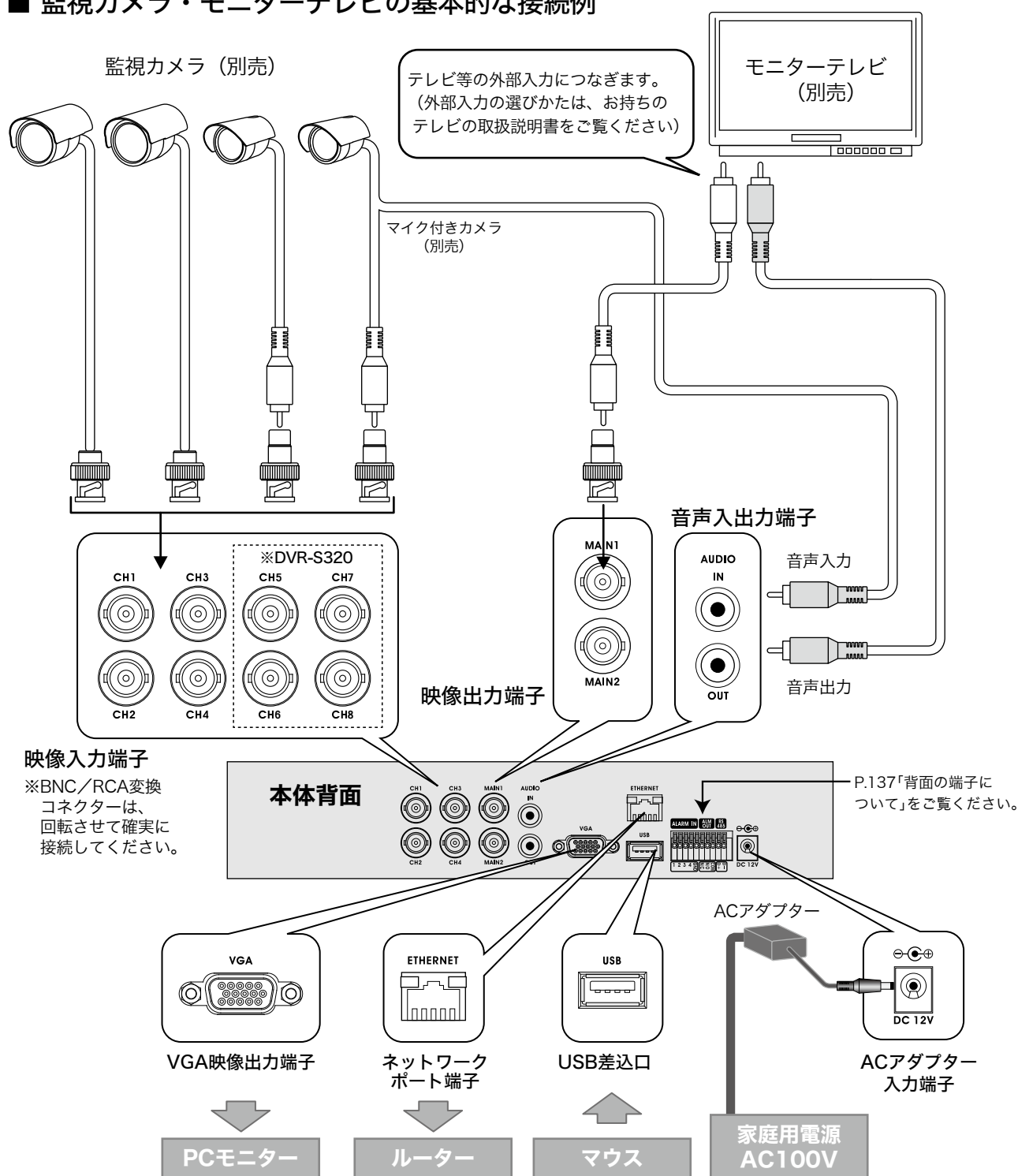
BACKUP バックアップボタン
バックアップメニューを表示させます。

QUAD 分割画面切替ボタン
(DVR-S220 の場合)
4 分割画面に切り替えます。
(DVR-S320 の場合)
4 分割画面・8 分割画面に切り替えます。

PTZ パン・チルトボタン
パン・チルト操作画面に切り替えます。
※パン・チルトカメラを設定したカメラチャンネルが単一画面の時

基本的な接続例

DVR-S220を例に説明しています。

■ 監視カメラ・モニターテレビの基本的な接続例

◆ 同時に4台（DVR-S320は、8台）までの監視カメラを接続することができます。（VIDEO IN　BNC端子）
カメラのビデオケーブルがBNC端子の場合はそのまま接続できます。
RCAピン端子の場合は、付属のBNC／RCA変換コネクターを本製品の端子部に接続してから、ビデオケーブルを差し込んでください。
BNC／RCA変換コネクターは、回転させて確実に接続してください。

※ カメラの電源は、別途必要です。

※ 監視カメラによってビデオケーブルは、別売りになっている場合があります。

※ 接続される機器の操作につきましては、各取扱説明書をご覧ください。

※カメラチャンネル1のカメラ機能は［OFF］にすることができません。

録画時間について

録画時間は、[録画設定] 内の「録画指数」と「画質」の設定によって増減します。

解像度 [704×240] の1フレーム
＝録画指数 [1]

録画指数は、録画設定画面で「解像度」と「FPS」を選択すると自動で計算されます。

▼DVR-S220の録画設定画面

▼DVR-S320の録画設定画面

▼録画時間の目安（24時間 [通常録画] 設定で録画の場合）

録画指数	画質	DVR-S220 録画期間		DVR-S320 録画期間	
		録音なし	録音あり	録音なし	録音あり
1	低	約1年8カ月間	約1年4カ月間	約3年4カ月間	約2年8カ月間
	中	約1年5カ月間	約1年2カ月間	約2年10カ月間	約2年4カ月間
	高	約1年2カ月間	約1年間	約2年4カ月間	約2年間
15	低	約249日間	約212日間	約1年4カ月間	約1年2カ月間
	中	約187日間	約165日間	約1年間	約330日間
	高	約124日間	約114日間	約248日間	約228日間
30	低	約124日間	約114日間	約248日間	約228日間
	中	約93日間	約87日間	約186日間	約174日間
	高	約62日間	約59日間	約124日間	約118日間
60	低	約62日間	約59日間	約124日間	約118日間
	中	約46日間	約45日間	約92日間	約90日間
	高	約31日間	約30日間	約62日間	約60日間
90	低	約41日間	約40日間	約82日間	約80日間
	中	約31日間	約30日間	約62日間	約60日間
	高	約20日間	約20日間	約40日間	約40日間
120	低	約31日間	約30日間	約62日間	約60日間
	中	約23日間	約23日間	約46日間	約46日間
	高	約15日間	約15日間	約30日間	約30日間
150	低	約24日間	約24日間	約48日間	約48日間
	中	約18日間	約18日間	約36日間	約36日間
	高	約12日間	約12日間	約24日間	約24日間
180	低	約20日間	約20日間	約40日間	約40日間
	中	約15日間	約15日間	約30日間	約30日間
	高	約10日間	約10日間	約20日間	約20日間
210	低	約17日間	約17日間	約34日間	約34日間
	中	約13日間	約13日間	約26日間	約26日間
	高	約9日間	約9日間	約18日間	約18日間
240	低	約15日間	約15日間	約30日間	約30日間
	中	約11日間	約11日間	約22日間	約22日間
	高	約7日間	約7日間	約14日間	約14日間

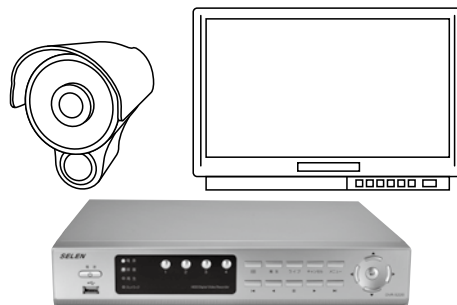
注意
「録画時間の目安」は、あくまでも目安です。録画時間（日数）を保証するものではありません。
「録画時間の目安」に記載した録画時間（日数）は、録画される映像（色、明るさ、動き等の違い）により極端に短くなる場合があります。

使用を開始する

すぐに使える"DVR-S220/DVR-S320"

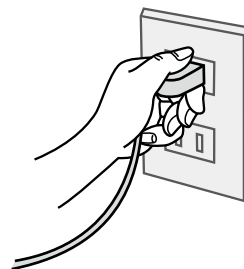
Step.1

カメラ・モニターを接続する

P.15「基本的な接続例」を参考に、監視カメラ、モニターを接続します。

※イメージは、DVR-220です。

Step.2

電源コード・ACアダプターをつなぐ

付属のACアダプターと電源コードをつなぎ、本体の電源入力端子と家庭用電源コンセント（AC100V）に接続します。

自動的に電源が投入されます

Step.3

しばらくすると自動的に録画状態になります。

（電源投入後、録画状態になるまで、約1分30秒かかります）

日時を確認する

本製品は工場出荷時に日時を設定してありますが、使用を開始する際は日時をご確認ください。また、必要がある場合は、時刻時設定を行ってください。

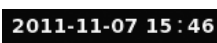
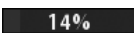
設定方法⇒P.117「システム（管理者メニュー）：時刻設定

◆電源を落としたい時⇒【電源】ボタンを強めに長押しします。画面表示に従って操作してください。

ライブ画面について

ライブ画面

電源を入れると、最初に表示されるのがライブ画面です。
接続されたカメラのライブ（現在の）映像を見ることができます。

《4分割画面の例》

ステータスバー

《8分割画面の例（DVR-S320のみ）》

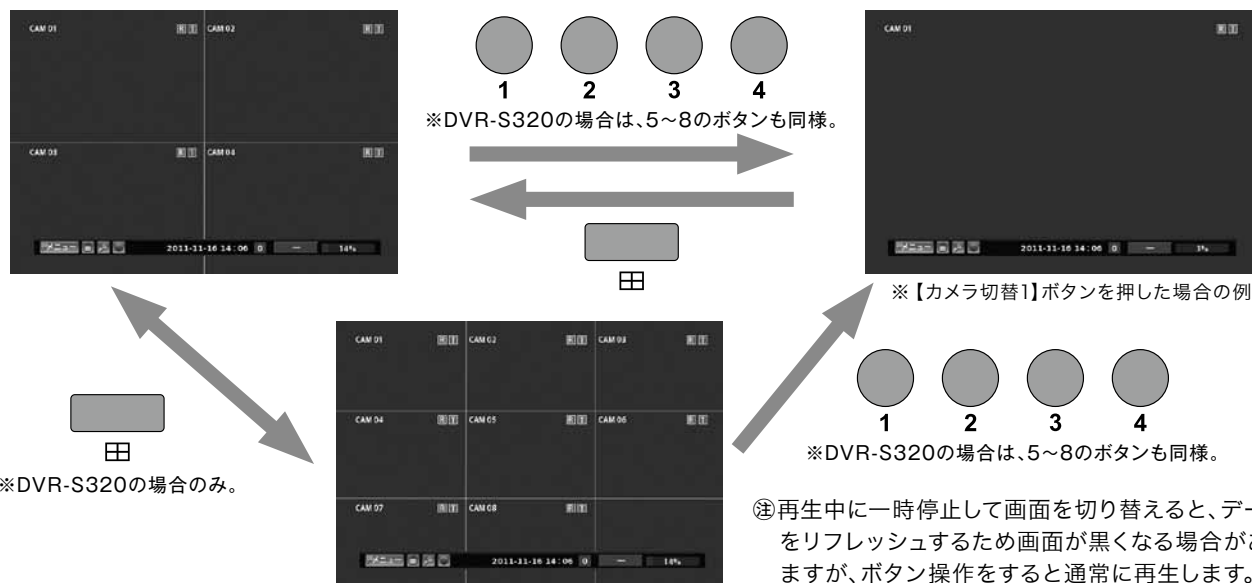
ステータスバー

※ 8分割画面の場合、右下の画面には何も映りません

表示位置	表　示	内　容	
左上	（CAM 01 ～ 08）	カメラチャンネル名（変更可）です。 ※CAM05～08は、DVR-S320のみ。	
各カメラチャンネル画面右上	T	連続録画が設定されていることを表します。	
	E	イベント録画（動体検知＋センサー検知）が設定されていることを表します。	
	S	センサー検知録画が設定されていることを表します。	
	M	動体検知録画が設定されていることを表します。	
	R	録画していることを表します。	
	🔊	録音が設定されていることを表します。	
ステータスバー	メニュー	マウス使用時の【メニュー】ボタンです。	※ P.20の「ボタン操作について」をご確認ください。
	（ロックアイコン）	マウス使用時の【ロック】ボタンです。	
	（虫眼鏡アイコン）	マウス使用時の【再生メニュー画面切替】ボタンです。	
	（録画アイコン）	マウス使用時の【手動録画】ボタンです。	
	0	ネットワーク経由でDVRに接続しているアクセス数 ※ Webビュアー、スマートフォンアプリでのアクセス数となります。	
	2011-11-07 15:46	DVRに設定されてる日時表示です。	
	―	マウス使用時の【ログイン】ボタンです。 ログイン時は、ID（「Admin」またはユーザー名〈変更可〉）を表示します。	
	14%	DVRのハードディスク使用量の表示です。	

基本的な操作

画面の切り替え（4分割・8 分割画面表示 / 単一画面表示）

画面は、複数のカメラを同時に見ることができる分割画面と単一画面に切り替えることができます。
見たいカメラチャンネルの【カメラ切替】ボタンを押すと単一画面が表示されます。
また、4 分割画面（8分割画面）にするときは、【分割画面切替】ボタンを押します。

ボタン操作について

本体ボタン	リモコンボタン	マウス操作	ボタン名称	主な操作内容
1 2 3 4 5 6 7 8	1 2 3 4 5 6 7 8	（各チャンネルの映像上でクリック）	カメラ切替	●ライブ画面をカメラチャンネル 1～4（DVR-S320の場合は1～8）、それぞれの単一画面に切り替えます。
⊞	QUAD	（映像上でクリック）	分割画面切替	●ライブ画面を4分割画面に切り替えます。（DVR-S320の場合は、4分割[CH1～ 4] ⇒ 4分割[CH5～ 8] ⇒ 8分割⇒ 4分割[CH1～ 4] …と画面を切り替えます。）
再 生	SEARCH		再生メニュー画面切替	●［再生メニュー］画面を表示します。
ライブ	LIVE	（再生メニュー画面を閉じる）	ライブ画面切替	●再生画面からライブ画面に戻ります。
キャンセル	LOGIN ESC	― ※ログイン / ログアウトのみ	キャンセル（ログイン）	●ライブ画面時、ログイン / ログアウト画面を表示します。●メニュー画面・再生メニュー操作時、前画面に戻ります。
メニュー	MENU	メニュー	メニュー	●［メニュー］画面を表示します。

本体ボタン	リモコンボタン	マウス操作	ボタン名称	主な操作内容
		※再生中のみ	コマ戻し	●再生中、クリックする度にコマ戻し再生します。
		※再生中のみ	戻し再生	●再生中、戻し再生します。 ※押す度に、「× 2 →× 4 →× 6 →× 8 →× 16 → × 32 →× 64 →× 1 →× 2…(繰り返し)」倍のスピードで戻し再生します。
		※再生中のみ	一時停止	●再生中、一時停止します。
		※再生中のみ	再生	●再生中、通常の再生をします。 ※押す度に、「× 2 →× 4 →× 6 →× 8 →× 16 → × 32 →× 64 →× 1 →× 2…(繰り返し)」倍のスピードで再生します。
		※再生中のみ	コマ送り	●再生中、クリックする度にコマ送り再生します。
		(マウス操作)	上下左右移動	●それぞれの方向に移動します。
	OK	(右クリック)	決定	●選択 / 決定します。 ●ライブ画面時、ツールバーを表示します。
–	REC		手動録画	●手動で録画開始・停止ができます。
–	ID	–	ID	●リモコン操作の可否が設定できます。 ⇒詳しくは、P.136「リモコンのオン/オフ切替について」参照
–	MUTE	(右クリックでツールバーを表示)	ミュート	●音量をミュートオン / ミュートオフします。
–	LOCK		ロック	●本機の操作がすべてロックされます。 ロック中は、ログイン画面を表示します。
–	BACKUP	–	バックアップ	●バックアップ画面を表示します。
–	PTZ	(右クリックでツールバーを表示)	パン / チルト	●パン / チルト操作メニュー画面が表示されます。 ※ PTZカメラが設定されているカメラチャンネルを単一画面で表示している場合のみ選択可能になります。
–	F1 F2 F3 F4	–	ファンクション	※本機では使用しません。

基本的な操作

ログインについて

DVR-S220の画面を例に説明しています。

DVRで設定変更するためのメニュー画面、再生メニュー画面の表示、ネットワーク接続をするためには、それぞれ権限を持つ ID（ユーザー）でログインする必要があります。
※ログイン後、一定時間無操作の場合は、自動的にログアウトします。（初期設定時：60秒）

▼ID（ユーザー）と設定できる権限

ID（ユーザー）	設定できる権限
Admin	常に管理者（すべての設定・操作権限）
User1（変更可）	ライブ（初期設定値）/ 再生 / メニュー
User2（変更可）	ライブ（初期設定値）/ 再生 / メニュー
User3（変更可）	ライブ（初期設定値）/ 再生 / メニュー

▼権限について

［ライブ］
ライブ画面を確認することのみができます。

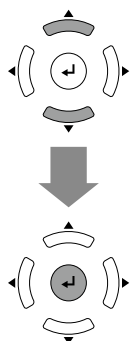
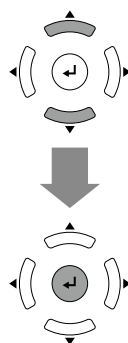
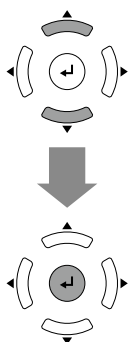
［再生］
ライブ画面の確認と、再生メニューを操作することができます。

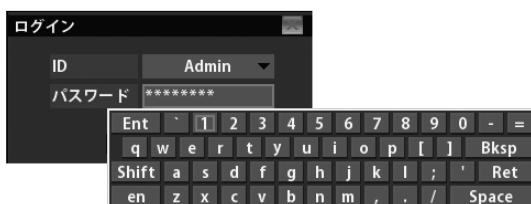
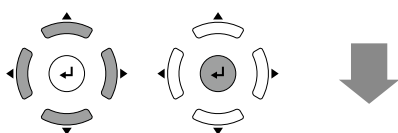
［メニュー］
管理者メニュー表示と、Adminのパスワード変更以外、すべての操作・設定ができます。

ログインする

ライブ画面で【キャンセル】ボタンを押します。
マウスの場合は、【ログイン】ボタンをクリックします。

キャンセル

ログイン画面が表示されます。
【▲▼】ボタンで［ID］に移動して【決定】ボタンを押します。

【▲▼】ボタンでログインしたいID（ユーザー）を選択して【決定】ボタンを押します。

【▲▼】ボタンで［パスワード］に移動して【決定】ボタンを押します。

入力パレットが表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを移動させ入力する英数字を選択し、【決定】ボタンでパスワードを入力していきます。
※「Admin」の初期設定値は、「1」です。

▼入力パレットについて

英数字・記号	それぞれ英数字・記号を入力します。
Ent	入力を確定してパレットを閉じます。
Ret	入力を確定してパレットを閉じます。
Shift	大文字/小文字と記号の表示を切り替えます。
Bksp	1文字消去します。
Space	スペースを入力します。
en	何も入力されません。

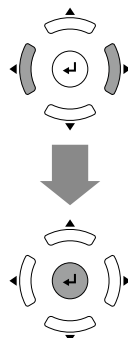
パスワードの入力が終了したら、【▲▼◀▶】でカーソルを［Ent］か［Ret］に移動させ、【決定】ボタンを押します。
または、【キャンセル】ボタンを押します。

【▲▼】ボタンで［OK］を選択し、【決定】ボタンを押します。

ライブ画面の【ログイン】ボタンの表示が、ログインしたID（ユーザー）名になります。

ログアウトする

ライブ画面で【キャンセル】ボタンを押します。
マウスの場合は、【ログイン】ボタンをクリックします。

ログインアウト確認画面が表示されます。
【◀▶】ボタンで［はい］に移動して【決定】ボタンを押すと、ログアウトします。

基本的な操作

ツールバー操作について

ログイン時のライブ画面で、【決定】ボタンを押す、またはマウスを右クリックでツールバーが表示されます。
【キャンセル】ボタンを押すか、マウスでツールバー以外の場所でクリックすると表示が消えます。

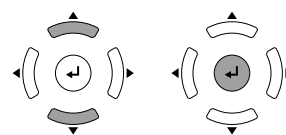
《ライブ画面で表示の例》

▼DVR-S220の場合
手動録画開始
PTZ
クイック再生
ロック
音量
カメラ自動切替オン
画面表示オフ
インターレスオフ
ログアウト
電源オフ

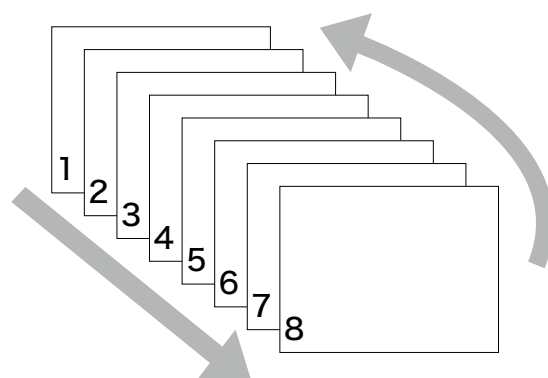
▼DVR-S320の場合
手動録画停止
PTZ
クイック再生
ロック
音量
カメラ自動切替オン
画面表示オフ
インターレスオフ
2x2
3x3
ログアウト
電源オフ

《再生中画面で表示の例》

▼DVR-S220の場合
音量
画面表示オフ
インターレスオフ

▼DVR-S320の場合
音量
画面表示オフ
インターレスオフ
2x2
3x3

項　目	内　容	再生中画面でも表示される項目	詳細
手動録画	●手動で録画開始・停止ができます。	−	−
PTZ（パン・チルト）	●パン・チルト操作メニュー画面が表示されます。 ※ PTZカメラが設定されているカメラチャンネルを単一画面で表示している場合のみ選択可能になります。	−	P.134
クイック再生	●約 10分前からの録画データを再生します。	−	−
ロック / ロック解除	●本機の操作がロックされます。 ロック中は、ログインするとロックが解除されます。	−	−
音量	●音量操作画面を表示します。	○	P.25
カメラ自動切替オン / カメラ自動切替オフ	●オンにして単一画面に切り替えると、それぞれのカメラチャンネルを1画面ずつ順番に表示します。	−	P.25
画面表示オフ / 画面表示オン	●画面上のマーク表示等をオン / オフします。 ㊟画面表示の設定とは異なります。 ㊟この操作で動体検知表示は切り替わりません。	○	−
インターレスオフ / インターレスオフ	●インターレスを「オン」にすると、画面のギラツキ感が軽減します。	○	−
2 × 2　㊟DVR-S320のみ表示	●画面を 4分割画面で表示します。	○	−
3 × 3　㊟DVR-S320のみ表示	●画面を 8分割画面で表示します。	○	−
ログアウト	●ログアウトします。	−	−
電源オフ	●本機の電源をオフにします。	−	−

カメラ自動切替機能について

各カメラチャンネルのライブ映像を単一画面で順番に切り替えながら確認することができます。
※カメラ機能でオフになっているカメラチャンネルは、スキップします。
※4分割画面にすると、カメラ切替を停止します。再度、単一画面にするとカメラ切替を再開します。
※ログアウト後も、カメラ切替は継続します。
※終了する時は、ツールバーで［カメラ自動切替オフ］にします。

※イメージ：DVR-S320の場合

カメラ自動切替オンになっている時は、[SE01]、[SE02]、[SE03]、[SE04]（DVR-S320の場合は [SE05]、[SE06]、[SE07]、[SE08]）と表示されます。
「SE」に続く数字は、カメラチャンネルに対応しています。

音量操作について

【▲】音量を大きくします。
【▼】音量を小さくします。
※マウスの場合は、バー上の■をドラッグして音量を変更できます。
【◀▶】選択を移動します。
［ミュート］を選択して【決定】ボタンを押すと、消音になります。
［☒］を選択して【決定】ボタンを押すと、音量操作画面を閉じます。

基本的な操作

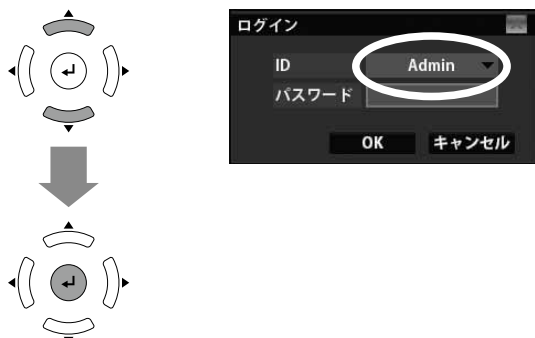
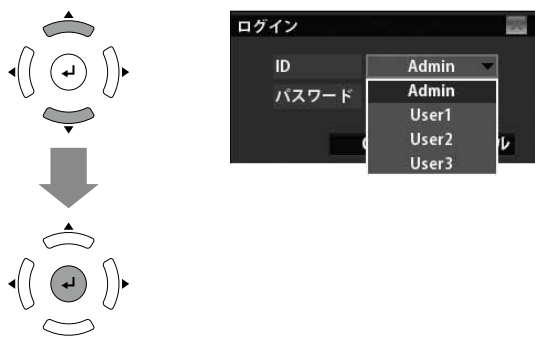
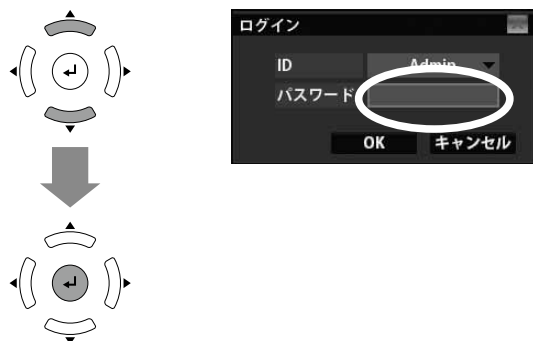
メニュー画面の表示方法（設定変更する）

DVR-S220の画面を例に説明しています。

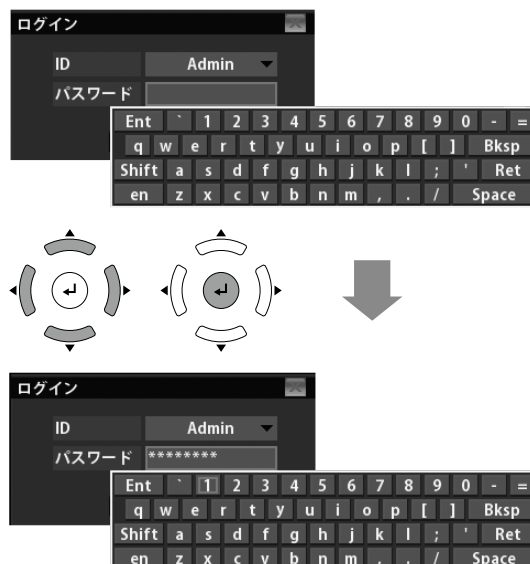
設定変更は､｢Admin｣､もしくは｢[メニュー]権限のある ID（ユーザー）｣でログインする必要があります。

ライブ画面で【メニュー】ボタンを押します。

メニュー

ログイン画面が表示されます。
ログイン中は､8のメニュー画面が表示されます。
【▲▼】ボタンで［ID］に移動して【決定】ボタンを押します。

㊟［管理者メニュー］の設定変更権限は､｢Admin｣のみです。

【▲▼】ボタンで権限のあるID（ユーザー）を選択して【決定】ボタンを押します。

【▲▼】ボタンで[パスワード]に移動して【決定】ボタンを押します。

入力パレットが表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを移動させ入力する英数字を選択し､【決定】ボタンでパスワードを入力していきます。
※｢Admin｣の初期設定値は､｢1｣です。

▼入力パレットについて

英数字･記号	それぞれ英数字･記号を入力します。
Ent	入力を確定してパレットを閉じます。
Ret	入力を確定してパレットを閉じます。
Shift	大文字/小文字と記号の表示を切り替えます。
Bksp	1文字消去します。
Space	スペースを入力します。
en	何も入力されません。

6 パスワードの入力が終了したら、【▲▼◀▶】でカーソルを [Ent]か [Ret]に移動させ、【決定】ボタンを押します。
または、【キャンセル】ボタンを押します。

7 【▲▼】ボタンで [OK]を選択し、【決定】ボタンを押します。

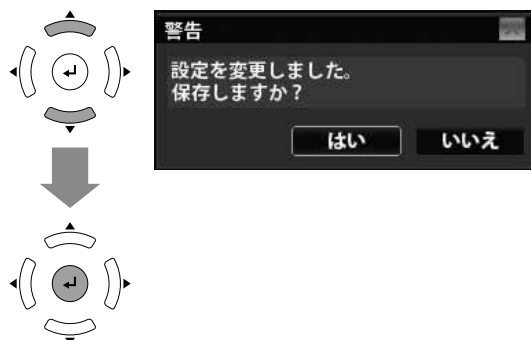
8 メニュー画面が表示されます。
設定変更は、メニュー画面内の各項目を選択して行います。詳しくは、P.43「各項目の設定」をご覧ください。

㊟メニュー画面を表示した時に、ライブ画面上のいくつかのカメラチャンネルのマーク表示が一部見えなくなりますが、メニュー画面を閉じると元に戻ります。

設定変更の確定

設定内容の変更は、メニュー画面からライブ画面に戻る時に表示される「設定変更の確認」画面上で[はい]を選択した時に確定されます。
※ [管理者メニュー]は、その画面内で変更内容が反映されます。

1 メニュ画面上で、各項目の設定変更が終了したら、【キャンセル】ボタンか、【メニュー】ボタンを押します。

2 設定変更の確認画面が表示されます。
【▲▼】ボタンで [はい]を選択し、【決定】ボタンを押します。
※ [いいえ]を選択して、【決定】ボタンを押した場合は、設定内容を反映しません。

㊟ [はい]を選択し、【決定】ボタンを押さないと変更内容は確定されません。

3 ライブ画面に戻ります。

よく使う便利な機能

録画スケジュール設定

各カメラチャンネルとも1 時間ごとに、[通常録画][動体検知録画][センサー検知録画][イベント録画][録画せず]の設定が可能です。

設定方法⇒P.46「録画- 録画スケジュール」

画面上の動きを検知して録画を開始する（動体検知録画）

映像の動きを検知して録画開始（動体検知録画）の設定ができます。

設定方法⇒①P.58「カメラ- 動体検知」
②P.46「録画- 録画スケジュール」

外部センサーの検知で録画を開始する（センサー録画）

外部センサーを接続し、センサーの検知で録画開始することができます。

設定方法⇒①P.64「イベント- センサー」
②P.46「録画- 録画スケジュール」

動体・センサー検知時や DVR の異常時に警報ブザーを鳴らす

動体検知録画・センサー録画で検知による録画がスタートした場合や、電源オン、HDDの異常、ビデオロスがあった場合に、警報ブザーを鳴らすことができます。

設定方法⇒①必要に応じて、上記の「動体検知録画」、「センサー録画」設定
②P.70「イベント- 警報ブザー」

動体・センサー検知時や DVR の異常時にメールで知らせる

動体検知録画・センサー録画で検知による録画がスタートした場合や、電源オン、HDDの異常、ビデオロスがあった場合に、メールでお知らせすることができます。(2アドレス)

設定方法⇒①P.120「システム- メール設定」
②必要に応じて、上記の「動体検知録画」、「センサー録画」設定
③P.68「イベント- メールフィルター」

外部のパソコンからライブ画面・再生画面の確認をする

インターネット環境にある外部のパソコンから、本製品のライブ映像・録画映像を確認できます。

設定方法⇒①P.125「ネットワーク設定」

②別冊「遠隔操作ガイド」

録画データをバックアップする

記録された録画データの一部をUSB フラッシュメモリー、FTP サーバーにバックアップして、パソコンで再生できます。

設定方法⇒①P.90「記録装置-FTP」 ※FTP サーバーにバックアップする場合

②P.82「記録装置- バックアップ」

操作方法⇒P.40「バックアップデータを再生する」

日時を指定して再生する

録画データの中から、日時を指定して再生することができます。

設定方法⇒P.36「日時指定再生する」

検知リストから録画データを選んで再生する

録画データの中から、検知録画のリストを指定して再生することができます。

設定方法⇒P.38「リスト再生する」

ログインできるID(ユーザー)の権限を変更する

管理者権限「Admin」の他に、操作権限を限定したID(ユーザー)を設定することができます。

設定方法⇒P.104「システム- ユーザー」

パン・チルトカメラを操作する

DVRにパン・チルトカメラを接続して、DVR側から操作することができます。

設定方法⇒P.62「カメラ-PTZ(パン・チルト)カメラ」

操作方法⇒P.134「パン・チルトカメラ操作について」

初期設定内容

本製品の各設定項目（メニュー）は下表の内容です。 ＊印の項目は、すべてのカメラチャンネルが同じ設定です。

メニュー	項目		初期の設定内容	選択範囲など
録画	▼録画設定			
	解像度*		704 ×480	704 ×480 / 704 ×240
	FPS＊		15	30 / 15 / 7 / 4 / 2 / 1 / 0
	画質*		高	高 / 中 / 低
	録画スケジュール		すべて「通常録画」	録画せず/ 通常録画/ 動体検知/ センサー/ イベント
	休日設定		ー	（カレンダーで設定）
カメラ	▼カメラ設定			
	名前	CH1「CAM 01」、CH2「CAM 02」		英数字12 以内で設定　※CH5 ～8 は、DVR-S320 のみ。
		CH3「CAM 03」、CH4「CAM 04」		
		CH5「CAM 05」、CH6「CAM 06」		
		CH7「CAM 07」、CH8「CAM 08」		
	カメラ機能*		☑（ON）	☑（ON） / □（OFF） ※CH1「CAM 01」は、常にON
	録音*		無し	無し / 有り　※1CH のみ設定可能
	彩度*		52	0 ～100
	明暗比*		40	0 ～100
	明度*		49	0 ～100
	▼動体検知			
	検知範囲		全て設定	全て設定 / 部分設定
	検知感度*		レベル1（高）	レベル5（低） / レベル4 / レベル3 / レベル2 / レベル1（高）
	▼PTZ カメラ			
	ID＊		001	
	PTZ モデル*		使用しない	使用しない / PTC-400C / HSDC-251 / PELO-D / PELO-P
	詳細設定*	通信速度	☑9600	1200 / 2400 / 4800 / 9600 /19200
		データ	☑8	7 / 8
		パリティ	☑無し	無し / 奇数 / 偶数
		ストップ	☑1	1 / 2
イベント	▼センサー　＊センサー1 ～4 すべて			
	タイプ*		N/O	N/O　/　N/C
	▼リレー出力　＊センサー1 ～4 すべて			
	出力時間		10 秒	3 秒 / 5 秒 / 10 秒 / 20 秒 / 30 秒
	動体検知*		□（OFF）	☑（ON） / □（OFF）
	ビデオロス*		□（OFF）	☑（ON） / □（OFF）
	センサー検知*		□（OFF）	☑（ON） / □（OFF）
	▼メールフィルター　＊センサー1 ～4 すべて			
	電源オン		□（OFF）	☑（ON） / □（OFF）
	HDD		□（OFF）	☑（ON） / □（OFF）
	送信同期*		1 分	1 分 / 2 分 / 3 分 / 5 分 / 10 分
	動体検知*		□（OFF）	☑（ON） / □（OFF）
	ビデオロス*		□（OFF）	☑（ON） / □（OFF）
	センサー検知*		□（OFF）	☑（ON） / □（OFF）
	▼警報ブザー　＊センサー1 ～4 すべて			
	警報時間		10 秒	3 秒 / 5 秒 / 10 秒 / 20 秒 / 30 秒
	動体検知*		□（OFF）	☑（ON） / □（OFF）
	ビデオロス*		□（OFF）	☑（ON） / □（OFF）
	センサー検知*		□（OFF）	☑（ON） / □（OFF）

メニュー	項目	初期の設定内容	選択範囲など
画面	▼画面表示		
	CH 表示	☑ (ON)	☑ (ON) / □ (OFF)
	録画表示	☑ (ON)	☑ (ON) / □ (OFF)
	録音表示	☑ (ON)	☑ (ON) / □ (OFF)
	動体検知表示	□ (OFF)	☑ (ON) / □ (OFF)
	透明度	不透明	不透明 / 低 / 中 / 高
	ステータスバー自動消去	オフ	オフ / 1 秒 / 2 秒 / 3 秒 / 4 秒 / 5 秒 / 10 秒
	カメラ自動切替	5 秒	1 秒 / 2 秒 / 3 秒 / 4 秒 / 5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 30 秒 / 60 秒
	画面の解像度	1024 × 768	640 × 480 / 800 × 600 / 1024×768 / 1280×1024
記録装置	▼HDD		
	上書き録画	オン	オン / オフ
	空き容量警告	オフ	オン / オフ
	▼バックアップ		
	装置	ー	ー / FTP
	容量（空き容量）	ー	
	CH	全 CH	全CH / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 ※5〜8は、DVR-S320のみ。
	開始時間	ー	
	終了時間	ー	
	データサイズ	ー	
	▼FTP		
	アドレス	ー	
	ユーザー名	ー	
	パスワード	ー	
	ポート	21	
	ディレクトリ	ー	
システム	▼ネットワーク		
	自動取得	☑ (ON)	☑ (ON) / □ (OFF)
	IP アドレス	ー	(LAN に接続している IP アドレスを表示)
	サブネットマスク	ー	(LAN に接続しているサブネットマスクを表示)
	ゲートウェイ	ー	(LAN に接続しているゲートウェイを表示)
	DNS1	ー	(LAN に接続している DNS を表示)
	DNS2	ー	
	▼DDNS		
	DDNS	□ (OFF)	☑ (ON) / □ (OFF)
	サーバー	ー	MY-DDNS.COM / DYNDNS
	ユーザー名	ー	
	パスワード	ー	
	ドメイン名	ー	
	▼ポート		
	TCP ポート	50000 〜 50004	
	HTTP ポート	8080	
	UPnP	□ (OFF)	

㊟ 時間の数字は目安です。

初期設定内容

メニュー	項目	初期の設定内容	選択範囲など
システム	**▼ユーザー**		
	ID	NO1「Admin」	
		NO2「User1」	
		NO3「User2」	
		NO4「User3」	
	パスワード	1	※最大８桁
	権限	ライブ※	ライブ / 再生 / メニュー ※Adminは、常に「管理者」
	映像非表示	無し	□CH1/ □CH2/ □CH3/ □CH4 □CH5/ □CH6/ □CH7/ □CH8 ※CH5 ～8は、DVR-S320のみ。
	▼情報		
	システム名	DVR	
	リモコンID	00	
	ファームウェアVer.	ー	
	カーネルVer.	ー	
	Macアドレス	ー	
	管理者メニュー 更新	ー	
	管理者メニュー 初期化	ー	
	管理者メニュー 時刻設定	ー	
	▼メール設定		
	メール送信先1	ー	
	メール送信先2	ー	
	SMTPサーバー認証	□(OFF)	
	SMTPサーバー	ー	
	ポート	25	
	ユーザー名	ー	
	パスワード	ー	
	▼その他		
	ボタン操作音	オン	オン / オフ
	自動ログアウト	60	オフ / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 60秒

メニュー	項目	初期の設定内容	選択範囲など
サブメニュー	手動録画開始	ー	
	PTZ	ー	
	クイック再生	ー	
	ロック	オフ	
	音量		
	カメラ自動切替	オフ	
	画面表示	オン	
	インターレス	オン	
	2×2	ー	※DVR-S320のみ
	3×3	ー	※DVR-S320のみ
	ログアウト	ー	
	電源オフ	ー	

㊟ 時間の数字は目安です。

再生する

再生中は、録画データを続けて再生します。
ただし、録画データに24 時間以上の時間に空白がある場合、後ろの録画データを続けて再生できない場合があります。再生が止まった場合は、日時を再度指定して再生してください。
また、再生中に一時停止して画面を切り替えると、データをリフレッシュするため画面が黒くなる場合がありますが、ボタン操作をすると通常に再生します。

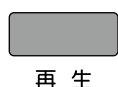
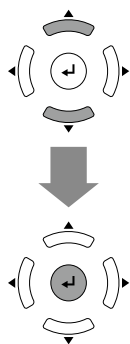
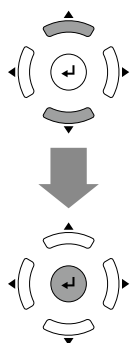
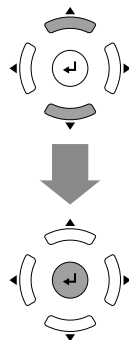
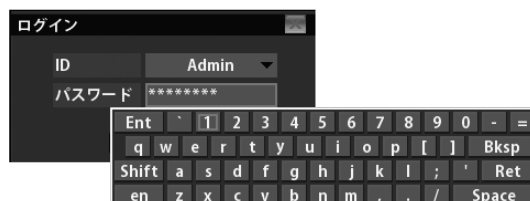
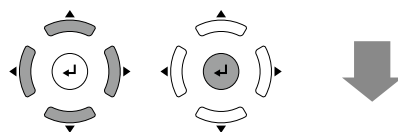
再生メニュー画面について

再生メニュー画面の表示方法

DVR-S220の画面を例に説明しています。

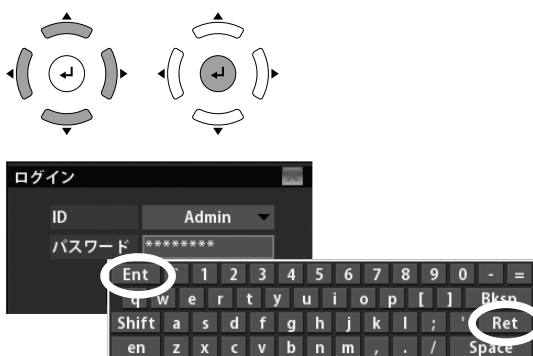
再生操作は､｢Admin｣､もしくは｢[メニュー]/[再生]権限のあるID｣でログインする必要があります。

1 ライブ画面で【再生メニュー画面切替】ボタンを押します。

再 生

2 ログイン画面が表示されます。
ログイン中は、*8* の再生メニュー画面が表示されます。
【▲▼】ボタンで [ID] に移動して【決定】ボタンを押します。

3 【▲▼】ボタンで権限のあるID (ユーザー) を選択して【決定】ボタンを押します。

4 【▲▼】ボタンで[パスワード]に移動して【決定】ボタンを押します。

5 入力パレットが表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを移動させ入力する英数字を選択し､【決定】ボタンでパスワードを入力していきます。
※「Admin｣の初期設定値は､｢1｣です。

▼入力パレットについて

英数字･記号	それぞれ英数字･記号を入力します。
Ent	入力を確定してパレットを閉じます。
Ret	入力を確定してパレットを閉じます。
Shift	大文字/小文字と記号の表示を切り替えます。
Bksp	1文字消去します。
Space	スペースを入力します。
en	何も入力されません。

パスワードの入力が終了したら、【▲▼◀▶】でカーソルを [Ent] か [Ret] に移動させ、【決定】ボタンを押します。
または、【キャンセル】ボタンを押します。

7

【▲▼】ボタンで [OK] を選択し、【決定】ボタンを押します。

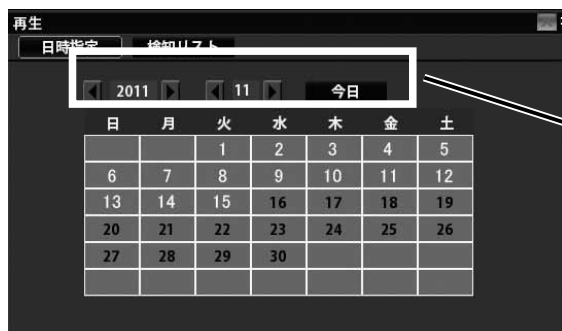
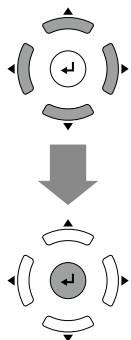
再生メニュー画面が表示されます。
※再生を始めるまでは、【キャンセル】ボタンを押すとライブ画面に戻ります。

日時指定再生する

DVR-S220の画面を例に説明しています。

例 2011年11月15日16時30分からの録画データを確認する場合

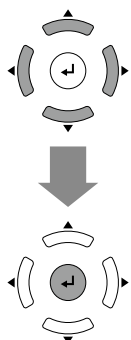
1

P.34 を参考に再生メニュー画面を表示します。
カレンダーの赤文字で表示されている日付には録画データがあります。
【▲▼◀▶】ボタンでカレンダー上の再生する日付に移動し、【決定】ボタンを押します。

マウスでクリックすると、再生メニュー画面を閉じます。

【▲▼◀▶】ボタンで「西暦」項目の［◀］［▶］を選択して【決定】ボタンを押す度に西暦が1 年ずつ移動します。
また、「月」の項目も同様です。

【▲▼◀▶】ボタンで［今日］を選択して決定】ボタンを押すと、カレンダー上で選択されている日付が今日（DVR設定値）に移動します。

2

時間（時）指定画面が表示されます。
カーソルが、選択した日付にある録画データの最初の時間に表示されています。
【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを移動して時間を選択します。
選択している日時は、左上に表示されています。

【▲▼◀▶】ボタンで［戻る］を選択して【決定】ボタンを押すと、前画面に戻ります。

【▲▼◀▶】ボタンで［開始］を選択して【決定】ボタンを押すと、カーソルで選択して、表示されている日時の「00分」から再生を開始します。

カーソル

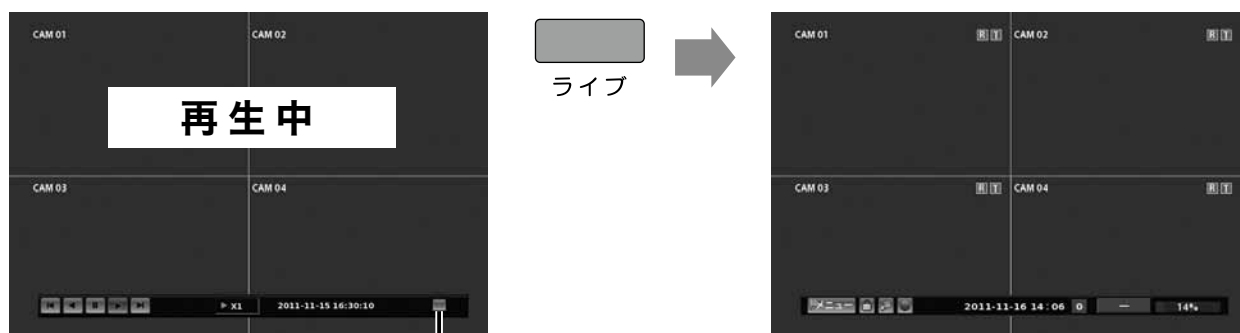
選択している日時を表示しています。

録画されているデータは、チャンネル毎に録画された状態の色で表示されています。

●灰色：録画されていない時間
●赤色：通常録画されたデータのある時間
●青色：動体検知録画されたデータのある時間
●黄色：センサー録画されたデータのある時間
●緑色：イベント録画されたデータのある時間
●桃色：手動録画されたデータのある時間

3 時間（分）指定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを移動して時間を選択します。
選択している日時は、左上に表示されています。

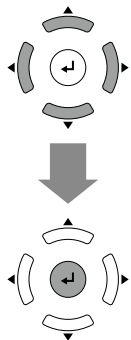
4 再生したい日時にあわせたら【▲▼◀▶】ボタンで[開始]へ移動し、【決定】ボタンを押すと再生を開始します。
※再生中の操作については、P.20「ボタン操作について」を参照してください。
※再生中も、分割画面、単一画面を切り替えてみることができます。

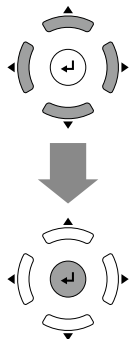
5 再生を終了する時は、【ライブ】ボタンを押します。
【キャンセル】ボタンを押すと、再生メニュー画面に戻ります。

再生中、マウスでクリックすると、
再生メニュー画面に戻ります。

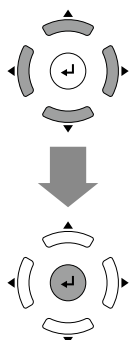
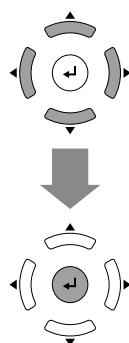
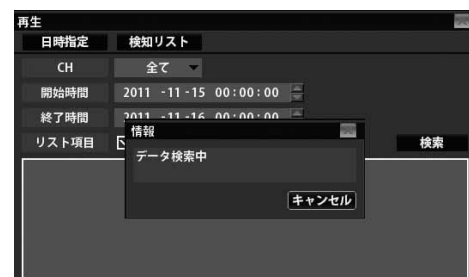
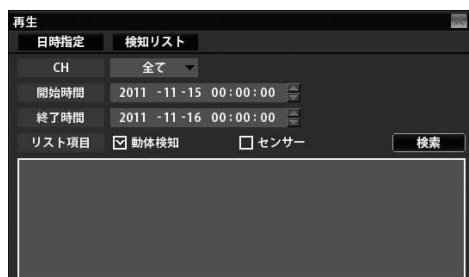
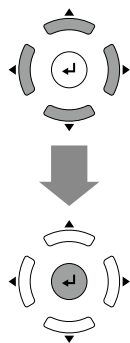
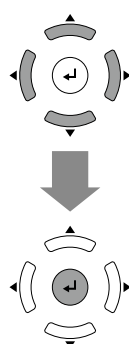
リスト再生する

DVR-S220の画面を例に説明しています。

例 2011年11月15日に動体検知録画された録画データのリストを選択して再生する場合

1 P.34 を参考に再生メニュー画面を表示します。
【▲▼◀▶】ボタンで［検知リスト］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

マウスでクリックすると、再生メニュー画面を閉じます。

2 検知リスト画面が表示されます。最初に、録画データのリスト検索をするため、検索する期間を設定します。
【▲▼◀▶】ボタンで［開始時間］項目の［西暦］、［月］、［日］、［時］、［分］、［秒］の修正する部分を選択して【決定】ボタンを押します。
※終了時間は画面を表示した時間、開始時間は、その1 時間前になっています。

カメラを選択する場合は、［CH］項目を選択して【決定】ボタンを押します。
選択項目が表示されますので、【▲▼】ボタンでカメラを選択し、【決定】ボタンを押してカメラを確定させます。
㊟DVR-S320の場合は、【▼】ボタンを押していくと4の次に5～8があります。

3 窓の中が白色に切り替わりますので、【▲▼】ボタンで数字を合わせます。
※【▲】ボタンで数字が大きく、【▼】ボタンで数字が小さくなります。【▲▼】ボタンを押し続けると、数字が連続で変わります。
※マウスの場合は、［▲］をクリックすると数字が大きく、［▼］をクリックすると数字が小さくなります。
2、*3* の操作を繰り返し、［開始時間］、［終了時間］項目の［西暦］、［月］、［日］、［時］、［分］、［秒］を合わせます。

4 [開始時間]、[終了時間]の設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで[リスト項目]の検索する項目(動体検知/センサー)へ移動し、【決定】ボタンを押すと、表示が[☑]になります。
※表示は【決定】ボタンを押す度に、[□]と[☑]が切り替わります。

5 期間とリスト項目の設定が終わったら、【▲▼◀▶】ボタンで[データ検索]へ移動し、【決定】ボタンを押します。
[データ検索中]画面が表示され、リストの検索を開始します。
※期間が長いと検索時間も長くなります。

6 検知リストが表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで再生したいリストへ移動し、【決定】ボタンを2回押すと再生を開始します。

7 再生を終了する時は、【ライブ】ボタンを押します。
【キャンセル】ボタンを押すと、再生メニュー画面に戻ります。

ライブ

再生中、マウスでクリックすると、再生メニュー画面に戻ります。

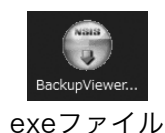
バックアップデータを再生する

USBフラッシュメモリー、または FTPサーバーにバックアップした録画データを、パソコンで再生します。再生する録画データは、あらかじめDVRでバックアップしてください。
㊟ FTPサーバーにある録画データを再生するときは、パソコン等にコピーしてください。
(P.82「記録装置 - バックアップ」参照)

BackupViewerソフトをインストールする

▼再生に使用するパソコンの環境の条件

パソコンの推奨環境
- ◆本　体：Windows
- ◆Ｏ　Ｓ：Windows XP、Windows Vista、Windows 7
- ◆ブラウザ：Internet Explorer 6.0（32ビット）
- ◆ＣPU：Core 2 Duo 3.0GHz以上
- ◆メモリ：1024MB以上
- ◆ビデオメモリ：32MB以上
- ◆画面解像度：1024 × 768以上
- ◆ランタイム：DirectX9.0以上

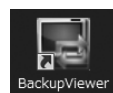
1 バックアップデータを保存したUSBフラッシュメモリー内、または FTP サーバーのフォルダ内「BackupViewerSetup.exe」ファイルを実行します。
㊟ Windows® Vista、Windows® 7 の場合は、exeファイルを右クリックして「管理者として実行（A)...」を選択してください。途中でインストールができなくなります。
※ exeファイルは、バックアップの際、自動的に保存されます。
※途中でインストールを中止する場合は、[キャンセル]、[☒]をクリックしてください。

exeファイル

▼ Windows® Vista、Windows® 7の場合

2 「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」等の確認が表示されたら[はい]をクリックします。

3 ライセンス契約書が表示されます。
[はい]をクリックします。

4 インストール先を選んでください」の画面が表示されます。必要があればインストール先を変更して、[インストール]をクリックしてください。インストールを開始します。

5 インストールが完了したら、[閉じる] をクリックします。
デスクトップには、ショートカットが作成されます。

ショートカット

バックアップビューアーソフトの操作について

PCでインストールした「BackupViewer」ソフトを実行します。
下の画面が立ち上げります。
操作内容については下記の通りです。

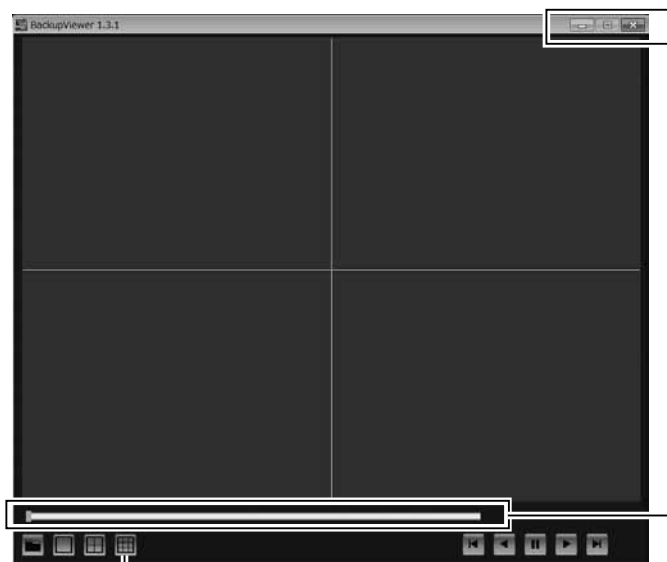



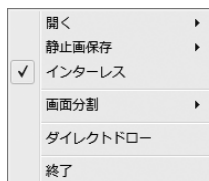
表　示	内　容
	●ディレクトリが表示されます。 バックアップデータを選択して開くと再生を開始します。 ㊟ FTPサーバーに保存されたファイルは、FTPサーバー上からは再生できません。 一度パソコン等に保存してから再生してください。
	●画面を単一画面で表示します。※ ※クリックする度に CH1 → CH2…（繰り返し）と順番に画面が切り替わります。 ※再生中に録画映像のない CH にすると、再生を停止します。
	●画面を 4分割画面で表示します。※
㊟DVR-S320のデータ再生時のみ表示	●画面を 8分割画面で表示します。※
	●再生中、コマ戻し再生します。
	●再生中、戻し再生します。 ※クリックする度に､「× 2 →× 4 →× 6 →× 8 → ×16 → ×1…（繰り返し）」倍のスピードで戻し再生します。
	●再生中、一時停止します。
	●再生中、通常の再生をします。 ※クリックする度に､「× 2 →× 4 →× 6 →× 8 → ×16 → ×1…（繰り返し）」倍のスピードで戻し再生します。
	●再生中、コマ送り再生します。

※再生中に一時停止して画面を切り替えると､一度データをリフレッシュするため画面が黒くなります。

バックアップデータを再生する

バックアップビュアーソフトのツールバー操作について

「BackupViewer」ソフトの画面上で右クリックすると、ツールバーが表示されます。
操作内容については下記の通りです。

《ツールバー》

項　目		内　容
開く	ファイル	●ディレクトリが表示されます。 バックアップデータを選択して開くと再生を開始します。
静止画保存	BMP 形式	●ビットマップ形式の静止画を保存します。 保存先を指定して保存してください。
インターレス	－	●映像が見えにくい時に、オン / オフをお試しください。
画面分割	1 × 1	●画面を単一画面で表示します。 ※この操作を繰り返すと CH1 → CH2…と順番に画面が切り替わります。
	2 × 2	●画面を 4分割画面で表示します。
	3 × 3 ㊟DVR-S320のデータ再生時のみ表示	●画面を 8分割画面で表示します。
ダイレクトドロー	－	●映像が見えにくい時に、オン / オフをお試しください。
終了	－	●「BackupViewer」ソフトを閉じます。

各項目の設定

本製品は、映像の再生中や各項目の設定中でも録画を継続します。

本書は、主にDVR-S220の画面を使用して説明しています。
DVR-S220(4CH)とDVR-S320(8CH)の
設定画面上の主な違いは、カメラチャンネル数です。

DVR-S220画面の例

DVR-S320画面の例

録画
録画設定　録画スケジュール　休日設定

CH	解像度	FPS	画質
1	704x480	15	高
2	704x480	15	高
3	704x480	15	高
4	704x480	15	高
5	704x480	15	高
6	704x480	15	高
7	704x480	15	高
8	704x480	15	高

録画指数: 240

OK　キャンセル

■録画 - 録画設定

DVR-S220の画面を例に説明しています。

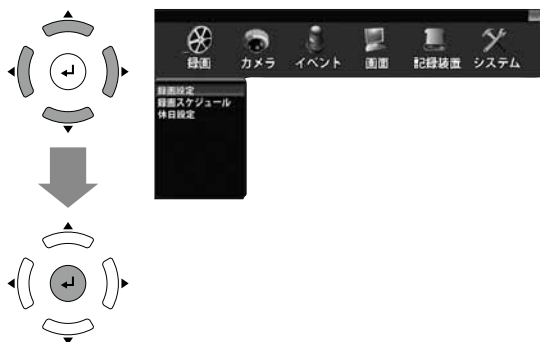
カメラチャンネル毎に映像の「解像度」「録画フレーム数」「画質」を調整できます。

項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
解像度	740 × 480＊	740 × 480 / 740 × 240 カメラチャンネル毎に映像の解像度を選択できます。
録画フレーム数	15＊	30 / 15 / 7 / 4 / 2 / 1 / 0　※[0]は、録画しない設定になります。 カメラチャンネル毎に録画フレーム数を設定できます。録画フレーム数は、数値が大きくなるほどよりスムーズな映像になりますが、その分保存されるデータ容量が大きくなります。
画質	高＊	高 / 中 / 低 カメラチャンネル毎に画質を設定できます。画質が良くなるほど、よりきれいな映像になりますが、その分保存されるデータ容量が大きくなります。

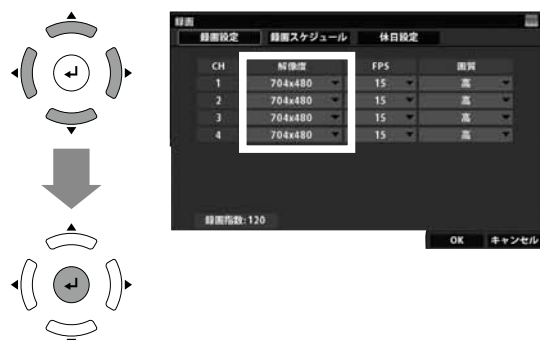
＊すべてのカメラチャンネル

録画設定を変更する

例 [CH1]の解像度を [704 ×240]、録画フレーム数を [30]、画質を [中]に設定する場合

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。【◀▶】ボタンで [録画]へ移動し、【▲▼】ボタンで [録画設定]を選択して【決定】ボタンを押します。

2 録画設定画面が表示されます。

[解像度]の設定変更

【▲▼◀▶】ボタンで [CH1]の [解像度]項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 [解像度]の設定項目が表示されます。【▲▼】ボタンで設定したい数値を選択し、【決定】ボタンを押します。

4 **[録画フレーム数]の設定変更**

【▲▼◀▶】ボタンで [CH1]の [FPS]項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

5

[FPS] の設定項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで設定したい数値を選択し、【決定】ボタンを押します。

[録画指数] について
録画時間を算出するための指数です。
詳しくは⇒P.16「録画時間について」を参照

[画質] の設定変更
【▲▼◀▶】ボタンで [CH1] の [画質] 項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

7

[画質] の設定項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで設定したい内容を選択し、【決定】ボタンを押します。

8

設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の [OK] を選択し、【決定】ボタンを押します。
※ [キャンセル] を選択して【決定】ボタンを押した場に合は、設定項目の変更内容を確定せずにメニュー画面に戻ります。

【▲▼◀▶】ボタンで [録画スケジュール]、[休日設定] を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

録画設定画面で [OK] を選択し、【決定】ボタンを押す前に、[録画スケジュール]、[休日設定] 画面へ移動して設定の変更することができます。
[OK] は、「録画」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

■録画 - 録画スケジュール

DVR-S220の画面を例に説明しています。

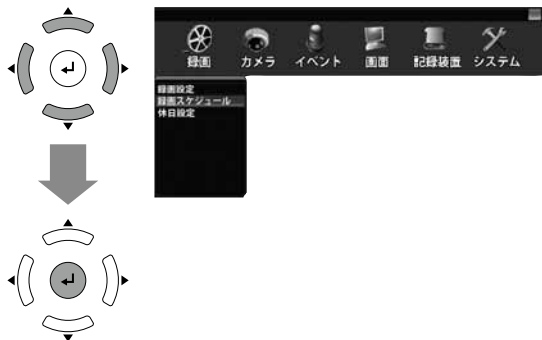
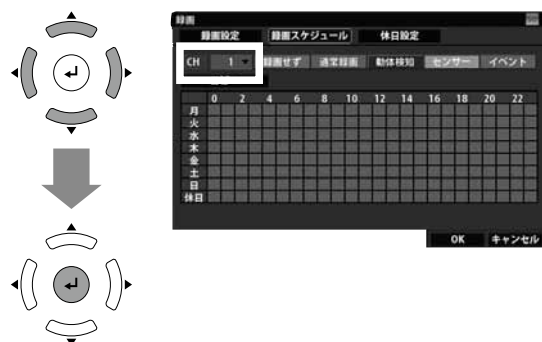
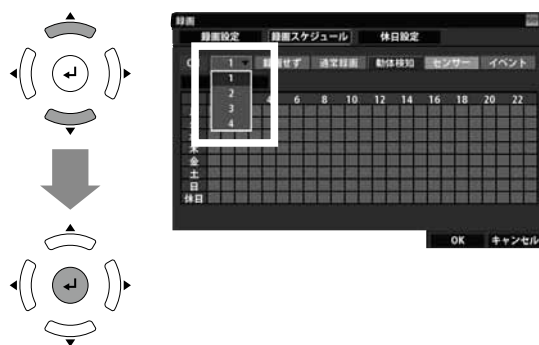
カメラチャンネル毎に1 時間単位で録画方法の設定ができます。

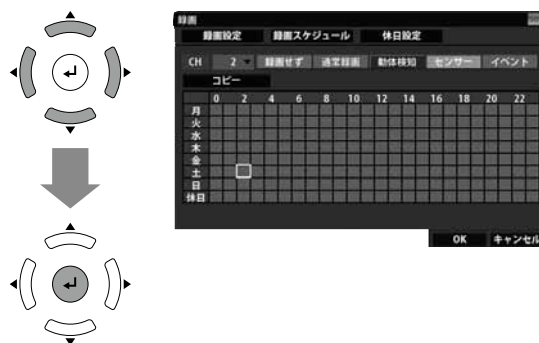
項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
録画スケジュール	通常録画*	録画せず / 通常録画 / 動体検知 / センサー / イベント カメラチャンネル毎、1 時間単位での録画方法を選択できます。 ▼設定効果 ●録画せず➡録画を行いません。 ●通常録画➡録画を行います。 ●動体検知➡［動体検知］の設定内容で動体を検知した場合に録画を行います。 ●センサー ➡［センサー］の設定内容でセンサー検知した場合に録画を行います。 ●イベント ➡［動体検知］の設定内容で動体を検知した場合と、［センサー］の設定内容で信号を受信した場合のどちらの場合にも録画を行います。 ※検知録画の場合、検知前約5秒、検知後約10秒が録画されます。 検知がはたらいている間は録画を継続します。

＊すべてのカメラチャンネル、すべての時間帯

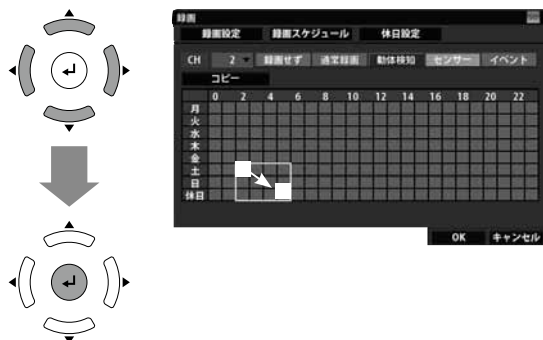
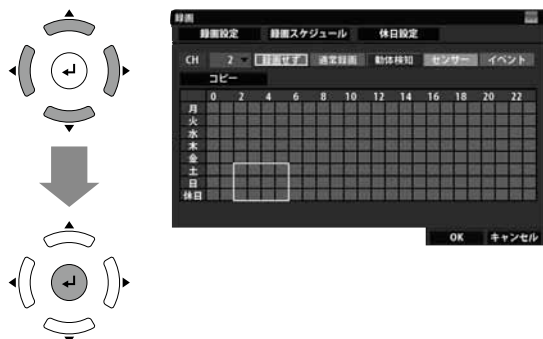
録画スケジュールを変更する

例［CH2］の土曜日、日曜日、休日の2 時～5 時を［録画せず］に設定する場合。

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。【◀▶】ボタンで［録画］へ移動し、【▲▼】ボタンで［録画スケジュール］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 録画スケジュール設定画面が表示されます。【▲▼◀▶】ボタンで［CH］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 ［CH］の設定項目が表示されます。【▲▼】ボタンで設定したいカメラチャンネルを選択し、【決定】ボタンを押します。

4 【▲▼◀▶】ボタンで変更したい時間の範囲の角にカーソルを合わせて【決定】ボタンを押します。変更する範囲は、四角い範囲で選択することができます。

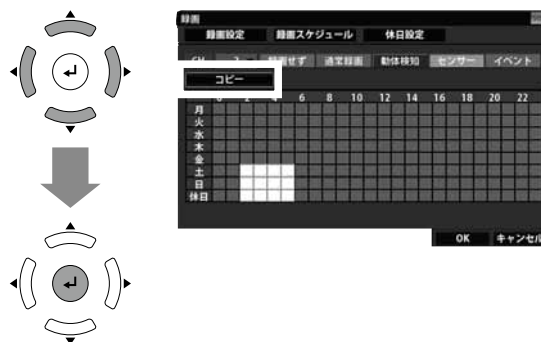
※［休日］は、P.49「休日設定」で設定することができます。

5 次に、【▲▼◀▶】ボタンで変更したい時間の範囲の対になる角にカーソルを合わせて【決定】ボタンを押します。

※選択される範囲は、移動中 *4* で選択した場所から四角い範囲を表示します。

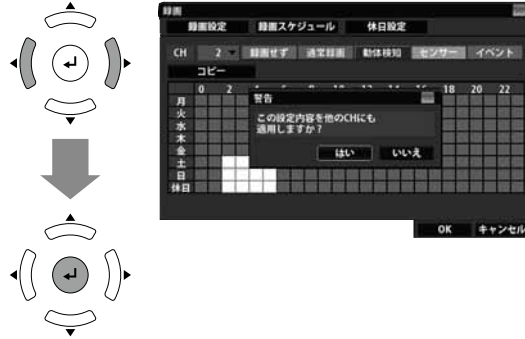
※ここでは、最初に月曜日2 時の位置で【決定】ボタン、休日5 時の位置で【決定】ボタンを押した場合です。

6 変更したい時間の範囲が選択された状態で、【▲▼◀▶】ボタンで録画方法（ここでは［録画せず］）に移動し、【決定】ボタンを押します。

7 選択していた時間の範囲が［録画せず］の色に変わったことを確認します。

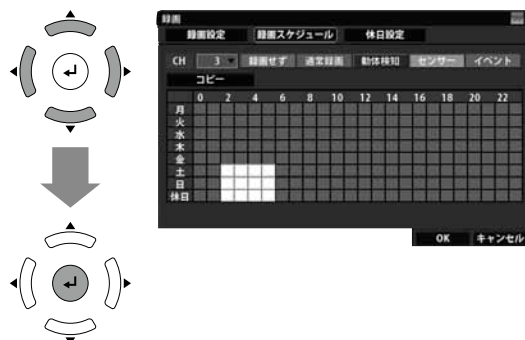
※*4*、*5* の操作を繰り返して、設定を続けることができます。

すべてのカメラチャンネルを同じ録画スケジュールに設定することができます。

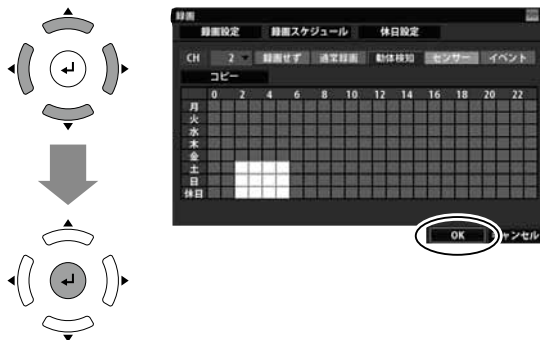
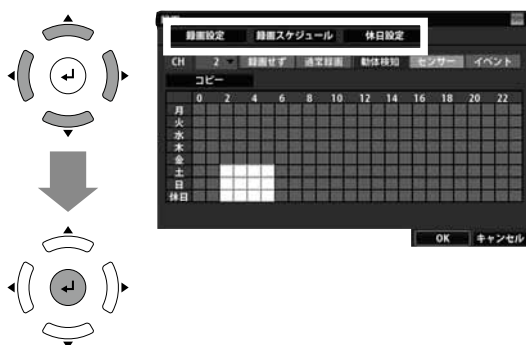
1 *7*の時に、【▲▼◀▶】ボタンで［コピー］を選択し、【決定】ボタンを押します。

2 「この設定を他のCH にも適用しますか?」と確認画面が表示されます。

【◀▶】ボタンで［はい］を選択し、【決定】ボタンを押します。

※適用しない場合は[いいえ]を選択し、【決定】ボタン押して元の画面に戻ります。マウスの場合は、[☒]をクリックしても同様です。

3 元の画面に戻ります。

【▲▼◀▶】ボタンで［CH］項目の他のカメラチャンネルで【決定】ボタンを押し、カメラチャンネルを切り替えても同じ録画スケジュールが適用されています。

■録画 - 録画スケジュール

DVR-S220の画面を例に説明しています。

8 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の[OK]を選択し、【決定】ボタンを押します。
※[キャンセル]を選択して【決定】ボタンを押した場に合は、設定項目の変更内容を確定せずにメニュー画面に戻ります。

【▲▼◀▶】ボタンで［録画設定］、［休日設定］を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

録画スケジュール設定画面で[OK]を選択し、【決定】ボタンを押す前に、[録画設定]、[休日設定]画面へ移動して設定の変更することができます。
[OK]は、「録画」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

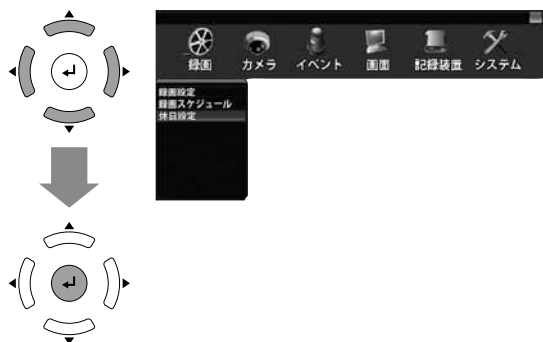
■録画 - 休日設定

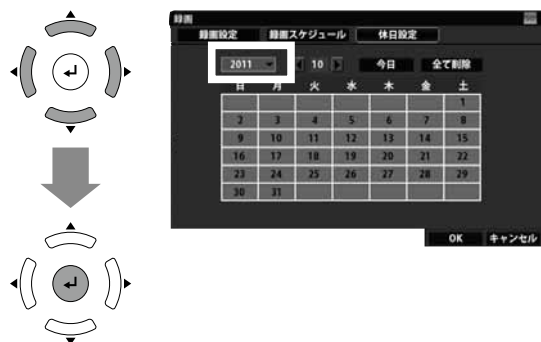
録画スケジュール設定を行う際の［休日］を、カレンダーで設定することができます。

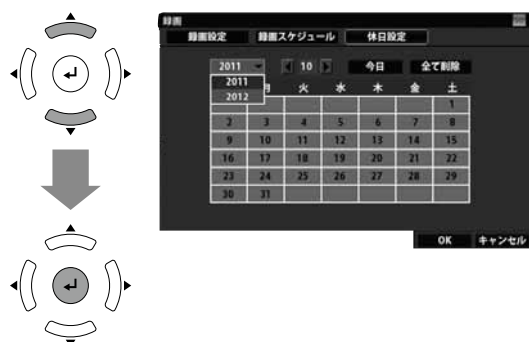
休日設定する

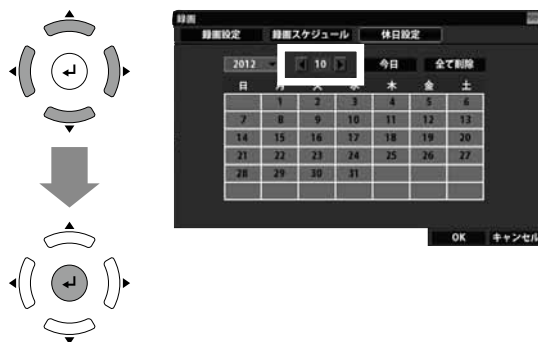
例 2012 年1 月1 日〜3 日を休日に設定する場合

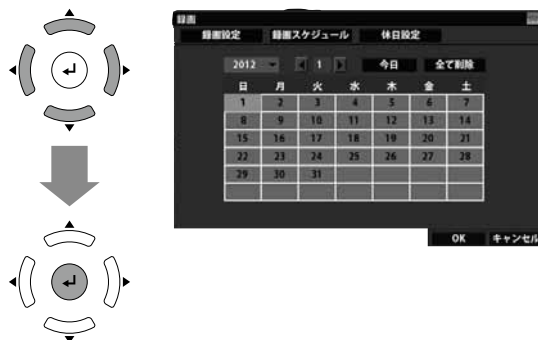
1

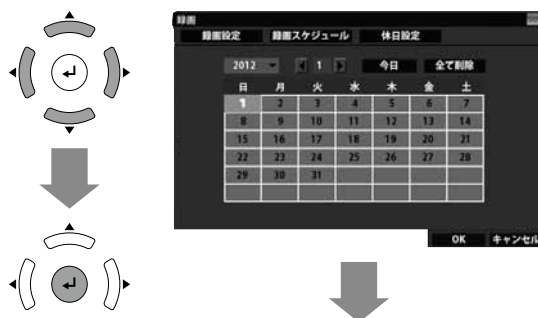
P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［録画］へ移動し、【▲▼】ボタンで［録画スケジュール］を選択して【決定】ボタンを押します。

2

休日設定画面が表示されます。
カレンダーで休日にしたい日にカーソルを移動します。
【▲▼◀▶】ボタンで［西暦］の項目へ移動して、【決定】ボタンを押します。
※休日は、今日から翌年末まで設定できます。
※［今日］を選択して【決定】ボタンを押すと、カレンダー上の今日を選択します。

3

［西暦］で選択できる年が表示されます。
【▲▼】ボタンで合わせたい年を選択し、【決定】ボタンを押します。

4

次に、【▲▼◀▶】ボタンで［◀］または［▶］を選択し、【決定】ボタンを繰り返し押して月を合わせます。

5

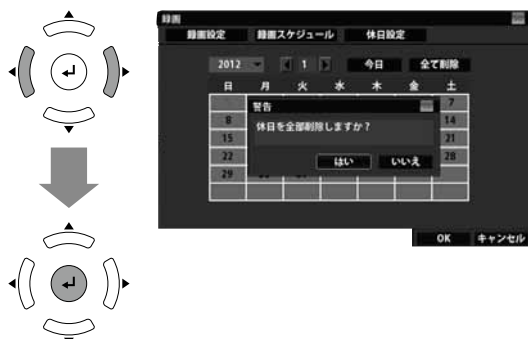
次に、【▲▼◀▶】ボタンで休日にしたい日へ移動し、【決定】ボタンを押します。

6

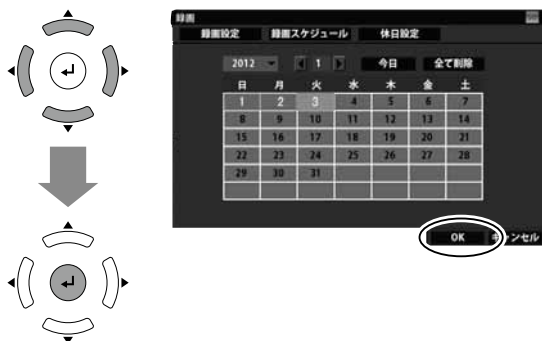
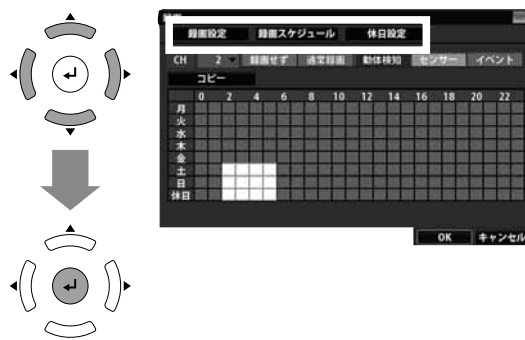
休日設定する日の数字が赤色で表示されます。
3〜*5* の操作を繰り返して、休日設定する日を赤色の文字に切り替えていきます。

■録画 - 休日設定

DVR-S220の画面を例に説明しています。

すべての休日設定を削除ことができます。

1 【▲▼◀▶】ボタンで［全て削除］を選択し、【決定】ボタンを押します。

2 「休日を全部削除しますか?」と確認画面が表示されます。
【◀▶】ボタンで［はい］を選択し、【決定】ボタンを押します。
※適用しない場合は[いいえ]を選択し、【決定】ボタン押して元の画面に戻ります。マウスの場合は、[☒]をクリックしても同様です。

3 元の画面に戻ります。

7 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで画面上の［OK］を選択し、【決定】ボタンを押します。
※［キャンセル］を選択して【決定】ボタンを押した場に合は、設定項目の変更内容を確定せずにメニュー画面に戻ります。

【▲▼◀▶】ボタンで［録画設定］、［録画スケジュール］を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

録画スケジュール設定画面で［OK］を選択し、【決定】ボタンを押す前に、［録画設定］、［録画スケジュール］画面へ移動して設定の変更することができます。
［OK］は、「録画」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

8 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

■カメラ - カメラ設定

DVR-S220の画面を例に説明しています。

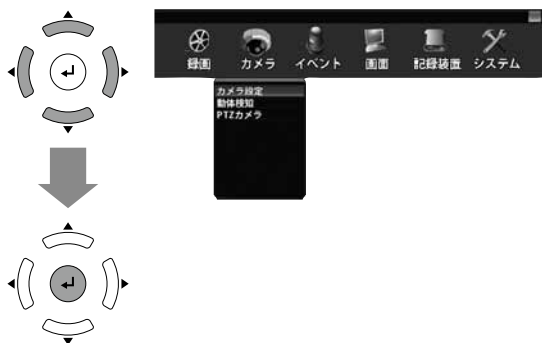
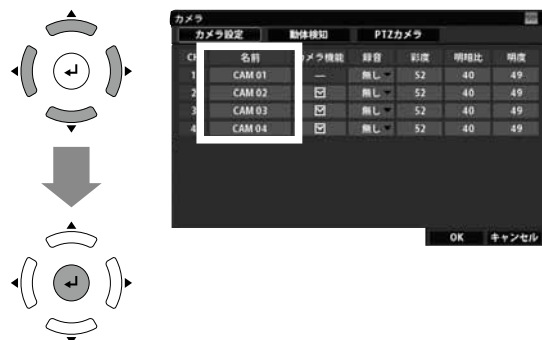
カメラチャンネル毎に映像の「解像度」「録画フレーム数」「画質」を調整できます。

項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
名前	CAM ＋CH番号*	初期設定➡CH1「CAM 01」、CH2「CAM 02」、CH3「CAM 03」、CH4「CAM 04」、CH5「CAM 05」、CH6「CAM 06」、CH7「CAM 07」、CH8「CAM 08」 ※CH5〜8は、DVR-S320のみ 12 文字までの英数字で名前を付けることができます。
カメラ機能	☑*	☑（ON）/ □（OFF） ※CH1 のカメラ機能を［OFF］にすることはできません。 □を選択すると、カメラが接続されている状態でもすべてのカメラ機能が［OFF］になります。 ※ライブ画面は真っ暗に、「無効」と表示されます。
録音	無し*	無し / 有り ［有り］を選択すると、音声入力端子から入力される音声を録音することができます。 ※音声入力は1 系統ですので、録音できるカメラチャンネルは1 つに限られます。 ［有り］を選択すると、他のカメラチャンネルは、すべて［無し］になります。
彩度	52*	それぞれ「0 〜100」 映像を見やすく調整することができます。
明暗比	40*	
明度	49*	

＊すべてのカメラチャンネル

カメラの名前を変更する

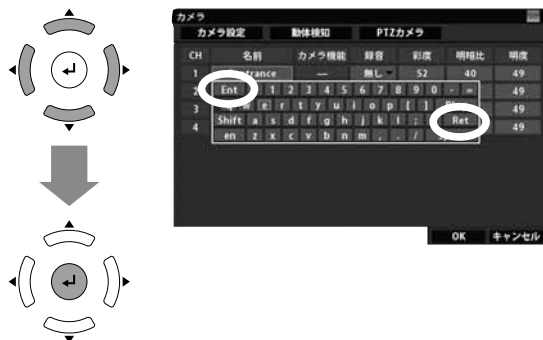
例 ［CH1］のカメラの名前を［Entrance］に設定する場合

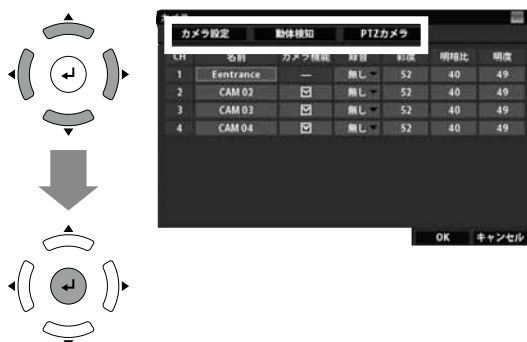
1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［カメラ］へ移動し、【▲▼】ボタンで［カメラ設定］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 カメラ設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［CH1］の［名前］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 入力パレットが表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを移動させ入力する英数字を選択し、【決定】ボタンで名前を入力していきます。
※最初に、【▲▼◀▶】ボタンで［Bksp］を選択し、【決定】ボタンを押し続けて［CAM 01］の名前を消去します。

▼入力パレットについて

英数字・記号	それぞれ英数字・記号を入力します。
Ent	入力を確定してパレットを閉じます。
Ret	入力を確定してパレットを閉じます。
Shift	大文字/ 小文字と記号の表示を切り替えます。
Bksp	1 文字消去します。
Space	スペースを入力します。
en	何も入力されません。

4

名前の入力が終了したら、【▲▼◀▶】でカーソルを [Ent] か [Ret] に移動させ、【決定】ボタンを押します。
または、【キャンセル】ボタンを押します。

5

【▲▼】ボタンで [OK] を選択し、【決定】ボタンを押します。

【▲▼◀▶】ボタンで [動体検知]、[PTZ カメラ] を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

カメラ設定画面で [OK] を選択し、【決定】ボタンを押す前に、[動体検知]、[PTZ カメラ] 画面へ移動して設定の変更することができます。
[OK] は、「カメラ」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

6

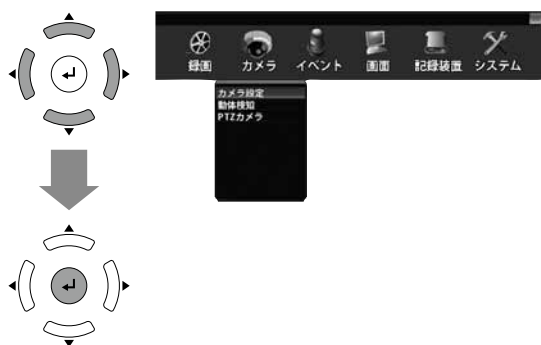
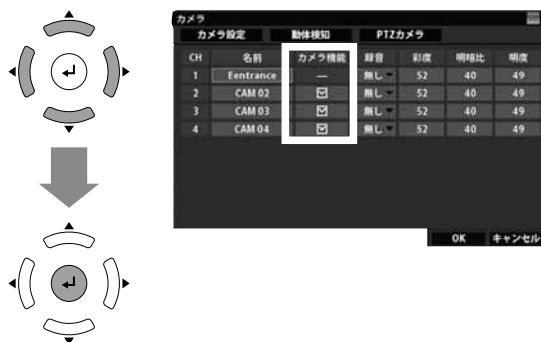
メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

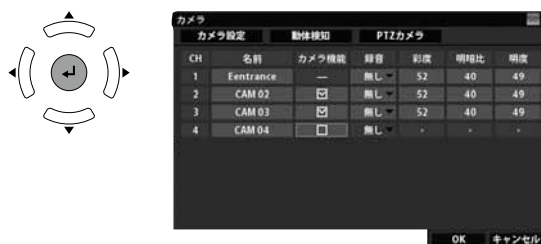
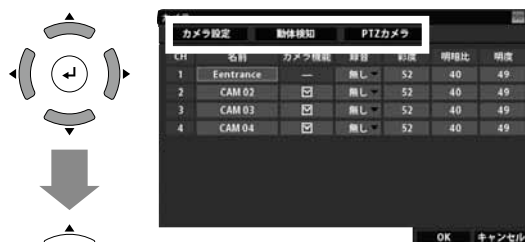
■カメラ - カメラ設定

DVR-S220の画面を例に説明しています。

カメラ機能を OFF にする

例 [CH4]のカメラ機能を [□ (OFF)]にする。

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。【◀▶】ボタンで [カメラ] へ移動し、【▲▼】ボタンで [カメラ設定] を選択して【決定】ボタンを押します。

2 カメラ設定画面が表示されます。【▲▼◀▶】ボタンで [CH4] の [カメラ機能] 項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 カメラ機能の [☑] が [□] になります。カメラ機能は、【決定】ボタンを押す度に [☑] と [□] が切り替わります。

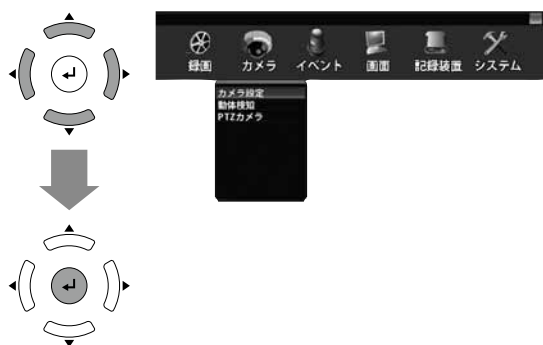
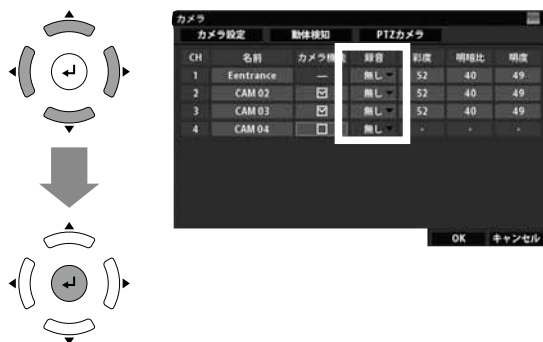
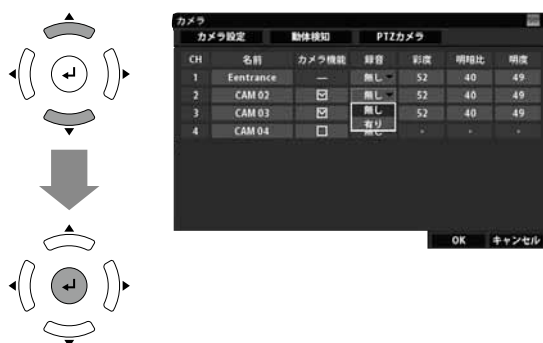
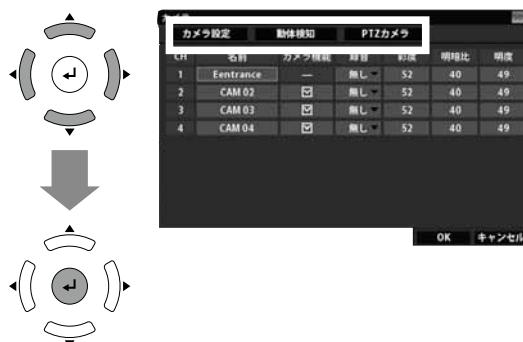
※ [□] になると、[録音・彩度・明暗比・明度] の項目は、選択できなくなります。

4 【▲▼】ボタンで [OK] を選択し、【決定】ボタンを押します。

【▲▼◀▶】ボタンで、[動体検知]、[PTZカメラ] を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

カメラ設定画面で [OK] を選択し、【決定】ボタンを押す前に、[動体検知]、[PTZ カメラ] 画面へ移動して設定の変更することができます。
[OK] は、「カメラ」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

5 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

録音する

例 [CH2]の録音を [有り]にする。

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで [カメラ] へ移動し、【▲▼】ボタンで [カメラ設定] を選択して【決定】ボタンを押します。

2 カメラ設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで [CH2] の [録音] 項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 [録音] の設定項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで設定したい数値を選択し、【決定】ボタンを押します。

4 【▲▼】ボタンで [OK] を選択し、【決定】ボタンを押します。

【▲▼◀▶】ボタンで [動体検知]、[PTZ カメラ] を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

カメラ設定画面で [OK] を選択し、【決定】ボタンを押す前に、[動体検知]、[PTZ カメラ] 画面へ移動して設定の変更することができます。
[OK] は、「カメラ」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

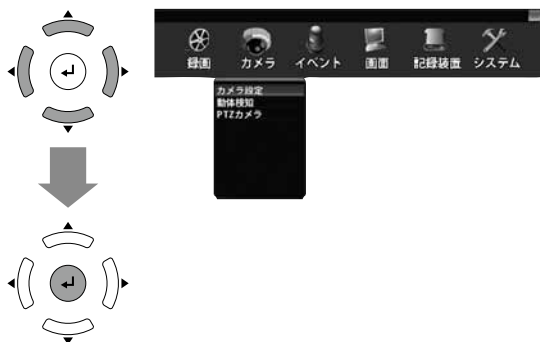
5 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

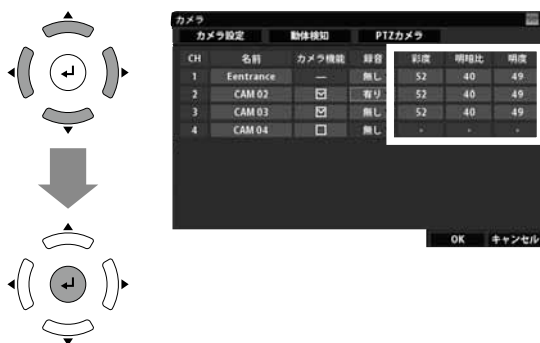
■カメラ - カメラ設定

DVR-S220の画面を例に説明しています。

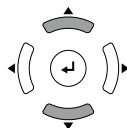
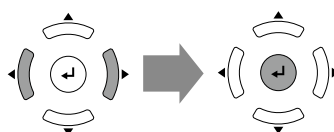
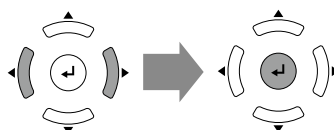
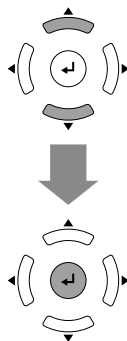
映像を見やすく調整する

例 [CH3]の映像を調整する

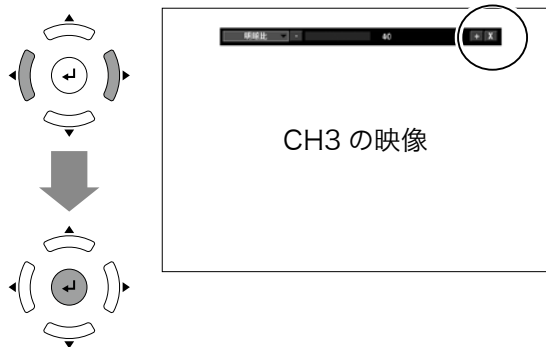
1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［カメラ］へ移動し、【▲▼】ボタンで［カメラ設定］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 カメラ設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで[CH2]の[彩度]、[明暗比]、[明度]のいずれかの項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。
※ここでは、[彩度]を選択します。

CH	名前	カメラ機能	録音	彩度	明暗比	明度
1	Eentrance	—	無し	52	40	49
2	CAM 02	☑	有り	52	40	49
3	CAM 03	☑	無し	52	40	49
4	CAM 04	☐	無し	-	-	-

3 [彩度]の設定項目が表示されます。
背景はCH3 のカメラ映像になりますので、画面を見ながら調整します。
※ここでは、彩度を［60］にします。

数値の変更方法

① 【▲】ボタンで数値が大きく、【▼】ボタンで数値が小さくなります。

② 【◀▶】ボタンで［＋］を選択して【決定】ボタンを押すと数値が大きく、[ー]を選択して【決定】ボタンを押すと数値が小さくなります。

4 次に【◀▶】ボタンで［彩度］を選択し、【決定】ボタンを押します。

5 項目の切替が表示されます。
【▲▼】ボタンで調整したい項目を選択して【決定】ボタンを押します。

6 *5* で選択したの設定項目が表示されます。
※ここでは、[明暗比] を選択しています。

3 と同様に、映像を調整します。

7 調整が終了したら、【◀▶】ボタンで [☒] を選択して【決定】ボタンを押します。
または、【キャンセル】ボタンを押します。

8 カメラ設定画面に戻ります。
【▲▼】ボタンで [OK] を選択し、【決定】ボタンを押します。

【▲▼◀▶】ボタンで [動体検知]、[PTZ カメラ] を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

カメラ設定画面で [OK] を選択し、【決定】ボタンを押す前に、[動体検知]、[PTZ カメラ] 画面へ移動して設定の変更することができます。
[OK] は、「カメラ」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

9 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

■カメラ - 動体検知

DVR-S220の画面を例に説明しています。

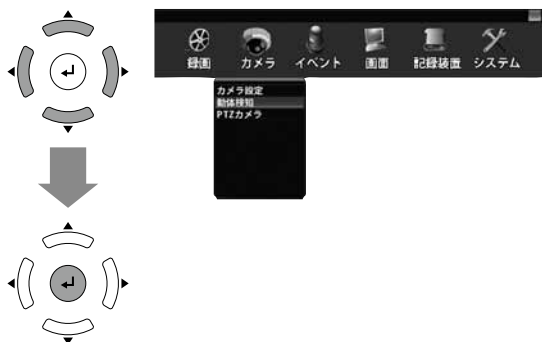
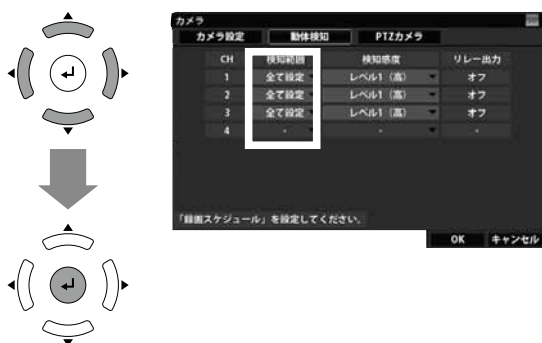
カメラチャンネル毎に動体検知する「検知範囲」「検知感度」を設定できます。
㊟動体検知録画をするためには、[録画スケジュール] 設定が必要です。

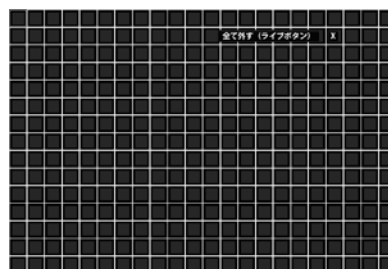
項 目	初期設定値	内容 (設定範囲、切替内容)
検知範囲	全て設定*	全て設定 / 部分設定 [部分設定] を選択すると、検知範囲を選んで設定することができます。
検知感度	レベル1 (高)*	レベル5 (低) / レベル4 / レベル3 / レベル2 / レベル1 (高) 動体を検知する感度を調整できます。レベル数が小さいほど検知する感度が高く、レベル数が大きいほど検知する感度が低くなります。
リレー出力	オフ*	オフ / オン ※表示のみ [リレー出力] 項目で [動体検知] をリレー出力に設定すると、[オン] の表示になります。

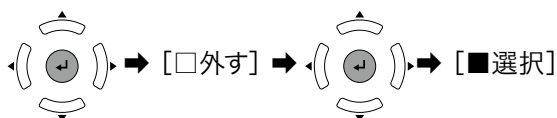
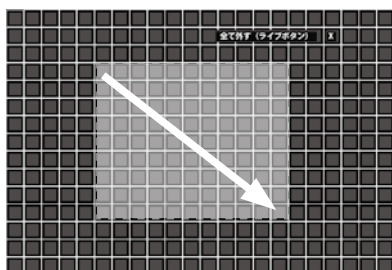
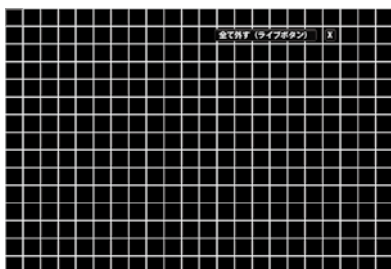
*すべてのカメラチャンネル

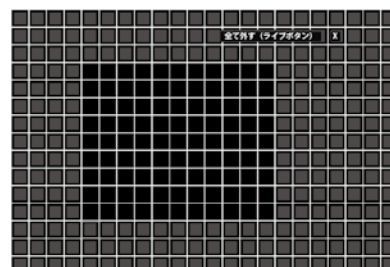
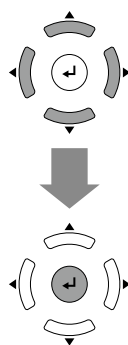
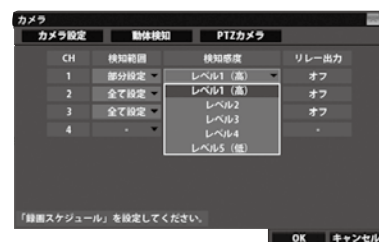
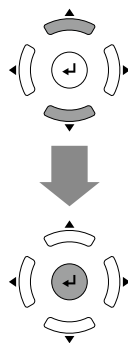
動体検知の設定を変更する

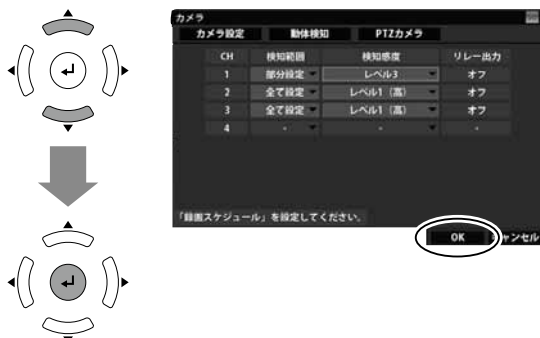
例 [CH1] の動体検知範囲を [部分設定]、検知感度を [レベル3] に設定する場合

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで [カメラ] へ移動し、【▲▼】ボタンで [動体検知] を選択して【決定】ボタンを押します。

2 動体検知設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで [CH1] の [検知範囲] 項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 項目の切替が表示されます。
【▲▼】ボタンで [全て設定] か [部分設定] を選択して【決定】ボタンを押します。
※ここでは [部分設定] を選択します。[全て設定] を選択した場合は、*6* の操作に移ります。

4 検知範囲設定画面が表示されます。
検知範囲は、マス目毎に設定できます。
「検知範囲の切替方法」を参考に検知範囲を設定します。

検知範囲の切替方法

①選択されているマス目で、【決定】ボタンを押す度にマス目の［■選択］と［□外す］が切り替わります。

②マウスを使用している場合、ドラッグすることで、四角い範囲でマス目を一度に[■選択]、[□外す]に切り替えることができます。

③【ライブ】ボタンを押すと、画面上の全ての範囲を［外す］に変更できます。
※もう一度【ライブ】ボタンを押しても元には戻りません。

④全ての範囲を選択する場合は、【キャンセル】ボタンを押して、動体検知設定画面に戻り、検知範囲項目を一度［全て設定］を選択して【決定】ボタンを押してから、再度［部分設定］を選択して【決定】ボタンを押すと全ての範囲が選択された状態になります。

5 検知範囲の変更が終了したら、【キャンセル】ボタンを押します。

6 動体検知設定画面に戻ります。
【▲▼◀▶】ボタンで［CH1］の［検知感度］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

7 ［検知感度］の設定項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで設定したい感度を選択し、【決定】ボタンを押します。

■カメラ - 動体検知

DVR-S220の画面を例に説明しています。

【▲▼】ボタンで [OK] を選択し、【決定】ボタンを押します。

【▲▼◀▶】ボタンで［カメラ設定］、[PTZ カメラ]を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

動体検知設定画面で［OK］を選択し、【決定】ボタンを押す前に、［カメラ設定］、[PTZ カメラ]画面へ移動して設定の変更することができます。
[OK]は、「カメラ」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

検知録画の場合、検知前約5秒、検知後約10秒が録画されます。
また、検知がはたらいている間は録画を継続します。

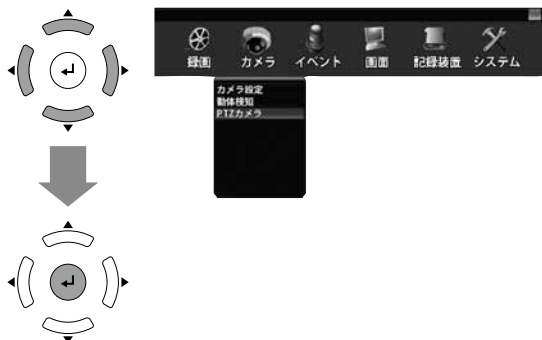
■カメラ -PTZ(パン・チルト)カメラ

DVR-S220の画面を例に説明しています。

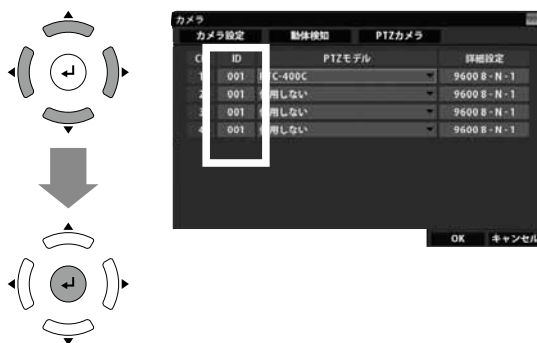
接続したパン・チルト機能付きのカメラを、本機の操作で動かせるように設定することができます。

パン・チルトカメラの設定をする

例 [CH1]に接続されたカメラ「PTC-400C」(推奨)のパン・チルト機能を使えるように設定する場合

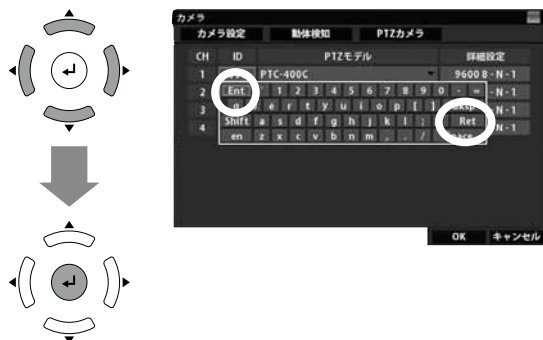
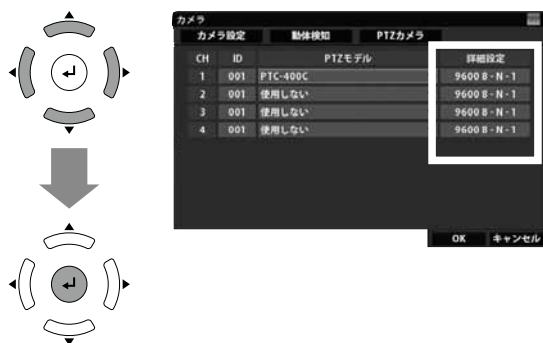
1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで[カメラ]へ移動し、【▲▼】ボタンで[PTZカメラ]を選択して【決定】ボタンを押します。

2 PTZカメラ設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで[CH1]の[PTZ モデル]項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

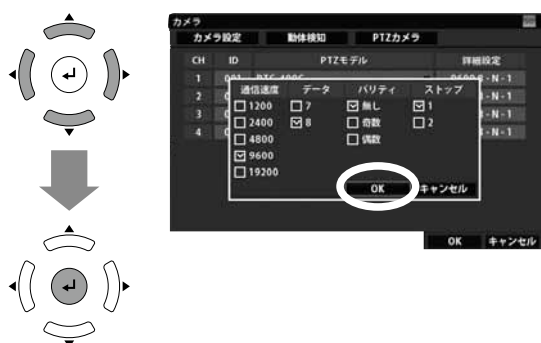
3 PTZモデルの選択項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで設定するカメラの型名(もしくはプロトコル)を選択して、【決定】ボタンを押します。

4 次に、【▲▼◀▶】ボタンで[CH1]の[ID]項目へ移動して【決定】ボタンを押します。

5 入力パレットが表示されます。
[ID]には、カメラの「RS485」に設定したIDを確認して、その数値を入力します。
【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを移動させ入力する数字を選択し、【決定】ボタンでID 番号を入力していきます。
※最初に、【▲▼◀▶】ボタンで[Bksp]を選択し、【決定】ボタンを押し続けて[001]を消去して入力し直します。
※パン・チルトカメラを複数台使用する場合は、同じID にならないようにご注意ください。

▼入力パレットについて

英数字・記号	それぞれ英数字・記号を入力します。
Ent	入力を確定してパレットを閉じます。
Ret	入力を確定してパレットを閉じます。
Shift	大文字/小文字と記号の表示を切り替えます。
Bksp	1 文字消去します。
Space	スペースを入力します。
en	何も入力されません。

6 IDの入力が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを［Ret］もしくは［Ent］に移動して、【決定】ボタン押します。

7 PTZカメラ設定画面に戻ります。
次に、【▲▼◀▶】ボタンで［CH3］の［詳細設定］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

8 PTZカメラの詳細設定画面が表示されます。
カメラの取扱説明書等を確認して、［通信速度］、［データ］、［パリティ］、［ストップ］、それぞれの項目を入力します。
【▲▼◀▶】ボタンで設定する値に移動し、【決定】ボタンを押して［☑］マークにしていきます。

設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで［OK］へ移動し、【決定】ボタンを押します。
※［キャンセル］で【決定】ボタンを押すと、設定を変更せずに元の画面に戻ります。

9 PTZカメラ設定画面に戻ります。
【▲▼◀▶】ボタンで［OK］を選択し、【決定】ボタンを押します。

【▲▼◀▶】ボタンで［カメラ設定］、［動体検知］を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

PTZ カメラ設定画面で［OK］を選択し、【決定】ボタンを押す前に、［カメラ設定］、［動体検知］画面へ移動して設定の変更することができます。
［OK］は、「カメラ」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

10 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

■イベント - センサー

DVR-S220の画面を例に説明しています。

カメラチャンネル毎に背面のセンサー接続部に接続するセンサーのタイプ設定ができます。
㊟センサー検知録画をするためには、[録画スケジュール]設定が必要です。

項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
タイプ	[N/O]*	[N/O] ➡ 通常回路が開回路のセンサー [N/C] ➡ 通常回路が閉回路のセンサー 接続するセンサーのタイプを設定できます。
リレー出力	オフ*	オフ / オン （表示のみ） [リレー出力]項目で [センサー]をリレー出力に設定すると、[オン]の表示になります。 ※DVR-S320の場合は、下表の通りセンサーの対応するカメラチャンネルのどちらかが「オン」になると [オン]の表示になります。例えば、センサー2 でCH2 もしくはCH6 のどちらかが「オン」になると [オン]の表示になります。

＊すべてのカメラチャンネル

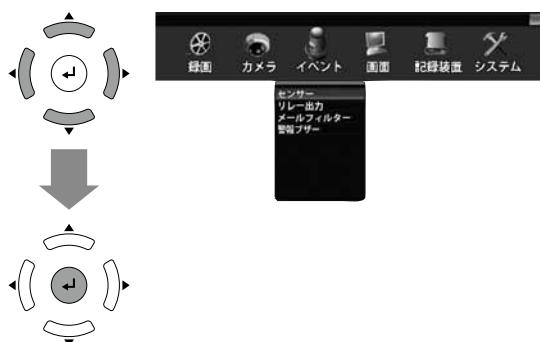
センサー項目とカメラチャンネルの対応表

項目	DVR-S220	DVR-S320
センサー1	CH1	CH1 および CH5
センサー2	CH2	CH2 および CH6
センサー3	CH3	CH3 および CH7
センサー4	CH4	CH4 および CH8

※ DVR-S320 の場合、検知リスト内の表示は、2 つのカメラチャンネルのどちらかが表示されます。

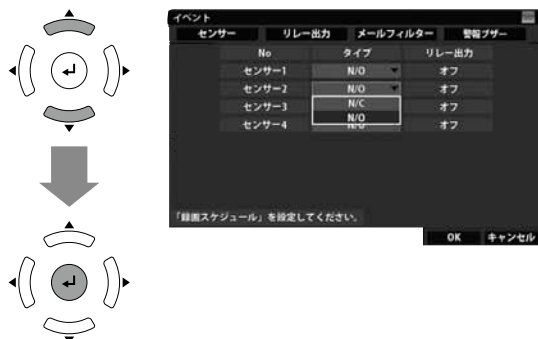
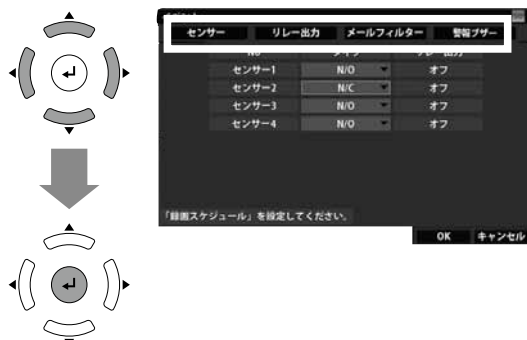
センサーの設定を変更する

例 [CH2]のセンサーを [N/C]に設定する場合

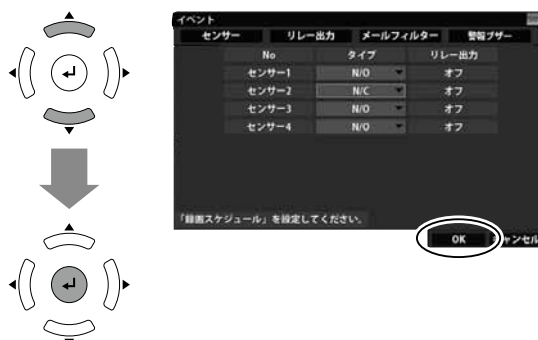
1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで [イベント]へ移動し、【▲▼】ボタンで[センサー]を選択して【決定】ボタンを押します。

2 センサー設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで [センサー2]の [タイプ]項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

※センサー項目とカメラチャンネル対応については、上の表を参照してください。

3

[タイプ]の設定項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで [N/O]または [N/C]を選択し、【決定】ボタンを押します。※ここでは、[N/C]。

【▲▼◀▶】ボタンで [リレー出力]、[メールフィルター]、[警報ブザー]を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

センサー設定画面で [OK]を選択し、【決定】ボタンを押す前に、[リレー出力]、[メールフィルター]、[警報ブザー]画面へ移動して設定の変更することができます。
[OK]は、「イベント」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

【▲▼】ボタンで [OK]を選択し、【決定】ボタンを押します。

5

メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

検知録画の場合、検知前約5秒、検知後約10秒が録画されます。
また、検知がはたらいている間は録画を継続します。

■イベント - リレー出力

DVR-S220の画面を例に説明しています。

カメラチャンネル毎に［動体検知］、［ビデオロス］、［センサー検知］、それぞれの検知があった時にリレー出力をする設定ができます。

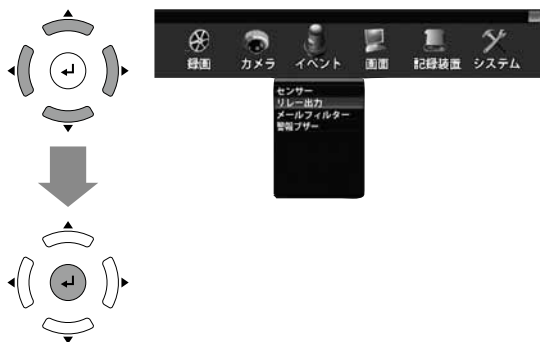
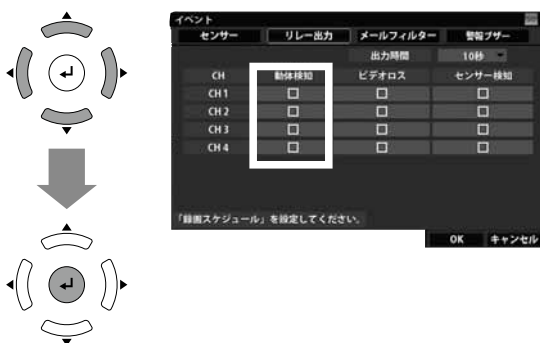
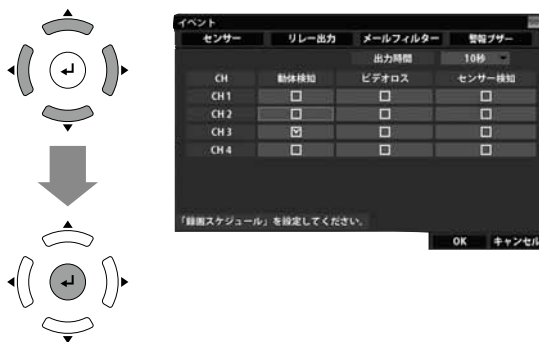
㊟動体検知、センサー検知でリレー出力をするためには、それぞれ検知録画される［録画スケジュール］設定が必要です。

項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
出力時間	10 秒	3 秒 / 5 秒 / 10 秒 / 20 秒 / 30 秒 リレー出力の信号を出力する時間を設定できます。
動体検知	□*	☑（ON）/ □（OFF） それぞれ動体検知、ビデオロス※、センサー検知をした時にリレー出力するか設定できます。 ※カメラの映像信号が切断された場合
ビデオロス	□*	
センサー検知	□*	

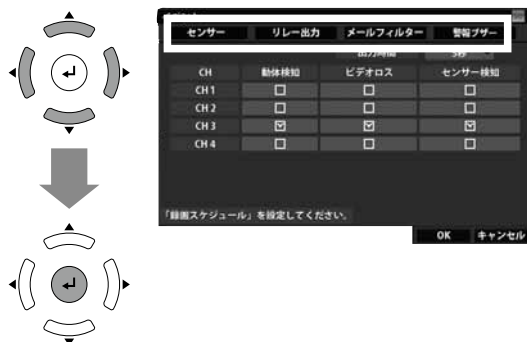
＊すべてのカメラチャンネル

リレー出力の設定を変更する

例 出力時間を［5秒］、［CH3］の［動体検知］、［ビデオロス］、［センサー検知］をそれぞれ［☑（ON）］にする場合

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［イベント］へ移動し、【▲▼】ボタンで［リレー出力］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 リレー出力設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［CH3］の［動体検知］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 表示が、［□］から［☑］に切り替わります。
※表示は【決定】ボタンを押す度に、［□］と［☑］が切り替わります。
同様に、［CH3］の［ビデオロス］、［センサー検知］項目も【▲▼◀▶】ボタンで移動し、【決定】ボタンを押して変更します。

4 次に、【▲▼◀▶】ボタンで［出力時間］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

5 出力時間の切替項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで［出力時間］の設定項目を選択して【決定】ボタンを押します。
※ここでは［5秒］を選択します。

【▲▼◀▶】ボタンで［センサー］、［メールフィルター］、［警報ブザー］を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

リレー出力設定画面で[OK]を選択し、【決定】ボタンを押す前に、［センサー］、［メールフィルター］、［警報ブザー］画面へ移動して設定の変更することができます。
[OK]は、「イベント」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

6 【▲▼】ボタンで［OK］を選択し、【決定】ボタンを押します。

7 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

■イベント - メールフィルター

DVR-S220の画面を例に説明しています。

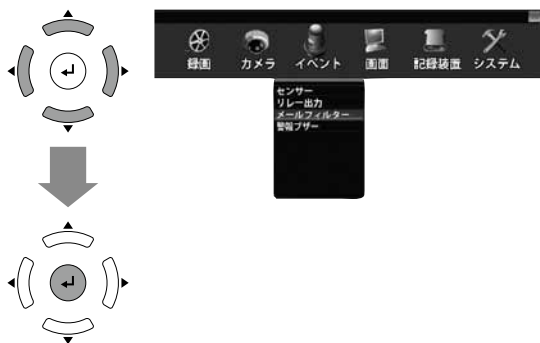
メール送信を行う条件を設定できます。
※メールを送信するためには、メール設定を行う必要があります。⇒P.120「システム- メール設定」

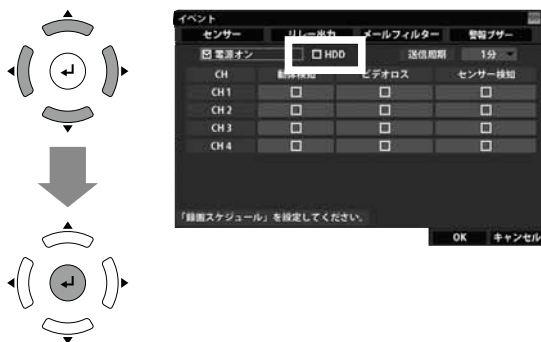
項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
送信周期	1分	1分 / 2分 / 3分 / 5分 / 10分 イベントが発生した時に、何分に1回メールを送るかの設定ができます。
電源オン	□	☑（ON）/ □（OFF） それぞれ電源がオンになった時、HDD異常※1 があった時、動体を検知した時、ビデオロス※2 があった時、センサー検知があった時にメールを送信するか設定できます。 ※1 :HDD（ハードディスク）に何らかの異常があった場合など ※2 :カメラの映像信号が切断された場合
HDD	□	
動体検知	□*	
ビデオロス	□*	
センサー検知	□*	

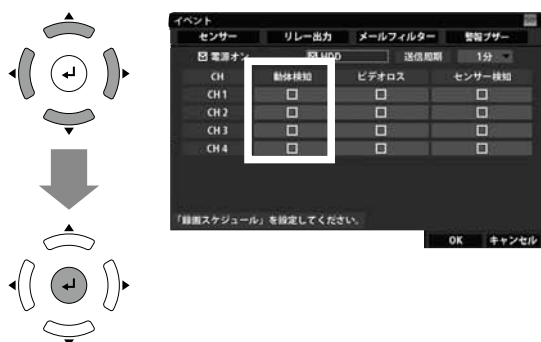
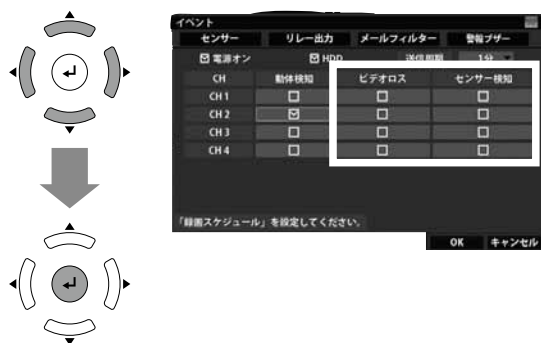
＊すべてのカメラチャンネル

メールを送るイベントを設定する

例 送信周期を［10分］、電源オン、HDD 異常でメールを送信。さらに［CH2］の［動体検知］、［ビデオロス］、［センサー検知］をそれぞれ［☑（ON）］にする場合

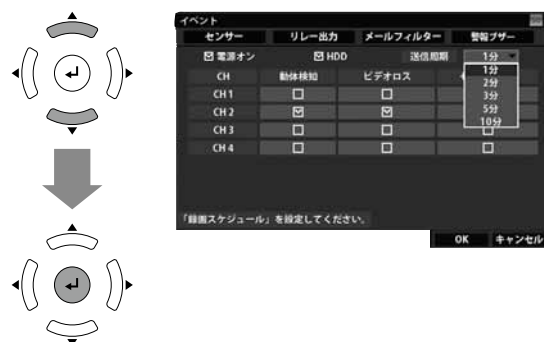
1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［イベント］へ移動し、【▲▼】ボタンで［リレー出力］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 メールフィルター設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［電源オン］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 表示が、［□］から［☑］に切り替わります。
※表示は【決定】ボタンを押す度に、［□］と［☑］が切り替わります。
同様に、【▲▼◀▶】ボタンで［HDD］項目へ移動し、【決定】ボタンを押して変更します。

4 次に、【▲▼◀▶】ボタンで［CH2］の［動体検知］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

5

表示が、[□] から [☑] に切り替わります。
※表示は【決定】ボタンを押す度に、[□] と [☑] が切り替わります。
同様に、[CH2] の [ビデオロス]、[センサー検知] 項目も【▲▼◀▶】ボタンで移動し、【決定】ボタンを押して変更します。

6

次に、【▲▼◀▶】ボタンで [送信周期] 項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

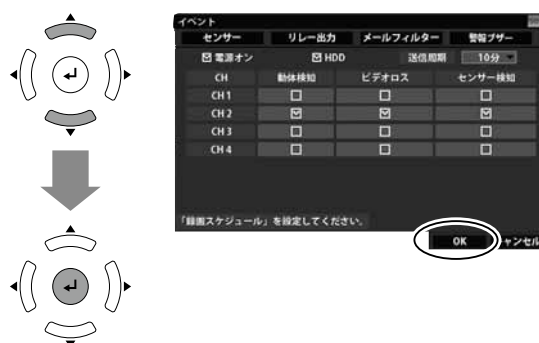
7

送信周期の切替項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで [送信周期] の設定項目を選択して【決定】ボタンを押します。
※ここでは [10分] を選択します。

【▲▼◀▶】ボタンで [センサー]、[リレー出力]、[警報ブザー] を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

メールフィルター設定画面で [OK] を選択し、【決定】ボタンを押す前に、[センサー]、[リレー出力]、[警報ブザー] 画面へ移動して設定の変更することができます。
[OK] は、「イベント」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

8

【▲▼】ボタンで [OK] を選択し、【決定】ボタンを押します。

9

メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

■イベント - 警報ブザー

DVR-S220の画面を例に説明しています。

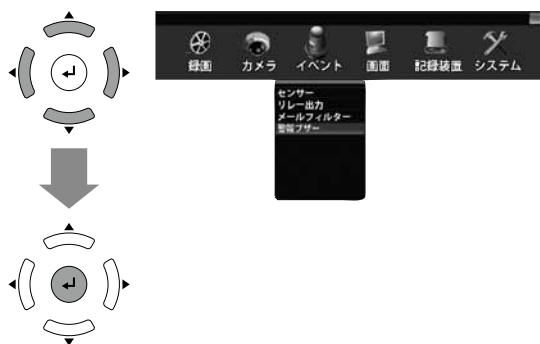
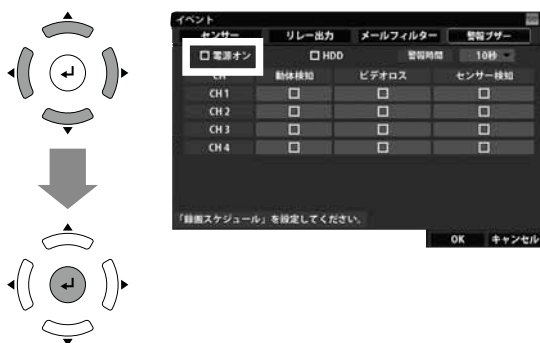
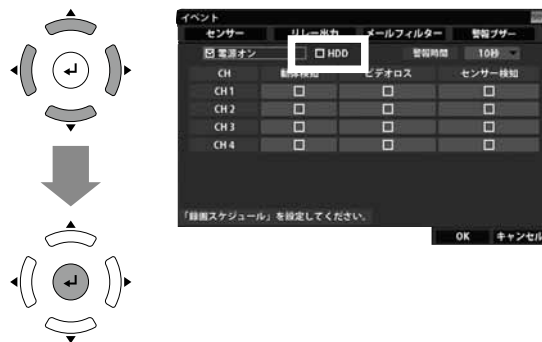
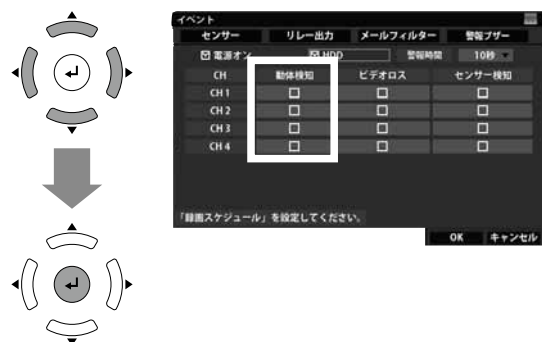
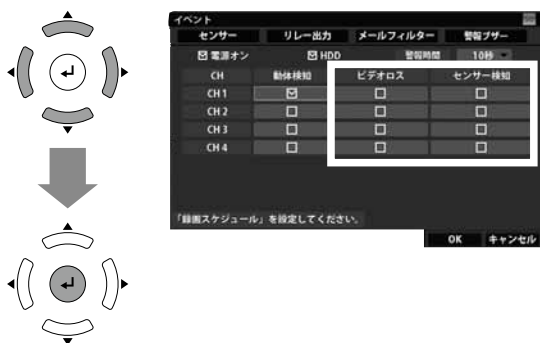
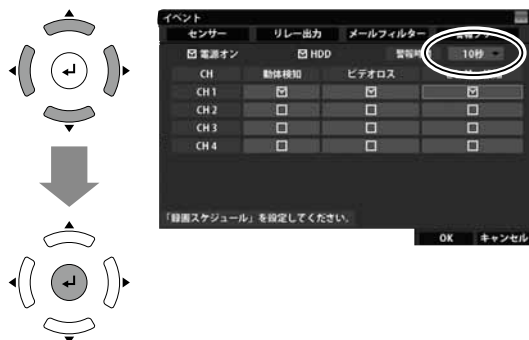
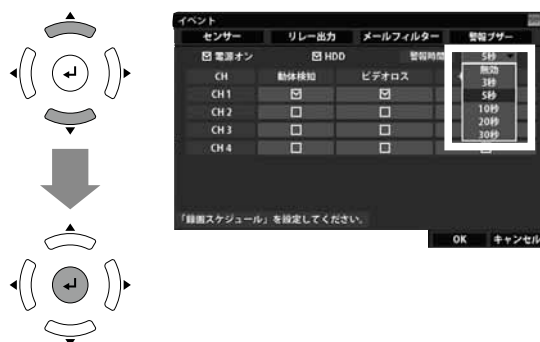
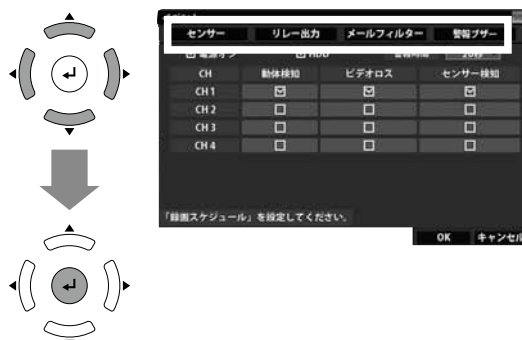
電源オン、カメラチャンネル毎に［動体検知］、［ビデオロス］、［センサー検知］それぞれで検知した時の警報ブザー設定ができます。

項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
警報時間	10 秒	3 秒 / 5 秒 / 10 秒 / 20 秒 / 30 秒 イベントが発生した時に鳴らす警報ブザー音の時間を設定できます。
電源オン	□	☑（ON）/ □（OFF） それぞれ電源がオンになった時、HDD異常※1 があった時、動体を検知した時、ビデオロス※2 があった時、警報ブザー音を鳴らす設定ができます。 ※1：HDD（ハードディスク）に何らかの異常があった場合など ※2：カメラの映像信号が切断された場合
HDD	□	
動体検知	□*	
ビデオロス	□*	
センサー検知	□*	

＊すべてのカメラチャンネル

警報ブザーを鳴らす

例 警報時間を［20秒］、電源オン、HDD 異常で警報音を鳴らす。さらに［CH1］の［動体検知］、［ビデオロス］、［センサー検知］をそれぞれ［☑（ON）］にする場合

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［イベント］へ移動し、【▲▼】ボタンで［警報ブザー］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 警報ブザー設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［電源オン］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 表示が、［□］から［☑］に切り替わります。
※表示は【決定】ボタンを押す度に、［□］と［☑］が切り替わります。
同様に、【▲▼◀▶】ボタンで［HDD］項目へ移動し、【決定】ボタンを押して変更します。

4 次に、【▲▼◀▶】ボタンで［CH1］の［動体検知］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

5 表示が、[□] から [☑] に切り替わります。
※表示は【決定】ボタンを押す度に、[□] と [☑] が切り替わります。
同様に、[CH1] の [ビデオロス]、[センサー検知] 項目も【▲▼◀▶】ボタンで移動し、【決定】ボタンを押して変更します。

6 次に、【▲▼◀▶】ボタンで [警報時間] 項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

7 警報時間の切替項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで [警報時間] の設定項目を選択して【決定】ボタンを押します。
※ここでは [20秒] を選択します。

【▲▼◀▶】ボタンで [センサー]、[リレー出力]、[メールフィルター] を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

警報ブザー設定画面で[OK]を選択し、【決定】ボタンを押す前に、[センサー]、[リレー出力]、[メールフィルター] 画面へ移動して設定の変更することができます。
[OK] は、「イベント」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

8 【▲▼】ボタンで [OK] を選択し、【決定】ボタンを押します。

9 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

ブザー音の止め方

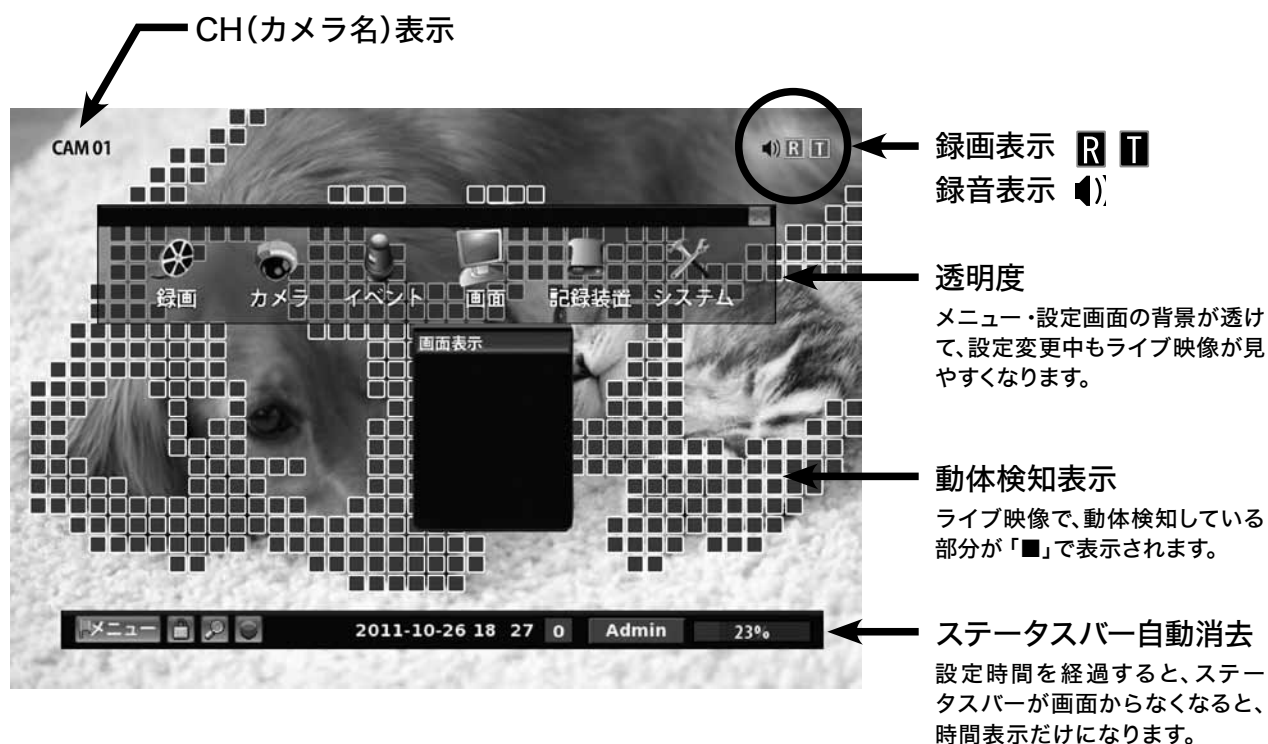
警報ブザーが鳴った時には、本体またはリモコンのボタンどれかを押してください。ブザーが止まります。

㊟ボタン操作音設定が [オフ] になっている場合は、ボタンを押しても止まりません。⇒P.123「ボタン操作音を消す」参照。

■画面 - 画面表示

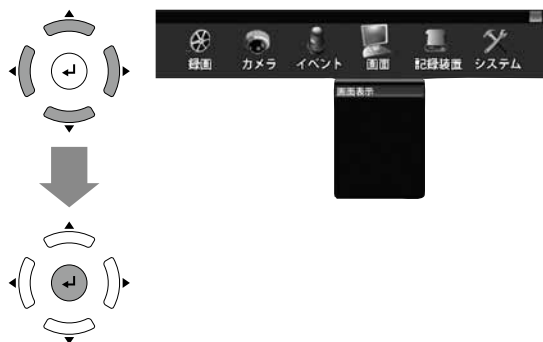
ライブ画面の表示に関するさまざまな設定ができます。

項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
CH 表示	☑	☑（ON）/ □（OFF） ライブ映像画面に「カメラチャンネル名」を表示するか、表示しないか設定できます。
録画表示	☑	☑（ON）/ □（OFF） ライブ映像画面に録画中マークを表示するか、表示しないか設定できます。
録音表示	☑	☑（ON）/ □（OFF） ライブ映像画面に録音中マークを表示するか、表示しないか設定できます。 ※録音は、1つのカメラチャンネルのみ可能です。
動体検知表示	□	☑（ON）/ □（OFF） ライブ映像で動体を検知している状態を表示するか、表示しないか設定できます。
透明度	不透明	不透明 / 低 / 中 / 高 メニュー画面の透明度を設定できます。
ステータスバー自動消去	オフ	オフ / 1 秒 / 2 秒 / 3 秒 / 4 秒 / 5 秒 / 10 秒 ライブ画面でステータスバーを表示している時間の長さを設定できます。 ※マウスがステータスバー以下の位置にある間は、ステータスバーを表示し続けます。
カメラ自動切替	5秒	1 秒 / 2 秒 / 3 秒 / 4 秒 / 5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 30 秒 / 60 秒 ライブ画面を自動切替で表示する時の長さを設定できます。
画面の解像度	1024×768	640 ×480 / 800 ×600 / 1024×768 / 1280×1024 ライブ画面の解像度を設定できます。 ※ VGA端子に接続されたモニターにのみ適用されます。 ㊟ VGA端子に接続されたモニターと解像度が合わない場合、モニターに映らなくなることがあります。モニターの解像度を確認したうえで変更してください。

◆画面表示について

ライブ画面の表示を消す

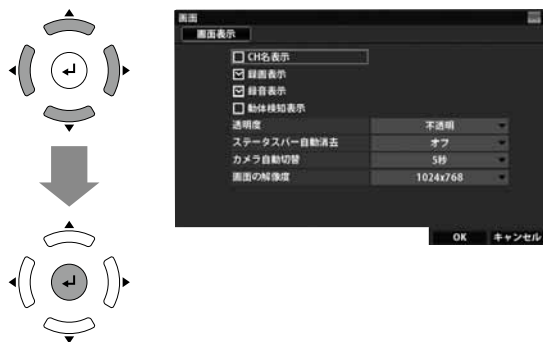
例 CH 表示、録画表示、録音表示を画面に表示しないよう［□（OFF）］にする。

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。

【◀▶】ボタンで［画面］へ移動し、【▲▼】ボタンで［画面表示］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 画面表示設定画面が表示されます。

【▲▼◀▶】ボタンで［CH表示］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 CH表示の［☑］が［□］になります。

カメラ機能は、【決定】ボタンを押す度に［☑］と［□］が切り替わります。

4 次に、【▲▼◀▶】ボタンで［録画表示］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

5 録画表示の［☑］が［□］になります。

録画表示は、【決定】ボタンを押す度に［☑］と［□］が切り替わります。

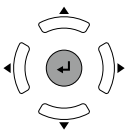
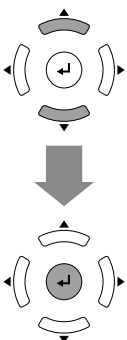
6 続けて、【▲▼◀▶】ボタンで［録音表示］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

■画面 - 画面表示

7 録音表示の [☑] が [□] になります。
録音表示は、【決定】ボタンを押す度に [☑] と [□] が切り替わります。

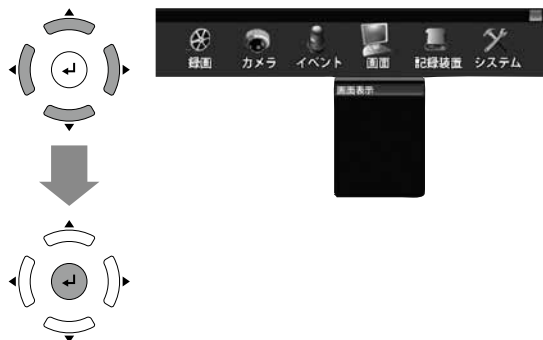
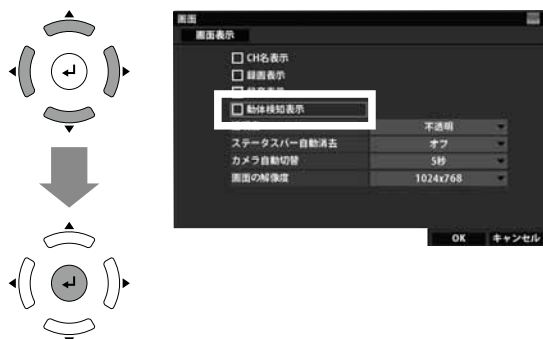
8 【▲▼】ボタンで [OK] を選択し、【決定】ボタンを押します。

[OK] を選択する前に、画面表示設定画面内のその他の設定をすることもできます。
[OK] は、画面表示設定画面内の変更内容を確定させるボタンです。

9 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

ツールバー操作の [画面表示オン/ 画面表示オフ] の機能とは異なります。

4 各項目の設定 画面■画面表示（表示）

動体の検知状態を表示する

例 動体検知表示を［☑（ON）］にする。

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［画面］へ移動し、【▲▼】ボタンで［画面表示］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 画面表示設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［動体検知表示］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 動体検知表示の［□］が［☑］になります。
動体検知表示は、【決定】ボタンを押す度に［☑］と［□］が切り替わります。

4 【▲▼】ボタンで［OK］を選択し、【決定】ボタンを押します。

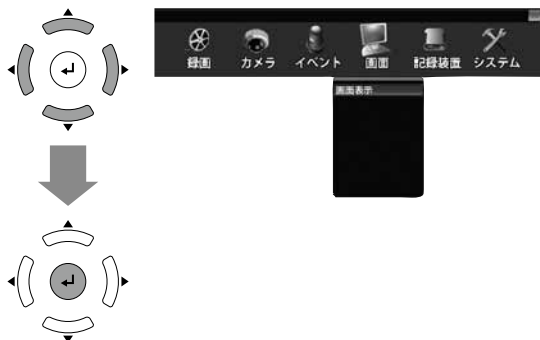
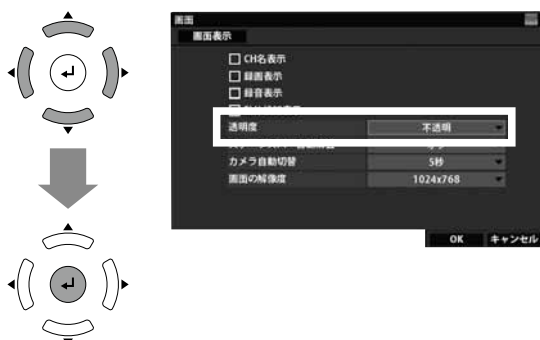
［OK］を選択する前に、画面表示設定画面内のその他の設定をすることもできます。
［OK］は、画面表示設定画面内の変更内容を確定させるボタンです。

5 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

■画面 - 画面表示

メニュー画面を透明にする

例 透明度を［高］にする。

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［画面］へ移動し、【▲▼】ボタンで［画面表示］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 画面表示設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［透明度］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 ［透明度］の設定項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで設定したい項目を選択し、【決定】ボタンを押します。

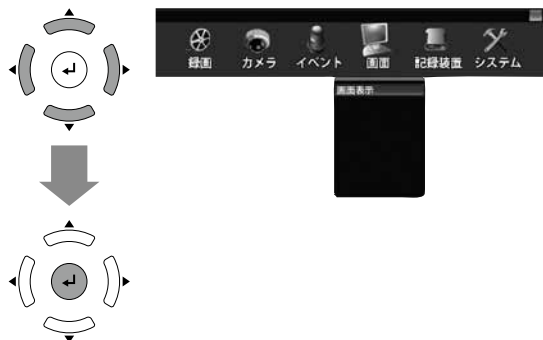
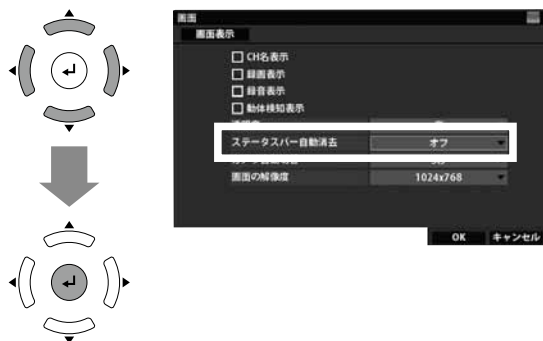
4 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで［OK］を選択し、【決定】ボタンを押します。

［OK］を選択する前に、画面表示設定画面内のその他の設定をすることもできます。
［OK］は、画面表示設定画面内の変更内容を確定させるボタンです。

5 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

ステータスバーを自動消去にする

例 ステータスバー自動消去を［オン］にする。

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［画面］へ移動し、【▲▼】ボタンで［画面表示］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 画面表示設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［ステータスバー自動消去］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 ［ステータスバー自動消去］の設定項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで設定したい項目を選択し、【決定】ボタンを押します。

4 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで［OK］を選択し、【決定】ボタンを押します。

［OK］を選択する前に、画面表示設定画面内のその他の設定をすることもできます。
［OK］は、画面表示設定画面内の変更内容を確定させるボタンです。

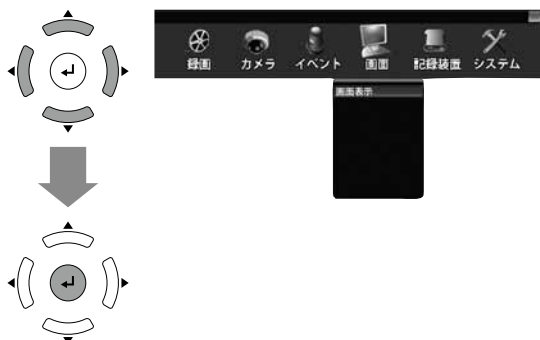
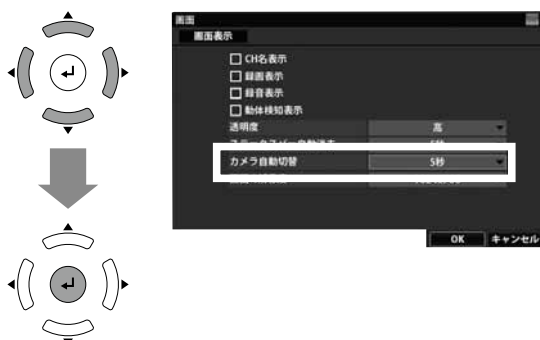
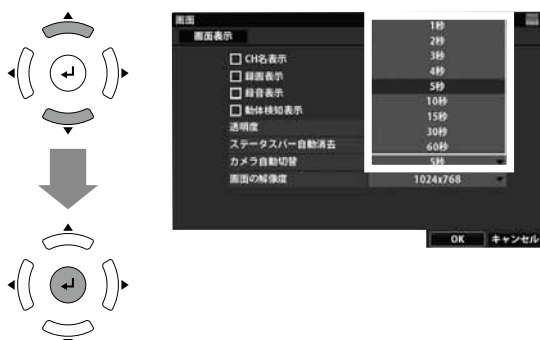
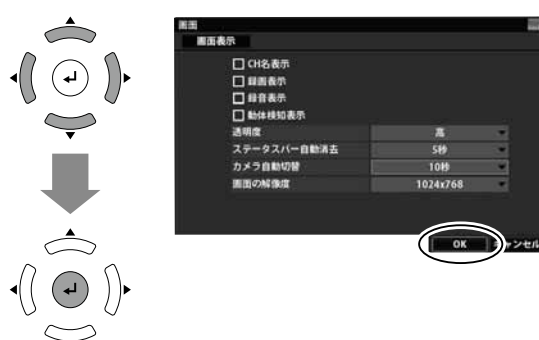
5 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

※マウスがステータスバー以下の位置にある時は表示されたままになります。(自動ログアウト時は除きます。)

■画面 - 画面表示

カメラ自動切替の時間を変更する

例 カメラ自動切替を［10秒］にする。

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［画面］へ移動し、【▲▼】ボタンで［画面表示］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 画面表示設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［カメラ自動切替］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 ［カメラ自動切替］の設定項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで設定したい項目を選択し、【決定】ボタンを押します。

4 設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで［OK］を選択し、【決定】ボタンを押します。

［OK］を選択する前に、画面表示設定画面内のその他の設定をすることもできます。
［OK］は、画面表示設定画面内の変更内容を確定させるボタンです。

5 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

画面の解像度を変える

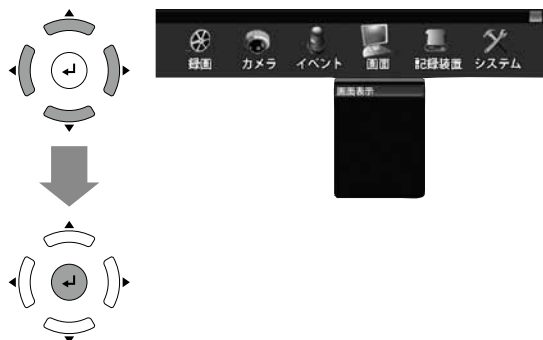
例 画面の解像度を［1280×1024］にする。

※ VGA端子に接続されたモニターにのみ適用されます。

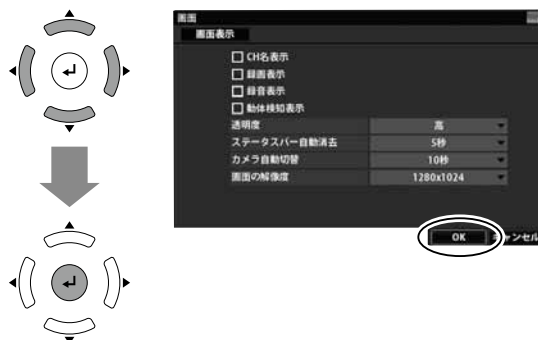
㊟ VGA端子に接続されたモニターと解像度が合わない場合、モニターに映らなくなることがあります。モニターの解像度を確認したうえで変更してください。

1

P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［画面］へ移動し、【▲▼】ボタンで［画面表示］を選択して【決定】ボタンを押します。

2

画面表示設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［画面の解像度］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3

［画面の解像度］の設定項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで設定したい項目を選択し、【決定】ボタンを押します。

設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで［OK］を選択し、【決定】ボタンを押します。

［OK］を選択する前に、画面表示設定画面内のその他の設定をすることもできます。
［OK］は、画面表示設定画面内の変更内容を確定させるボタンです。

5

メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

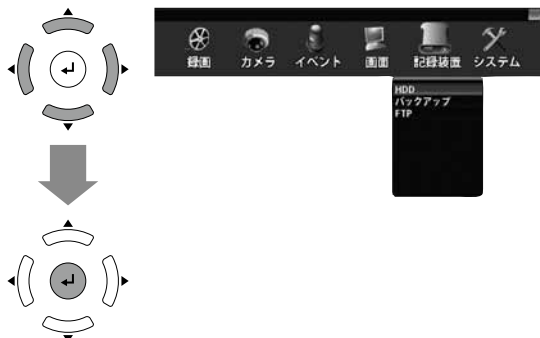
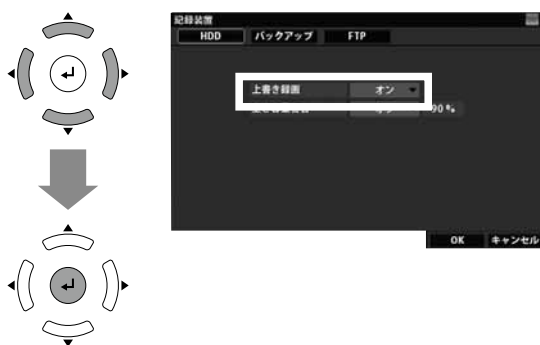
■記録装置 -HDD

HDD（ハードディスク）の上書き録画設定を変更できます。
また、上書き録画を設定していない場合で、HDD の空き容量が少なくなった時には、警告を表示することができます。

項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
上書き録画	オン	**オン（上書き録画する）/ オフ（上書き録画しない）** HDDの使用率が 100%になった時に、録画データを上書きして録画を続ける場合は、［オン］の設定にします。
空き容量警告	オフ	**オフ / オン** HDDの使用率が 90%になった時から警告を表示します。

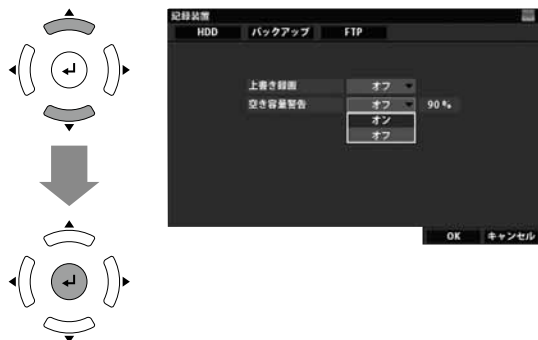
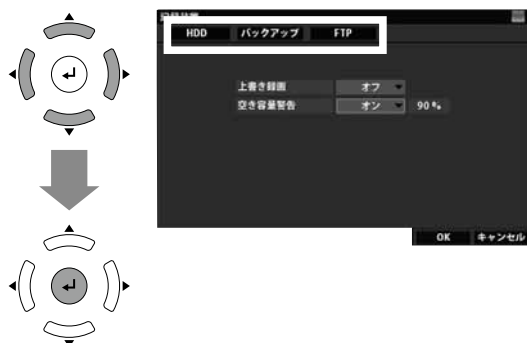
上書き録画の設定を変更する

例 HDDの上書き録画をしない［オフ］、空き容量警告をする［オン］に設定する場合

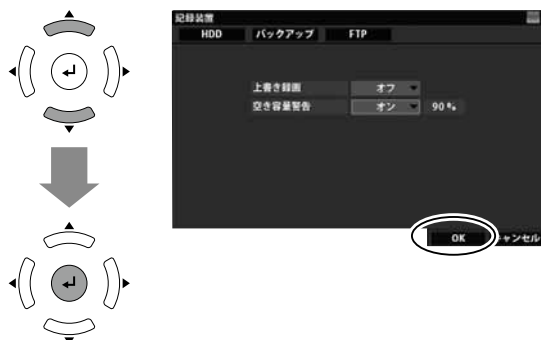
1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［記録装置］へ移動し、【▲▼】ボタンで［HDD］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 HDD 設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［上書き録画］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 ［上書き録画］の設定項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで［オン］または［オフ］を選択し、【決定】ボタンを押します。
※ここでは、［オフ］を選択します。。

4 次に、【▲▼◀▶】ボタンで［空き容量警告］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

5

[空き容量警告]の設定項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで[オン]または[オフ]を選択し、【決定】ボタンを押します。
※ここでは、[オン]を選択します。

【▲▼◀▶】ボタンで[バックアップ]、[FTP]を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

HDD設定画面で[OK]を選択し、【決定】ボタンを押す前に、[バックアップ]、[FTP]画面へ移動して設定の変更することができます。
[OK]は、「記録装置」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

【▲▼】ボタンで[OK]を選択し、【決定】ボタンを押します。

7

メニュー画面に戻ります。
P.27を参考に設定変更を反映させます。

㊟上書き設定が[オフ]の場合、HDD容量が100%になった時点で録画を停止します。
ライブ画面には、上書きして録画を続けるかどうかの確認が表示されます。
[はい]を選択して【決定】ボタンを押すと、上書き設定を[オン]にして録画を開始します。
また、ライブ画面上の[R]マークは、HDD容量が100%で録画を停止した場合でも録画スケジュール設定上で録画している時間には表示されます。
録画しているかどうかは、本体前面の「録画」ランプでご確認ください。

■記録装置 - バックアップ

DVR-S220の画面を例に説明しています。

USB端子に接続したUBSフラッシュメモリー等、もしくはFTPサーバーに、時間の指定をして録画された録画データをバックアップできます。

項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
装置	ー	ー / FTP 接続した USBフラッシュメモリー等がある場合、【検索】ボタンを押すとその情報を表示します。
容量（空き容量）	ー	［装置］で表示されたUSBフラッシュメモリー等の容量と空き容量を表示します。
CH	全CH	全CH / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8　※5 〜8 は、DVR-S320 のみ バックアップするカメラチャンネルを選択できます。 ※選択できるのは、すべてのカメラチャンネルか、どれか 1 台のカメラチャンネルになります。
開始時間	ー	バックアップするデータの開始日時を指定できます。 ※最初は、バックアップ画面を開いた時間の 1 時間前が表示されています。
終了時間	ー	バックアップするデータの終了日時を指定できます。 ※最初は、バックアップ画面を開いた時間が表示されています。
データサイズ	ー	［開始時間］、［終了時間］を指定して【データ検索】をクリックすると、バックアップするデータの容量を表示します。

USBメモリーに録画データをバックアップする

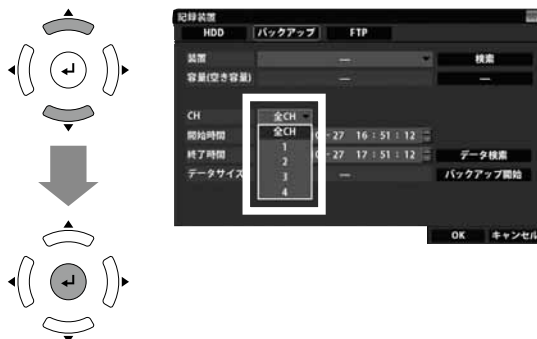
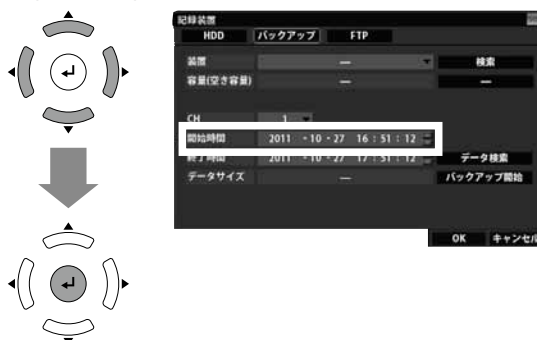
例 ［CH1］の2011年10月22日13時10分00秒〜13時15分00秒の録画データをバックアップする場合

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［記録装置］へ移動し、【▲▼】ボタンで［バックアップ］を選択して【決定】ボタンを押します。

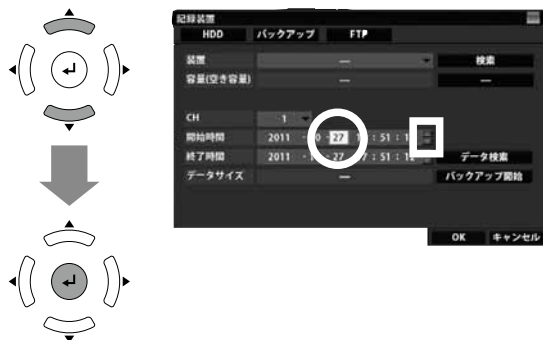
2 バックアップ画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［CH］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 CH 選択が表示されます。
【▲▼】ボタンで［CH］を選択し、【決定】ボタンを押します。

4 次に、バックアップする録画データの開始時間を設定します。
【▲▼◀▶】ボタンで［開始時間］項目の［西暦］、［月］、［日］、［時］、［分］、［秒］の修正する部分を選択して【決定】ボタンを押します。
※開始時間は、バックアップ画面を表示した時間の1 時間前になっています。

5

窓の中が白色に切り替わります。
【▲▼】ボタンで数字を合わせます。

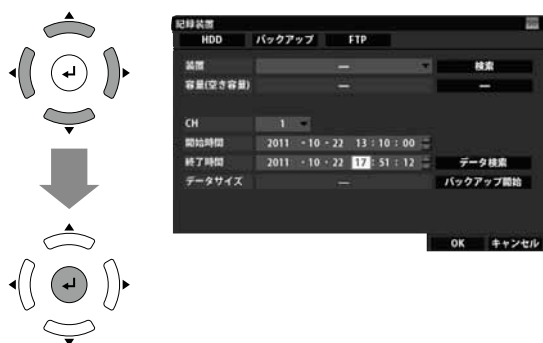
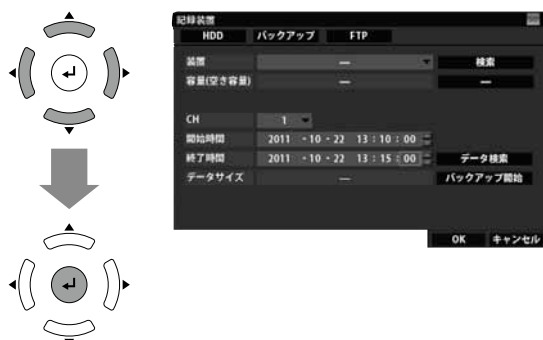
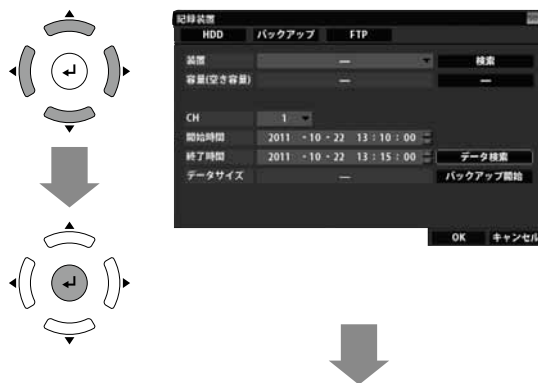
※【▲】ボタンで数字が大きく、【▼】ボタンで数字が小さくなります。【▲▼】ボタンを押し続けると、数字が連続で変わります。

※マウスの場合は、[▲]を選択してクリックすると数字が大きく、[▼]を選択してクリックすると数字が小さくなります。

6

4、5 の操作を繰り返し、[開始時間]項目の[西暦]、[月]、[日]、[時]、[分]、[秒]を合わせます。
次に、バックアップする録画データの終了時間を設定します。
【▲▼◀▶】ボタンで[終了時間]項目の[西暦]、[月]、[日]、[時]、[分]、[秒]の修正する部分を選択して【決定】ボタンを押します。

7

4、5 の操作を繰り返し、[終了時間]項目の[西暦]、[月]、[日]、[時]、[分]、[秒]を合わせます。
次に、バックアップする録画データの終了時間を設定します。

8

[開始時間]、[終了時間]の設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで[データ検索]へ移動し、【決定】ボタンを押します。

[データサイズを計算中]画面が表示され、バックアップするデータ容量の計算を開始します。

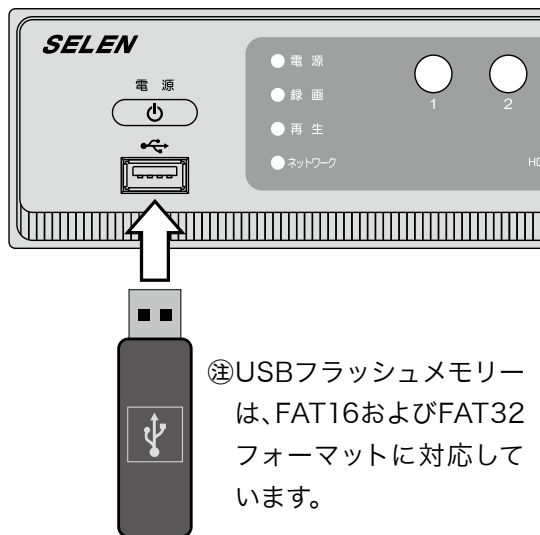
※途中でやめる場合は、[キャンセル]が選択された状態で【決定】ボタンを押すと、元の画面に戻ります。マウスの場合は、[☒]をクリックしても同様です。

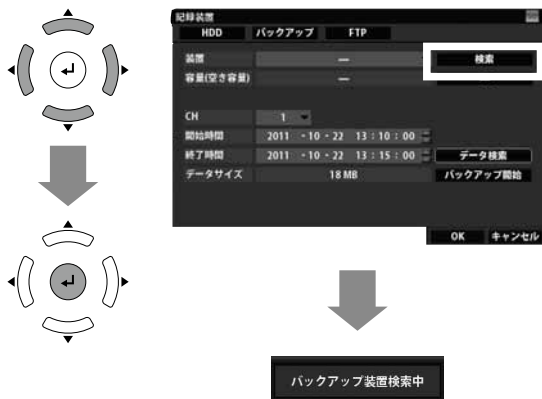
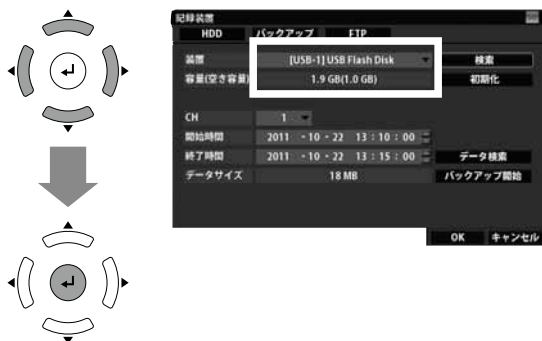
※バックアップできるデータサイズは、最大2GBです。それ以上大きなデータとなる時間を選択している場合は、[終了時間]が変更されます。その際、下のような画面が表示されますので、[OK]が選択された状態で【決定】ボタンを押します。マウスの場合は、[☒]をクリックしても同様です。

[データサイズ]項目に容量が表示されます。

■記録装置 - バックアップ

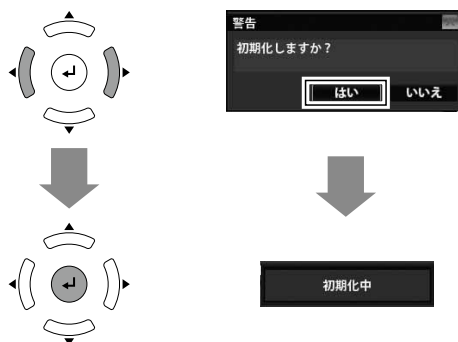
DVR-S220の画面を例に説明しています。

9 次に、USBフラッシュメモリーを本体のUSB端子に挿入します。

㊟USBフラッシュメモリーは、FAT16およびFAT32フォーマットに対応しています。

10 【▲▼◀▶】ボタンで［検索］を選択し、【決定】ボタンを押します。
［バックアップ装置検索中］画面が表示され、バックアップ装置の検索を開始します。

11 USBフラッシュメモリーが検索され、［装置］、［容量(空き容量)］項目に内容が表示されます。
※USBフラッシュメモリーを接続していない場合は、「FTP」が表示されます。

USBフラッシュメモリーを読み込まない場合は、初期化して使用することができます。

㊟USBフラッシュメモリーに保存されているファイルは、すべて消去されます。ご注意ください。

1 *11* の時に、【▲▼◀▶】ボタンで［初期化］を選択し、【決定】ボタンを押します。

2 初期化の確認画面が表示されます。
【◀▶】ボタンで［はい］を選択し、【決定】ボタンを押しすと、初期化を開始します。
※初期化をしない場合は［いいえ］を選択し、【決定】ボタン押して元の画面に戻ります。マウスの場合は、［☒］をクリックしても同様です。

3 完了画面が表示されたら、［はい］が選択された状態で【決定】ボタンを押して *11* の画面に戻ります。

12

【▲▼◀▶】ボタンで［バックアップ開始］を選択し、【決定】ボタンを押します。

USBフラッシュメモリーに書込みを開始します。

※書き込みを中止する場合は、［キャンセル］が選択された状態で、【決定】ボタンを押します。マウスの場合は、［☒］をクリックしても同様です。

㊟書き込み中は、USBフラッシュメモリーを抜かないでください。

［装置］項目が「ー」のままバックアップ操作を行った場合、「バックアップする装置がありません。」の画面が表示されます。
【決定】ボタンを押して（マウスの場合は、［☒］をクリックしても同様です。）元の画面に戻り、［装置］項目で「USB Flash Disk」を選択してください。
または、*9* の操作からやり直してください。

13

バックアップが終了すると、バックアップ画面に戻ります。

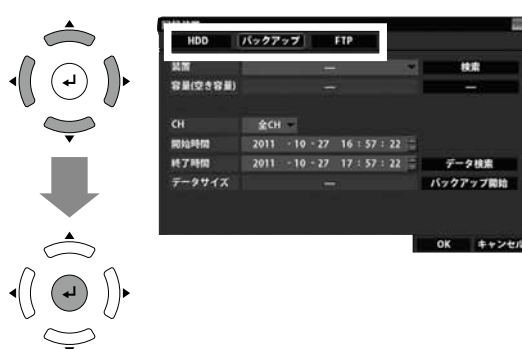
【▲▼◀▶】ボタンで［OK］を選択し、【決定】ボタンを押すとライブ画面に戻ります。

［キャンセル］を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

※バックアップをしないで、［OK］を選択して【決定】ボタンを押した場合は、メニュー画面に戻ります。

【▲▼◀▶】ボタンで［HDD］、［FTP］を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

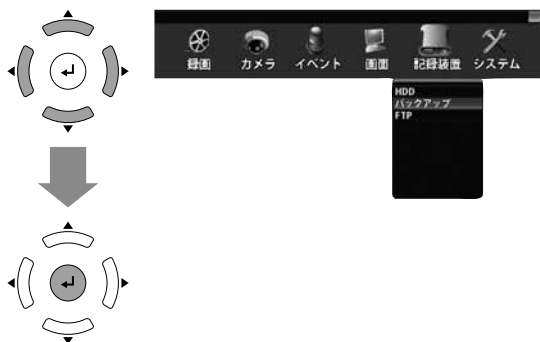
バックアップ画面で［OK］を選択し、【決定】ボタンを押す前に、［HDD］、［FTP］画面へ移動して設定の変更することができます。

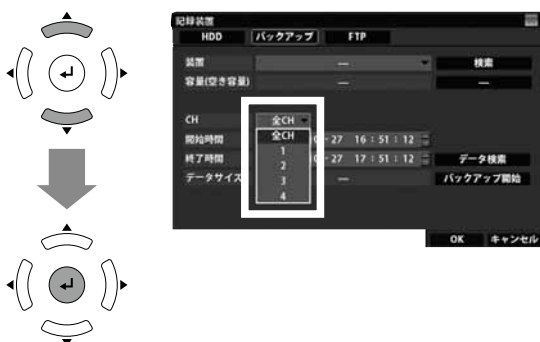
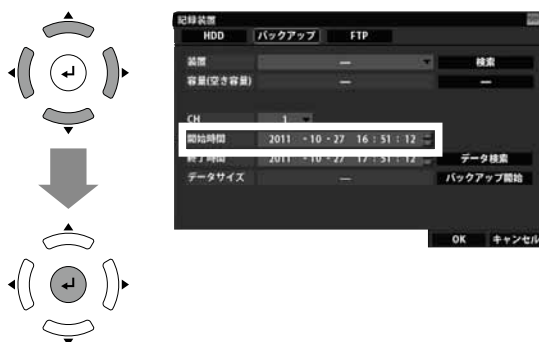
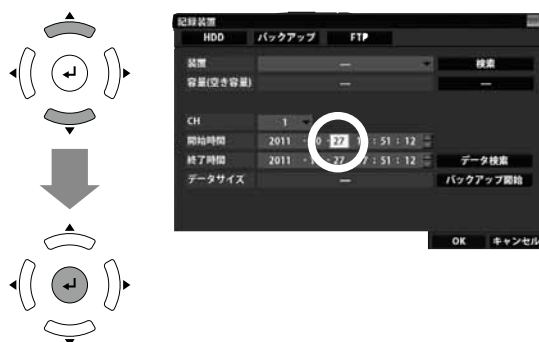
■記録装置 - バックアップ

DVR-S220の画面を例に説明しています。

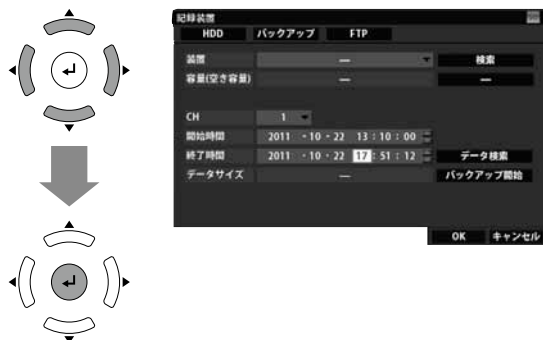
FTPサーバーに録画データをバックアップする

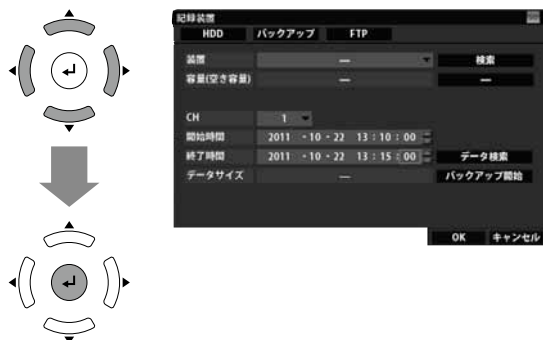
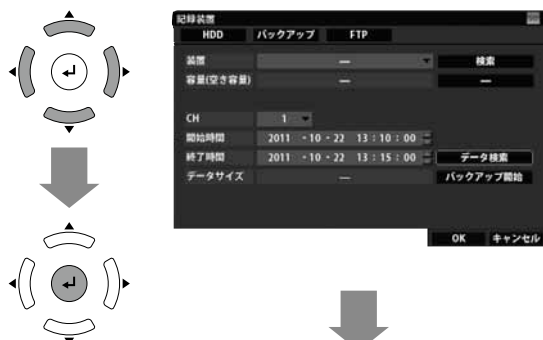
㊟**FTPサーバーにバックアップをする場合は、あらかじめP.90［FTP］の設定が必要です。**

例 ［CH1］の2011年10月22日13時10分00秒～13時15分00秒の録画データをバックアップする場合

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［記録装置］へ移動し、【▲▼】ボタンで［バックアップ］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 バックアップ画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［CH］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 CH 選択が表示されます。
【▲▼】ボタンで［CH］を選択し、【決定】ボタンを押します。

4 次に、バックアップする録画データの開始時間を設定します。
【▲▼◀▶】ボタンで［開始時間］項目の［西暦］、［月］、［日］、［時］、［分］、［秒］の修正する部分を選択して【決定】ボタンを押します。
※開始時間は、バックアップ画面を表示した時間の1 時間前になっています。

5 窓の中が白色に切り替わります。
【▲▼】ボタンで数字を合わせます。
※【▲】ボタンで数字が大きく、【▼】ボタンで数字が小さくなります。【▲▼】ボタンを押し続けると、数字が連続で変わります。
※マウスの場合は、［▲］をクリックすると数字が大きく、［▼］をクリックすると数字が小さくなります。

4、*5* の操作を繰り返し、［開始時間］項目の［西暦］、［月］、［日］、［時］、［分］、［秒］を合わせます。

6
同様に、バックアップする録画データの終了時間を設定します。【▲▼◀▶】ボタンで［終了時間］項目の［西暦］、［月］、［日］、［時］、［分］、［秒］の修正する部分を選択して【決定】ボタンを押します。

7
45の操作を繰り返し、［終了時間］項目の［西暦］、［月］、［日］、［時］、［分］、［秒］を合わせます。次に、バックアップする録画データの終了時間を設定します。

8
［開始時間］、［終了時間］の設定が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで［データ検索］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

［データサイズを計算中］画面が表示され、バックアップするデータ容量の計算を開始します。

※途中でやめる場合は、［キャンセル］が選択された状態で【決定】ボタンを押すと、元の画面に戻ります。マウスの場合は、［☒］をクリックしても同様です。

※バックアップできるデータサイズは、最大2GBです。それ以上大きなデータとなる時間を選択している場合は、自動的に［終了時間］が変更されます。その際、下のような画面が表示されますので、［OK］が選択された状態で【決定】ボタンを押します。マウスの場合は、［☒］をクリックしても同様です。

［データサイズ］項目に容量が表示されます。

9
次に、【▲▼◀▶】ボタンで［装置］を選択し、【決定】ボタンを押します。

10
装置の選択項目から、【▲▼】ボタンで［FTP］を選択して【決定】ボタンを押します。

■記録装置 - バックアップ

DVR-S220の画面を例に説明しています。

11 [装置]に「FTP」、[容量（空き容量）]に「最大サイズ2GB」と表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［バックアップ開始］を選択し、【決定】ボタンを押します。
FTPサーバーに書込みを開始します。

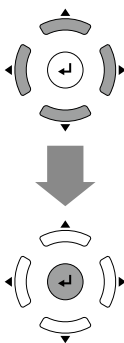
※書き込みを中止する場合は、[キャンセル]が選択された状態で、【決定】ボタンを押します。マウスの場合は、[☒]をクリックしても同様です。
※FTPサーバーには、「test（DATファイル）」が残ります。

バックアップが完了しました。

[FTP]の設定がしていないと、「適用できませんでした。」の画面が表示されます。【決定】ボタンを押して元の画面に戻ります。
バックアップを行う前に、P.90「FTP」の設定をしてください。

[装置]項目が「ー」のままバックアップ操作を行った場合、「バックアップする装置がありません。」の画面が表示されます。
【決定】ボタンを押して（マウスの場合は、[☒]をクリックしても同様です。）元の画面に戻り、[装置]項目で「FTP」を選択してください。
または、*9*の操作からやり直してください。

12 バックアップが終了すると、バックアップ画面に戻ります。
【▲▼◀▶】ボタンで［OK］を選択し、【決定】ボタンを押すとライブ画面に戻ります。
[キャンセル]を選択し、【決定】ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

※バックアップをしないで、[OK]を選択して【決定】ボタンを押した場合は、メニュー画面に戻ります。

【▲▼◀▶】ボタンで[HDD]、[FTP]を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

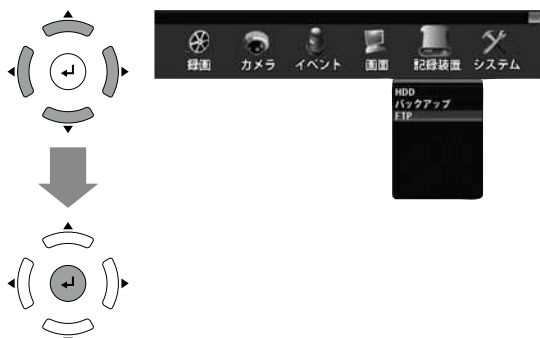
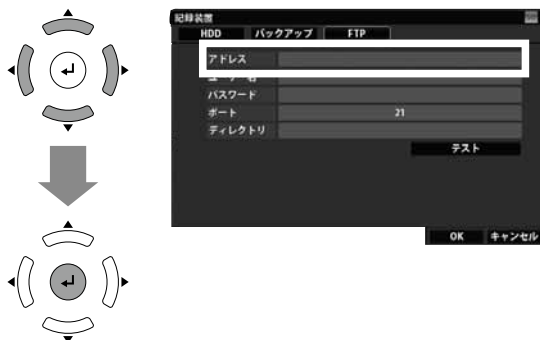
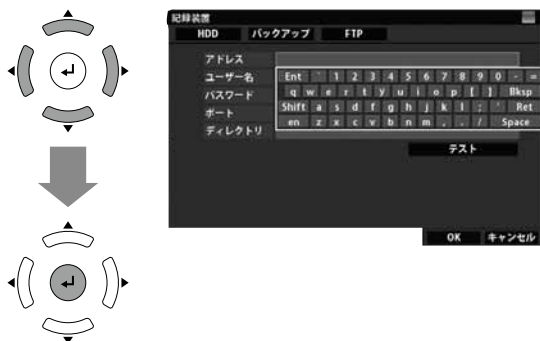
バックアップ画面で [OK]を選択し、【決定】ボタンを押す前に、[HDD]、[FTP]画面へ移動して設定の変更することができます。

■記録装置 -FTP

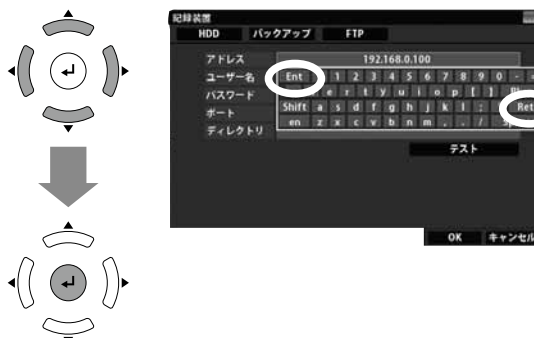
録画データをFTPサーバーにバックアップするための設定ができます。
㊟FTPサーバーは、本機と同じローカルエリアネットワーク内に接続されている必要があります。

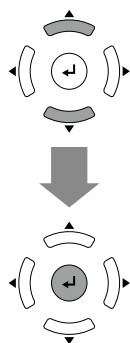
FTPサーバーを設定する

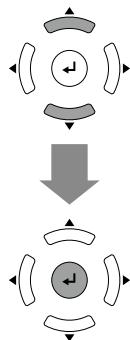
例 下記のFTPサーバーを設定する場合
- ●アドレス:192.168.0.100
- ●ユーザー名:SELEN
- ●パスワード:12345678
- ●ポート:21 ※FTPサーバーに設定されたポート番号
- ●ディレクトリ:disk1/selen

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［記録装置］へ移動し、【▲▼】ボタンで［FTP］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 FTP設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［アドレス］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 入力パレットが表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを移動させ入力する英数字を選択し、【決定】ボタンでアドレスを入力していきます。
※ここでは、[192.168.0.100]と入力します。

▼入力パレットについて

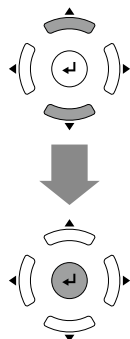
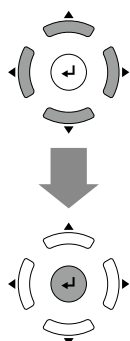
英数字・記号	それぞれ英数字・記号を入力します。
Ent	入力を確定してパレットを閉じます。
Ret	入力を確定してパレットを閉じます。
Shift	大文字/小文字と記号の表示を切り替えます。
Bksp	1文字消去します。
Space	スペースを入力します。
en	何も入力されません。

4 アドレスの入力が終了したら、【▲▼◀▶】でカーソルを［Ret］か［Ent］に移動させ、【決定】ボタンを押します。
または、【キャンセル】ボタンを押します。

5 *2*、*3*、*4* と同様に、［ユーザー名］、［パスワード］、［ポート］、［ディレクトリ］を入力します。

6 すべての入力が終了したら、【▲▼】ボタンで[テスト]へ移動し、【決定】ボタンを押します。

FTP サーバーへの接続確認が始まります。約2分かかります。

7 [成功]が表示されたら、【▲▼】ボタンで[OK]へ移動し、【決定】ボタンを押します。

※「成功」の場合、FTP サーバーに「test（DATファイル）」が作成されます。

[適用できませんでした]が表示され場合は、【▲▼】ボタンで[OK]へ移動し、【決定】ボタンを押してウィンドウを閉じた後に、入力内容を確認してください。入力内容を修正する場合は、*2*の操作からやり直します。

8 【▲▼】ボタンで[OK]を選択し、【決定】ボタンを押します。

【▲▼◀▶】ボタンで[HDD]、[バックアップ]を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

FTP 設定画面で[OK]を選択し、【決定】ボタンを押す前に、[HDD]、[バックアップ]画面へ移動して設定の変更することができます。[OK]は、「記録装置」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

■システム - ネットワーク

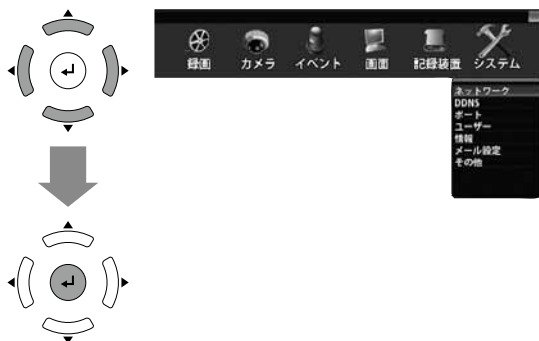
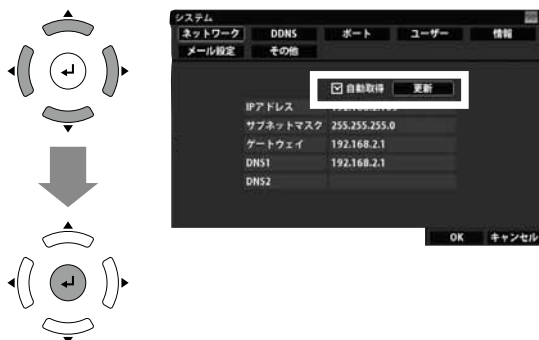
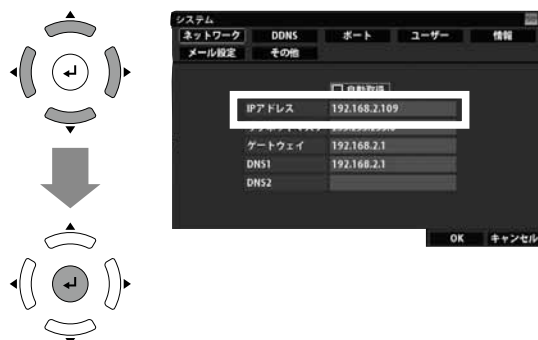
ネットワークに接続するための設定ができます。

項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
自動取得	☑	☑（自動取得）/ □（固定） IPアドレスを自動で取得して接続するか、固定の IPアドレスで接続するか設定できます。
IPアドレス	–	初期設定時は IPアドレスが自動取得になっているので、LAN に接続している数値を表示しています。
サブネットマスク		
ゲートウェイ		
DNS1		
DNS2		

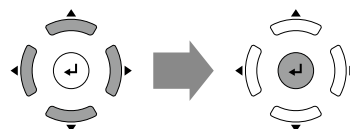
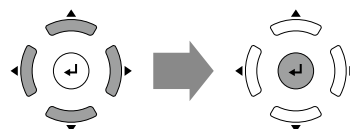
IPアドレスを設定する

例 ネットワークを下記の内容に設定する場合

- ●IPアドレス:192.168.2.180
- ●サブネットマスク:255.255.255.0
- ●ゲートウェイ:192.168.2.1
- ●DNS1:192.168.2.1
- ●DNS2 :(無し)

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［ネットワーク］へ移動し、【▲▼】ボタンで［ネットワーク］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 ネットワーク設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［自動取得］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 自動取得の［☑］が［□］になります。
【▲▼◀▶】ボタンで［IPアドレス］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

※IPアドレスは、ルーターのDHCP範囲外に設定されることをおすすめします。

IPアドレスを自動取得にする場合

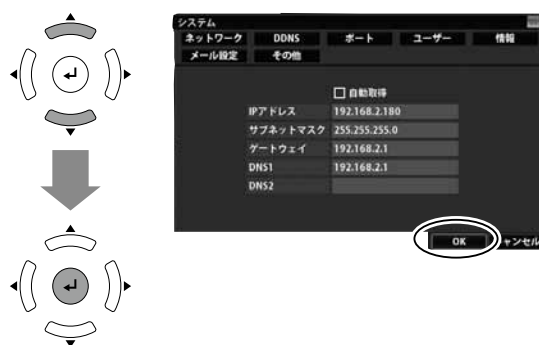
1 【▲▼◀▶】ボタンで［自動取得］項目を［☑］にします。

2 【▲▼◀▶】ボタンで［更新］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

4 入力パレットが表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを移動させ入力する英数字を選択し、【決定】ボタンでアドレスを入力していきます。
※ここでは、[192.168.2.180] と入力します。

▼入力パレットについて

英数字・記号	それぞれ英数字・記号を入力します。
Ent	入力を確定してパレットを閉じます。
Ret	入力を確定してパレットを閉じます。
Shift	大文字/小文字と記号の表示を切り替えます。
Bksp	1 文字消去します。
Space	スペースを入力します。
en	何も入力されません。

5 アドレスの入力が終了したら、【▲▼◀▶】でカーソルを [Ret] か [Ent] に移動させ、【決定】ボタンを押します。
または、【キャンセル】ボタンを押します。

6 [サブネットマスク]、[ゲートウェイ]、[DNS1]、[DNS2] についても変更の必要がある場合には、*4*、*5* の操作と同様に入力を行います。
※基本的に変更の必要はありません。

7【▲▼】ボタンで [OK] を選択し、【決定】ボタンを押します。

【▲▼◀▶】ボタンで [ネットワーク]～ [メール設定] を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

その他設定画面で [OK] を選択し、【決定】ボタンを押す前に、[ネットワーク]～ [メール設定] 画面へ移動して設定変更することができます。
[OK] は、「記録装置」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

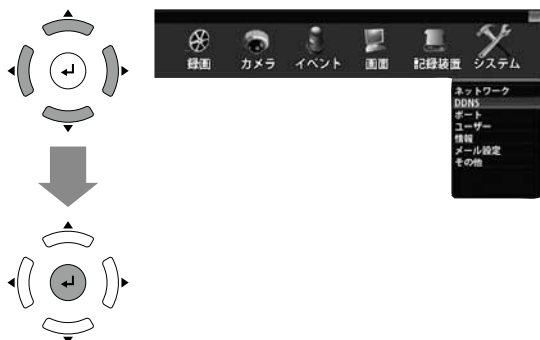
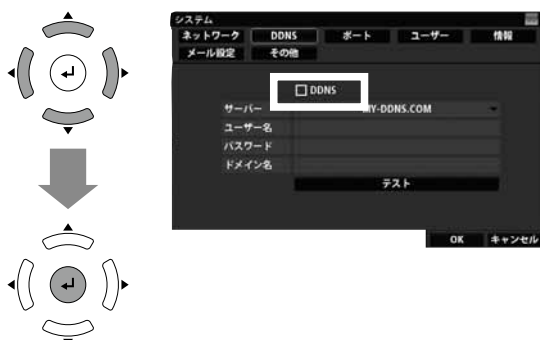
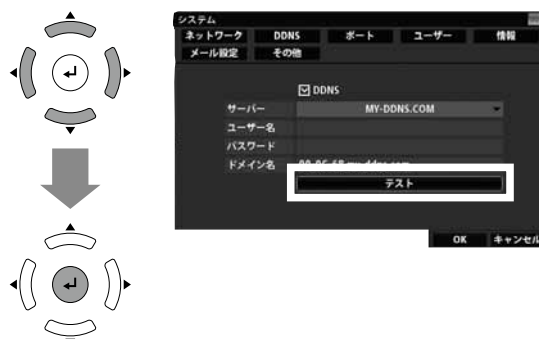
8 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

■システム -DDNS

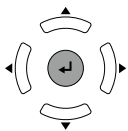
離れた場所からインターネット接続で、ライブ映像を見る時に設定します。
㊟本機がインターネットへ接続できる環境になっている必要があります。

項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
DDNS	□	☑（DDNS を使用する）/ □（DDNS を使用しない） DDNS を使用するか、しないかを設定できます。
サーバー	MY-DDNS.COM	MY-DDNS.COM / DYNDNS DDNS サーバーを 2つから選択できます。
ユーザー名	ー	DYNDNSサーバーを使用する場合は、DNYDNSサーバーに設定されている［ユーザー名］、［パスワード］、［ドメイン名］を入力します。 ※［ドメイン名］は、サーバーで［MY-DDNS.COM］を選択した場合、あらかじめ登録されたドメイン名が表示されます。
パスワード	ー	
ドメイン名	ー	

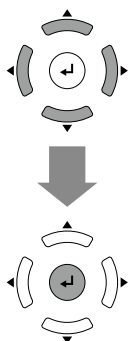
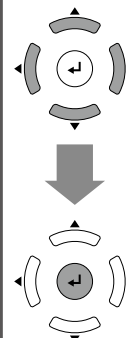
MY-DDNS.COMをドメインに設定する

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［システム］へ移動し、【▲▼】ボタンで［DDNS］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 DDNS設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［DDNS］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。
※【決定】ボタンを押すたびに［□］と［☑］が切り替わります。

3 DDNS項目の［□］が［☑］になり、「MY-DDNS.COM」の設定内容が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［テスト］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

4 「接続が成功しました」画面が表示されたら、［OK］が選択された状態で、【決定】ボタンを押します。
マウスの場合は、［☒］をクリックしても同様です。

接続に失敗した場合

「接続に失敗しました」画面が表示されたら、[OK]が選択された状態で、【決定】ボタンを押します。マウスの場合は、[☒]をクリックしても同様です。

DDNS設定画面に戻ります。
この場合、本機がインターネットに接続できる環境になっていない場合があります。
インターネットに接続できる環境であることを確認して、最初から設定をやり直してください。

5 DDNS設定画面に戻ります。
【▲▼◀▶】ボタンで［OK］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

【▲▼◀▶】ボタンで［ネットワーク］～［メール設定］を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

その他設定画面で［OK］を選択し、【決定】ボタンを押す前に、［ネットワーク］～［メール設定］画面へ移動して設定変更することができます。
［OK］は、「記録装置」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

6 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

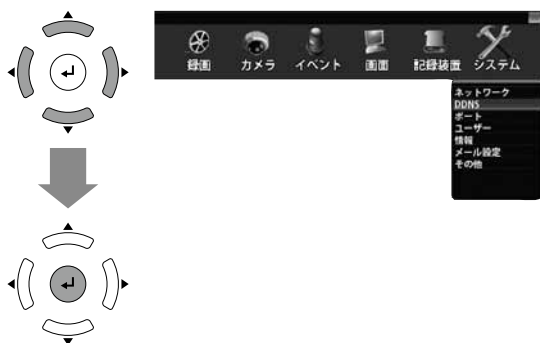
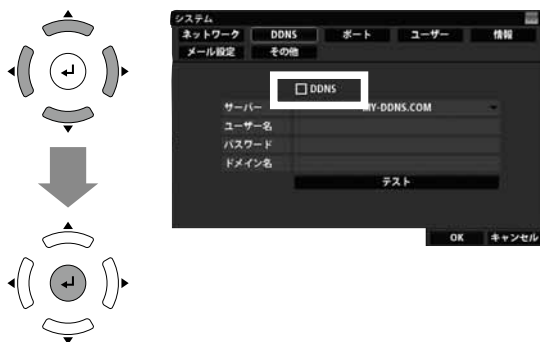
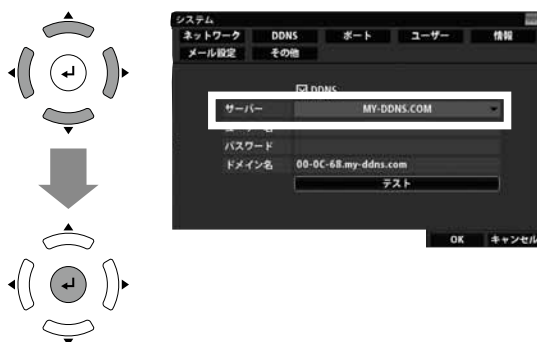
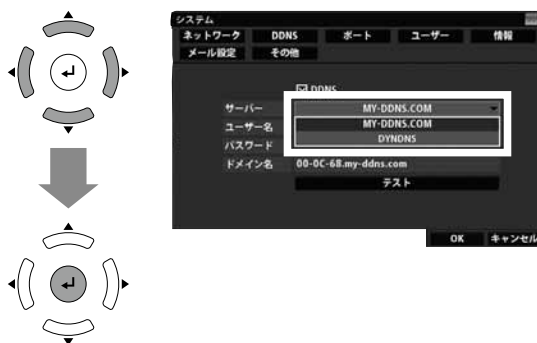
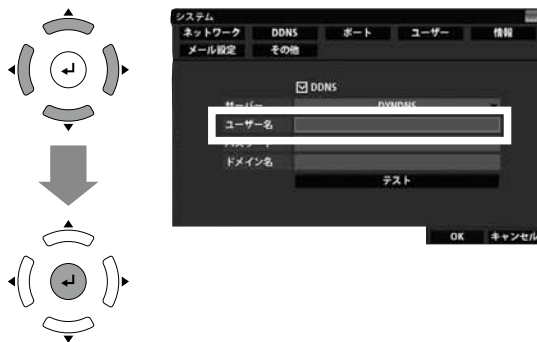
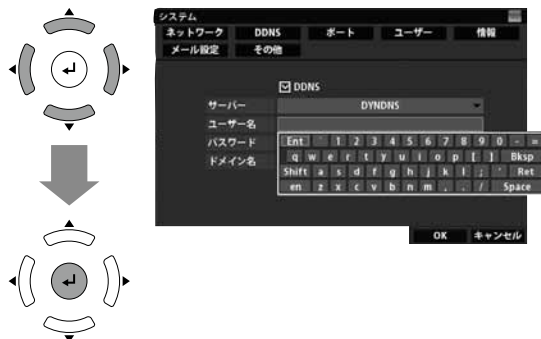
■システム -DDNS

DYNDNSをドメインに設定する

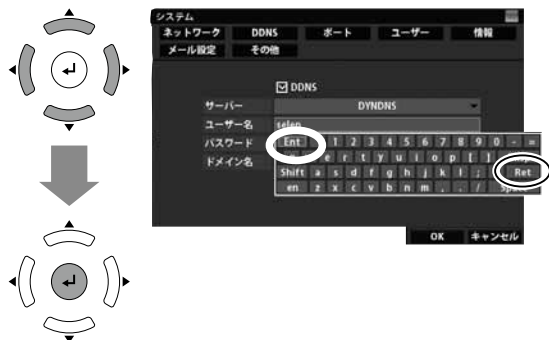
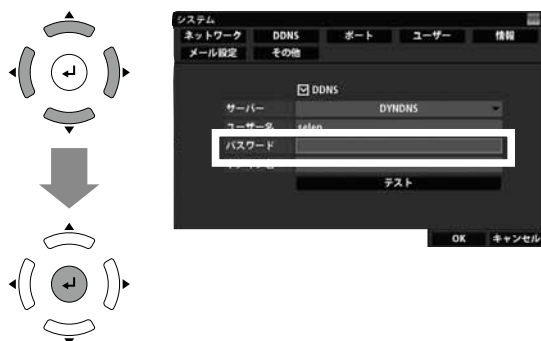
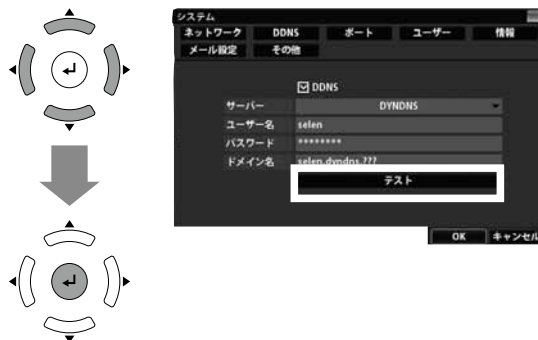
㊟本機は、DynDNSのDDNS機能に対応しています。
設定をする前に、下記のサイトで「ユーザー名・パスワード・ドメイン名」の登録を行ってください。

http://www.dyn.com/dns/

例 DYNDNSに登録した下記の内容に設定する場合
●ユーザー名:selen
●パスワード:12345678
●ドメイン名:selen.dyndns.???

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで[システム]へ移動し、【▲▼】ボタンで[DDNS]を選択して【決定】ボタンを押します。

2 DDNS設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで[DDNS]項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。
※【決定】ボタンを押すたびに[□]と[☑]が切り替わります。

3 DDNS項目の[□]が[☑]になり、「MY-DDNS.COM」の設定内容が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで[サーバー]項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

4 サーバーの選択項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで[DYNDNS]を選択し、【決定】ボタンを押します。

5 次に、【▲▼◀▶】ボタンで[ユーザー名]項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

6 入力パレットが表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを移動させ入力する英数字を選択し、【決定】ボタンで入力していきます。

▼入力パレットについて

英数字・記号	それぞれ英数字・記号を入力します。
Ent	入力を確定してパレットを閉じます。
Ret	入力を確定してパレットを閉じます。
Shift	大文字/小文字と記号の表示を切り替えます。
Bksp	1文字消去します。
Space	スペースを入力します。
en	何も入力されません。

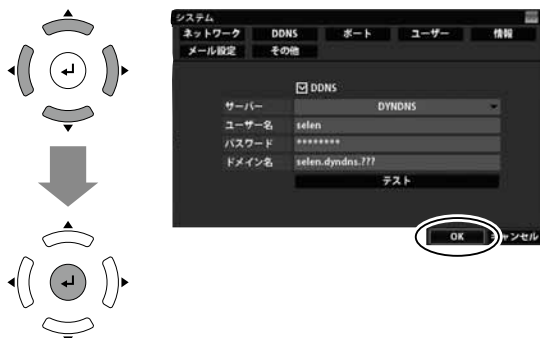
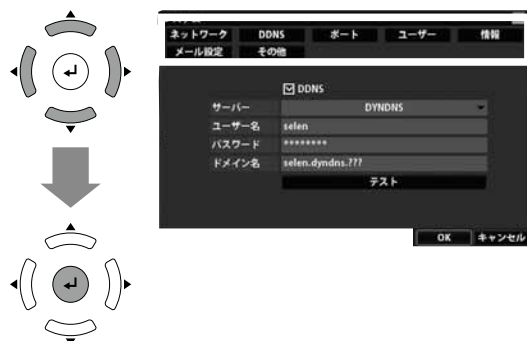
7 入力が終了したら、【▲▼◀▶】でカーソルを[Ent]か[Ret]に移動させ、【決定】ボタンを押します。または、【キャンセル】ボタンを押します。

8 次に、【▲▼◀▶】で[パスワード]項目に移動させ、【決定】ボタンを押します。

9 *6*、*7* の操作と同様に、パスワードを入力します。
続けて、[ドメイン名]も入力します。
すべての項目の入力が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで[テスト]へ移動し、【決定】ボタンを押します。

10 「接続が成功しました」画面が表示されたら、[OK]が選択された状態で、【決定】ボタンを押します。
マウスの場合は、[☒]をクリックしても同様です。

接続に失敗した場合

「接続に失敗しました」画面が表示されたら、[OK]が選択された状態で、【決定】ボタンを押します。マウスの場合は、[☒]をクリックしても同様です。

DDNS設定画面に戻ります。
「DYNDNS」サーバーに登録した内容を再度確認し、設定を最初からやり直してください。
または、本機がインターネットに接続できる環境になっていない場合があります。
インターネットに接続できる環境であることを確認して、最初から設定をやり直してください。

■システム -DDNS

11 DDNS設定画面に戻ります。
【▲▼◀▶】ボタンで［OK］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

【▲▼◀▶】ボタンで［ネットワーク］〜［メール設定］を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

その他設定画面で［OK］を選択し、【決定】ボタンを押す前に、［ネットワーク］〜［メール設定］画面へ移動して設定変更することができます。
［OK］は、「記録装置」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

12 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

ネットワーク
DDNS
ポート
ユーザー
情報
メール設定
その他

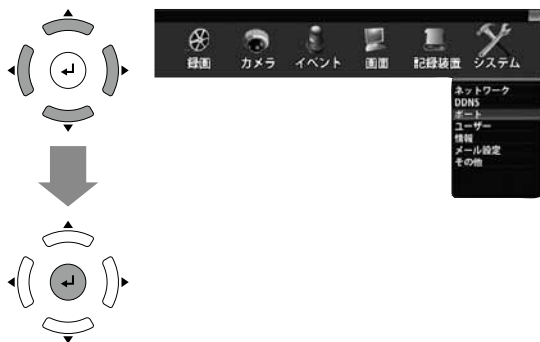
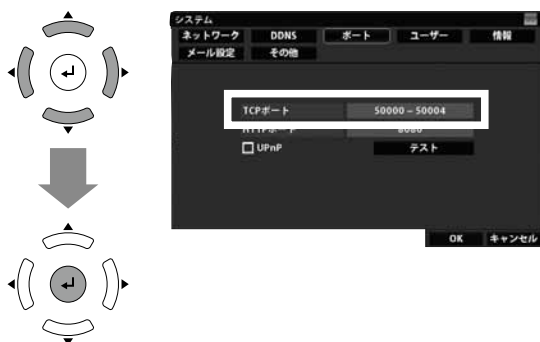
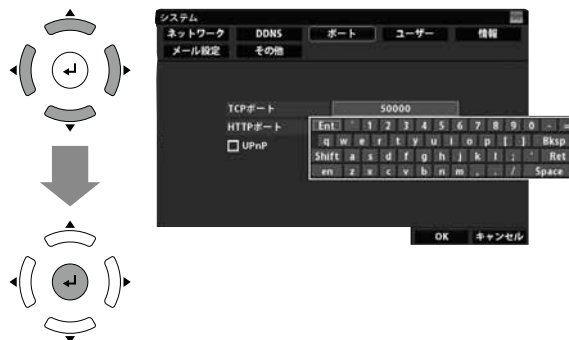
■システム - ポート

ネットワーク接続して映像の確認・操作をする時に必要なポートを設定します。
また、同じLAN内で複数のDVR を使用する場合は、異なるポートを設定する必要があります。

項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
TCPポート	50000 ～50004	TCPポートを設定します。
HTTPポート	8080	HTTPポートを設定します。
UPnP	□	☑（有効）/ □（無効） ポートを UPnP接続する場合、有効にします。

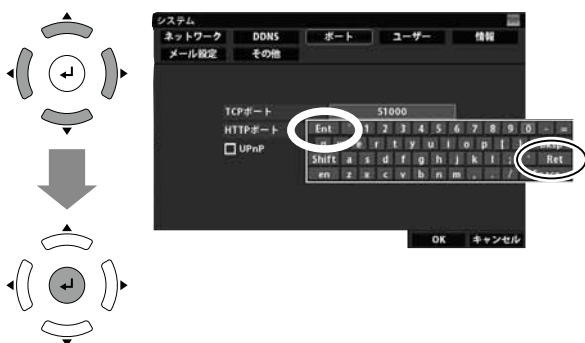
ポートを変更する

例 ポートを下記の内容に設定する場合
●TCPポート:51000～51004
●HTTPポート:45000

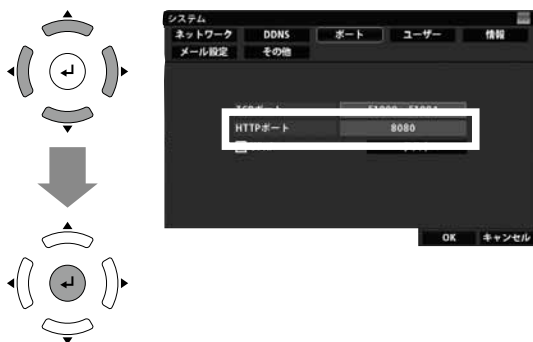
1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［システム］へ移動し、【▲▼】ボタンで［ポート］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 ユーザー設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［TCP ポート］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 入力パレットが表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを移動させ入力する英数字を選択し、【決定】ボタンで変更するTCPポートの数字を入力していきます。
※最初に、【▲▼◀▶】ボタンで［Bksp］を選択して、【決定】ボタンを押し続けて既存の数字を消去します。

▼入力パレットについて

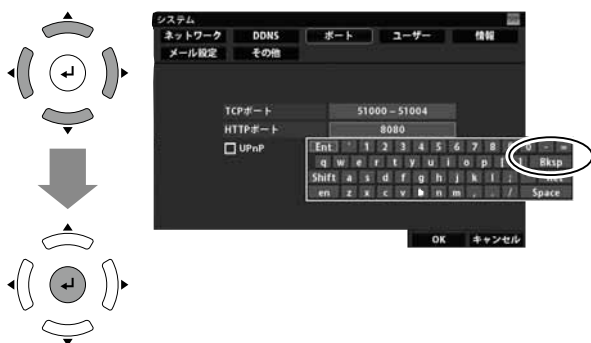
英数字・記号	それぞれ英数字・記号を入力します。
Ent	入力を確定してパレットを閉じます。
Ret	入力を確定してパレットを閉じます。
Shift	大文字/ 小文字と記号の表示を 切り替えます。
Bksp	1 文字消去します。
Space	スペースを入力します。
en	何も入力されません。

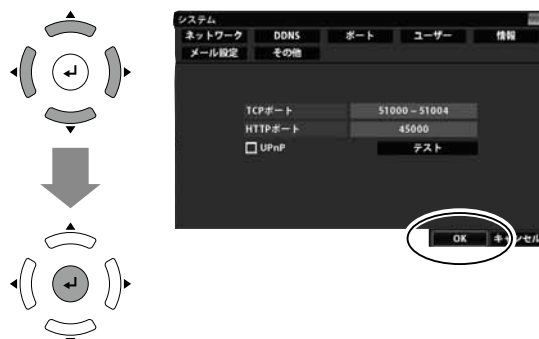
4

入力が終了したら、【▲▼◀▶】でカーソルを[Ent]か[Ret]に移動させ、【決定】ボタンを押します。
または、【キャンセル】ボタンを押します。

㊟TCPポートは、設定する数値の最小値を入力すると、連続した数値が自動的に決定します。
この数値にHTTPポートで設定されている数値が含まれている場合は、元の数値に戻ります。

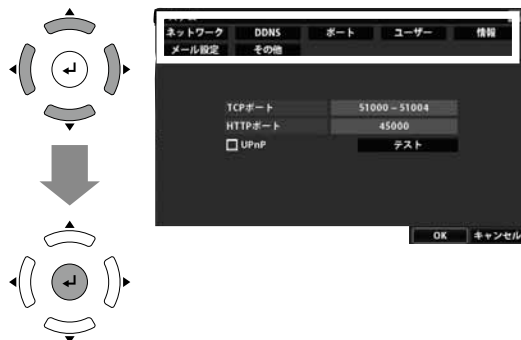
5

次に、【▲▼◀▶】ボタンで[HTTP ポート]項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

6

入力パレットが表示されます。
3、*4* と同様に変更するHTTPポートの数値を入力していきます。
※最初に、【▲▼◀▶】ボタンで[Bksp]を選択して、【決定】ボタンを押し続けて既存の数字を消去します。

7

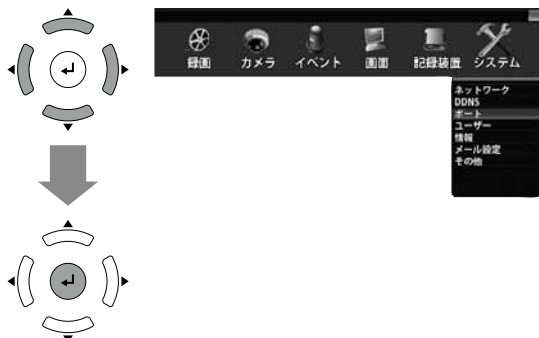
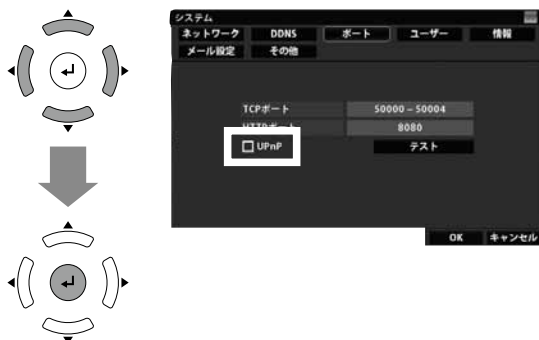
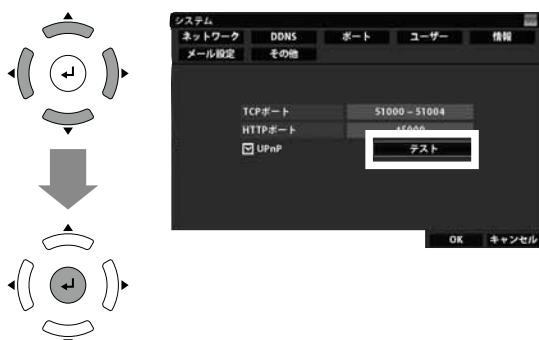
入力が終了したら、【▲▼◀▶】ボタンで[OK]へ移動し、【決定】ボタンを押します。

【▲▼◀▶】ボタンで[ネットワーク]～[メール設定]を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

その他設定画面で[OK]を選択し、【決定】ボタンを押す前に、[ネットワーク]～[メール設定]画面へ移動して設定変更することができます。
[OK]は、「システム」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

8

メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

■システム - ポート

UPnPを有効にする

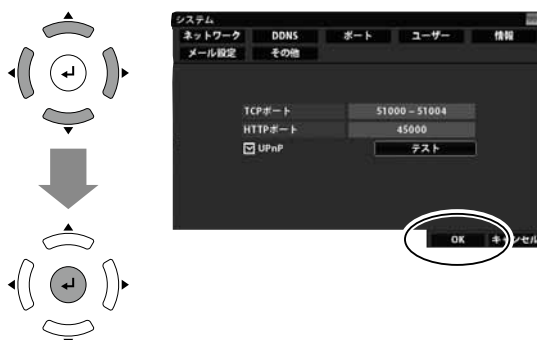
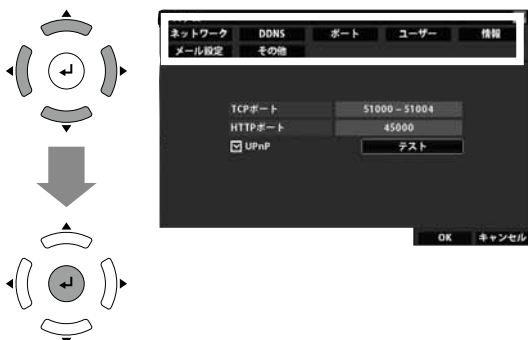
1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［システム］へ移動し、【▲▼】ボタンで［ポート］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 ユーザー設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［UPnP］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 表示が、［□］から［☑］に切り替わります。
※表示は【決定】ボタンを押す度に、［□］と［☑］が切り替わります。
次に、【▲▼◀▶】ボタンで［テスト］、へ移動し、【決定】ボタンを押します。

4 「接続が成功しました」画面が表示されたら、［OK］が選択された状態で、【決定】ボタンを押します。
マウスの場合は、［☒］をクリックしても同様です。

接続に失敗した場合

「接続に失敗しました」画面が表示されたら、［OK］が選択された状態で、【決定】ボタンを押します。マウスの場合は、［☒］をクリックしても同様です。

ポート設定画面に戻ります。

●ルーターがUPnPに対応しているか、UPnPが有効になっているかご確認ください。
●使用するポート番号が他の機器で使用されていないことをご確認ください。
●使用するポート番号がプロバイダで利用できることをご確認ください。

5 【▲▼◀▶】ボタンで［OK］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

【▲▼◀▶】ボタンで［ネットワーク］～［メール設定］を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

その他設定画面で［OK］を選択し、【決定】ボタンを押す前に、［ネットワーク］～［メール設定］画面へ移動して設定変更することができます。
［OK］は、「システム」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

■システム - ユーザー

DVR-S220の画面を例に説明しています。

ログインするID（ユーザー）の名前・権限を設定できます。

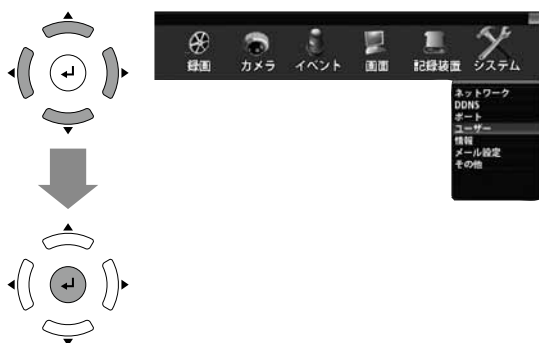
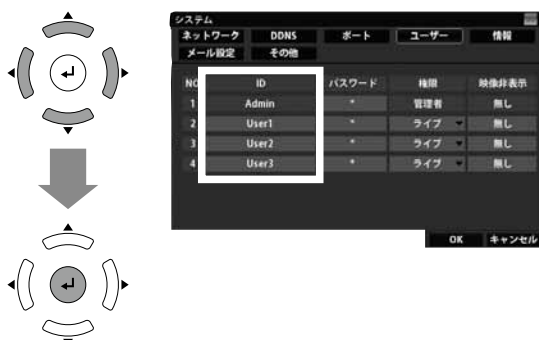
項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
ID	—	「Admin」以外のID（ユーザー名）は、変更できます。（12文字以内）
パスワード	1	ID（ユーザー）毎に8桁までの英数字で設定できます。
権限	ライブ*	ライブ / 再生 / メニュー ▼メニュー権限について ［ライブ］ライブ画面を確認することのみができます。 ［再生］ライブ画面の確認と、再生メニューを操作することができます。 ［メニュー］管理者メニュー表示と、Adminのパスワード変更以外、すべての操作・設定ができます。 ［管理者］常に「Admin」のみです。
映像非表示	無し	1・2・3・4・5・6・7・8 / 無し　※5〜8は、DVR-S320のみ ID（ユーザー）毎にライブ映像を表示させないカメラチャンネルを設定できます。

＊「Admin」以外すべて

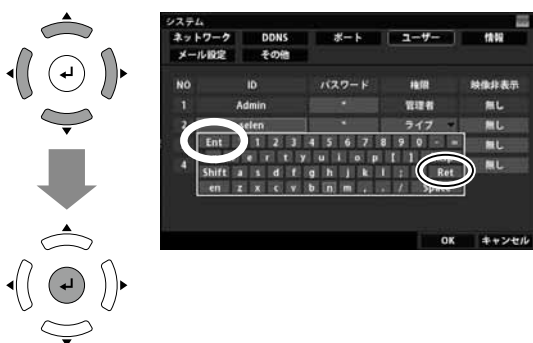
Userの名前、権限を変更する

例「User1」を下記の内容に設定する場合

●ID（ユーザー）:selen　●パスワード:12345678
●権限:メニュー　●映像非表示:CH4

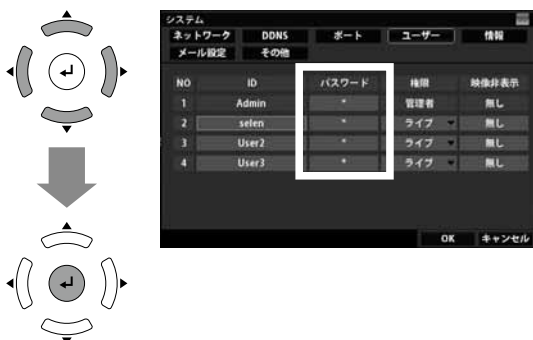
1 P.26を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［システム］へ移動し、【▲▼】ボタンで［ユーザー］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 ユーザー設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［ID］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 入力パレットが表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを移動させ入力する英数字を選択し、【決定】ボタンでID（ユーザー）を入力していきます。
※最初に、【▲▼◀▶】ボタンで［Bksp］を選択して、【決定】ボタンを押し続けて［User1］の名前を消去します。

▼入力パレットについて

英数字・記号	それぞれ英数字・記号を入力します。
Ent	入力を確定してパレットを閉じます。
Ret	入力を確定してパレットを閉じます。
Shift	大文字/小文字と記号の表示を切り替えます。
Bksp	1文字消去します。
Space	スペースを入力します。
en	何も入力されません。

4 ID（ユーザー）の入力が終了したら、【▲▼◀▶】でカーソルを［Ent］か［Ret］に移動させ、【決定】ボタンを押します。
または、【キャンセル】ボタンを押します。

5 次に、【▲▼◀▶】ボタンで［パスワード］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

6 入力パレットが表示されます。
3 と同様にパスワードを入力していきます。
※最初に、【▲▼◀▶】ボタンで［Bksp］を選択し、【決定】ボタンを押し続けて［User1］の名前を消去します。

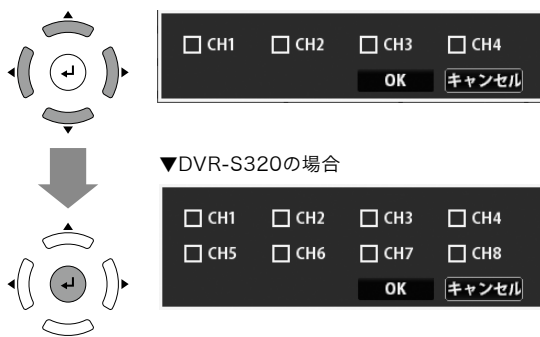
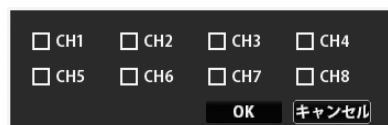
7 ID（ユーザー）の入力が終了したら、【▲▼◀▶】でカーソルを［Ent］か［Ret］に移動させ、【決定】ボタンを押します。
または、【キャンセル】ボタンを押します。

8 次に、【▲▼◀▶】ボタンで［権限］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

9 ［権限］の設定項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで［権限］の設定項目を選択して、【決定】ボタンを押します。

■システム - ユーザー

DVR-S220の画面を例に説明しています。

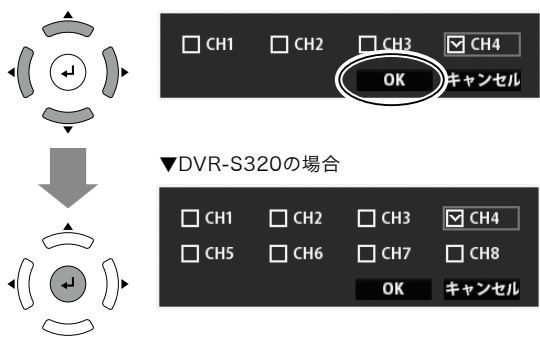
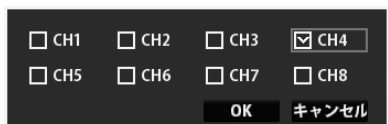
10 【▲▼◀▶】ボタンで［映像非表示］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

11 映像非表示設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで、映像を非表示にするカメラチャンネルへ移動し、【決定】ボタンを押します。
※表示は【決定】ボタンを押す度に、［□］と［☑］が切り替わります。
［☑］映像非表示
［□］映像表示

▼DVR-S320の場合

12 映像を非表示にするカメラチャンネルすべてを［☑］にしたら、【▲▼◀▶】ボタンで［OK］へ移動し、【決定】ボタンを押します。
※［キャンセル］を選択して【決定】ボタンを押すと、変更を行わずにユーザー設定画面へ戻ります。

▼DVR-S320の場合

13 映像非表示設定画面が閉じます。
【▲▼◀▶】ボタンで［OK］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

【▲▼◀▶】ボタンで［ネットワーク］～［メール設定］を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

その他設定画面で［OK］を選択し、【決定】ボタンを押す前に、［ネットワーク］～［メール設定］画面へ移動して設定変更することができます。
［OK］は、「システム」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

14 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

■システム - 情報

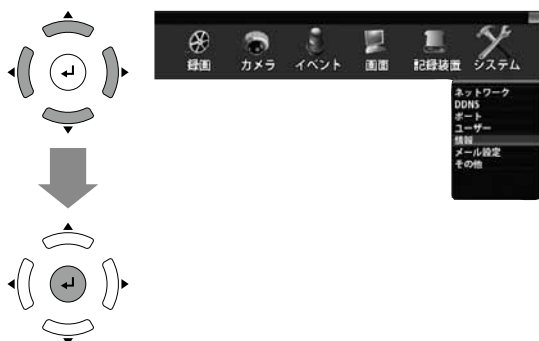
DVR-S220の画面を例に説明しています。

DVRを複数台使用するなどの場合に、区別のため［システム名］を変更することができます。
また、DVRを複数台使用する場合のリモコン操作のためにIDを割り当てることができます。
⇒P.136「リモコンのオン/ オフ切替について」参照

項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
システム名	DVR	16 桁の英数字・記号で任意のシステム名をつけることができます。
リモコンID	00	2 桁の数字で任意の IDを設定できます。

システム名・リモコンIDを変更する

例 システム名を［DVR-02］、リモコンID を［02］に設定する場合

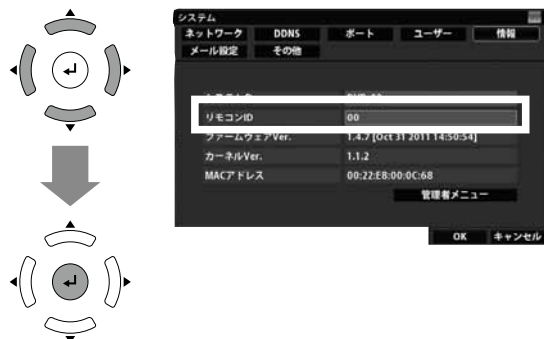
1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［システム］へ移動し、【▲▼】ボタンで［情報］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 情報設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［システム名］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

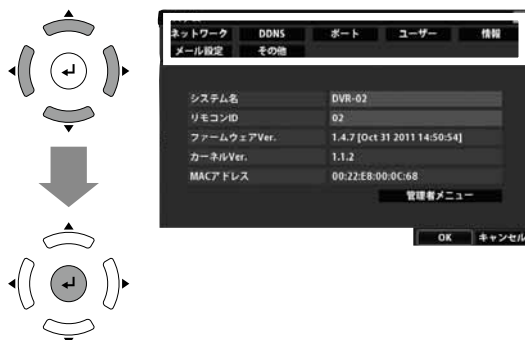
3 入力パレットが表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを移動させ入力する英数字を選択し、【決定】ボタンで入力していきます。

▼入力パレットについて

英数字・記号	それぞれ英数字・記号を入力します。
Ent	入力を確定してパレットを閉じます。
Ret	入力を確定してパレットを閉じます。
Shift	大文字/ 小文字と記号の表示を切り替えます。
Bksp	1 文字消去します。
Space	スペースを入力します。
en	何も入力されません。

4 入力が終了したら、【▲▼◀▶】でカーソルを［Ent］か［Ret］に移動させ、【決定】ボタンを押します。または、【キャンセル】ボタンを押します。

5 入力パレットが閉じます。
次に、【▲▼◀▶】ボタンで［リモコンID］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

6 入力パレットが表示されます。
3 と同様に、【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを移動させ入力する数字を選択して【決定】ボタンで入力します。
入力が終了したら、【▲▼◀▶】でカーソルを［Ent］か［Ret］に移動させ、【決定】ボタンを押します。または、【キャンセル】ボタンを押します。

7 入力パレットが閉じます。
【▲▼◀▶】ボタンで［OK］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

【▲▼◀▶】ボタンで［ネットワーク］～［メール設定］を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

その他設定画面で［OK］を選択し、【決定】ボタンを押す前に、［ネットワーク］～［メール設定］画面へ移動して設定変更することができます。
［OK］は、「システム」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

8 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

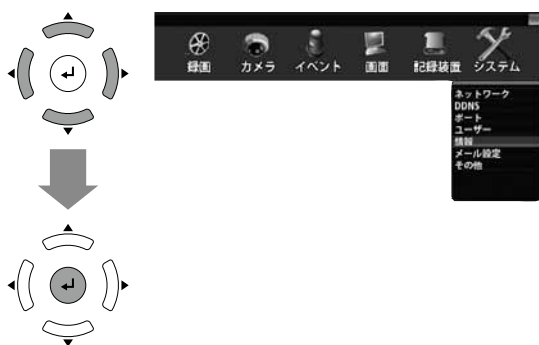
■システム - 管理者メニュー：初期化

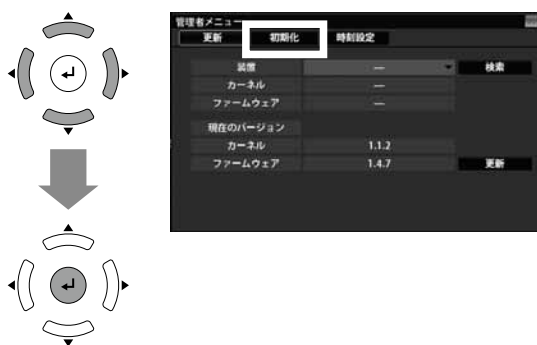
DVR-S220の画面を例に説明しています。

本機は、管理者メニューとして下記の機能があります。

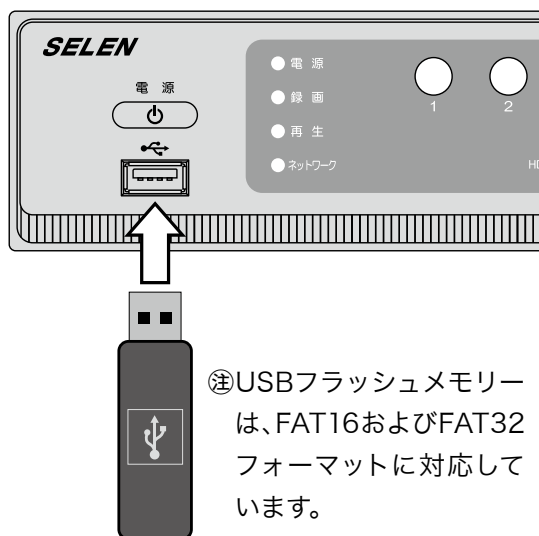
項 目	内容（設定範囲、切替内容）
設定ファイルの保存	DVRの設定内容を USBフラッシュメモリーに設定ファイルとしてバックアップしておくことができます。
設定ファイルの読込	USBフラッシュメモリーから、「設定内容の保存」で作成した設定ファイルを読み込んでDVRに反映させることができます。
設定初期化	設定内容を初期化します。
検知リスト・録画データ削除	録画保存されたデータと、検知録画のリストを削除します。
工場出荷値	すべての設定内容・録画保存されたデータを初期化し、工場出荷状態に戻します。

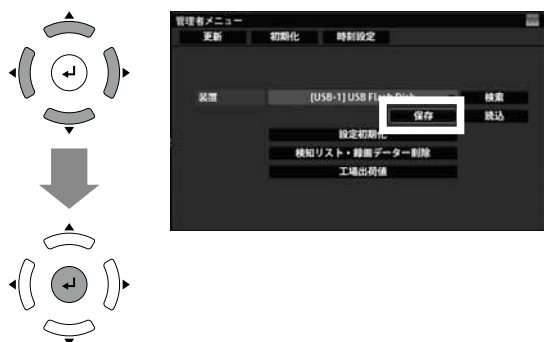
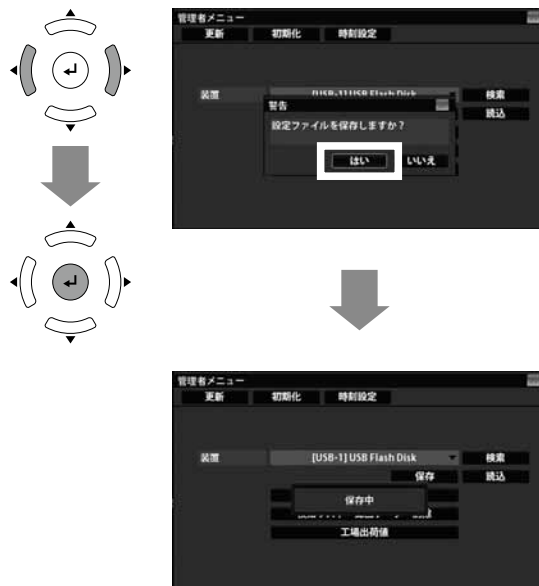
DVRの設定保存ファイルを作成する

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［システム］へ移動し、【▲▼】ボタンで［情報］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 情報設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［管理者メニュー］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 更新画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［初期化］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

4 初期化画面が表示されます。

5 USBフラッシュメモリーを本体のUSB端子に挿入します。

㊟USBフラッシュメモリーは、FAT16およびFAT32フォーマットに対応しています。

6 次に、【▲▼◀▶】ボタンで［検索］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

7 ［装置］項目にUSB フラッシュメモリーが表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［保存］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

8 「設定ファイルを保存しますか?」の確認画面が表示されます。
【◀▶】ボタンで［はい］へ移動し、【決定】ボタンを押すと、保存を開始します。
※［いいえ］を選択すると、確認画面を閉じます。

9 「保存完了」の確認画面が表示されたら【決定】ボタンを押します。

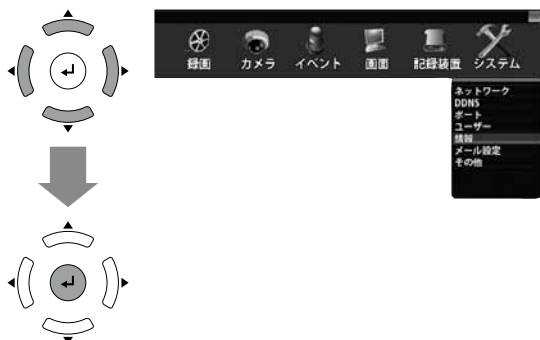
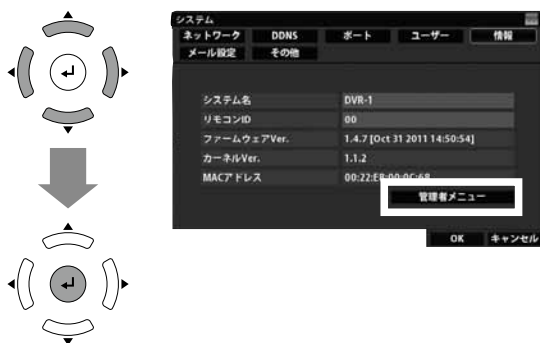
10 これで設定保存は終了です。
【キャンセル】ボタンを繰り返して押し、ライブ画面に戻ります。
マウスの場合は、［☒］をクリックしても同様です。
※USBフラッシュメモリーには、「config.dat」という名称の設定保存ファイルが作成されていることをご確認ください。

キャンセル

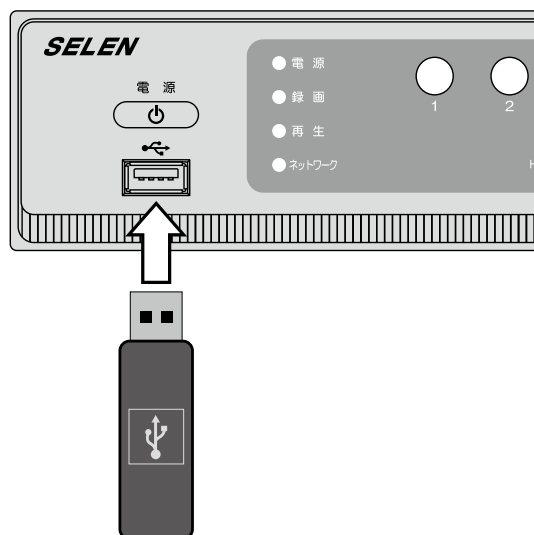
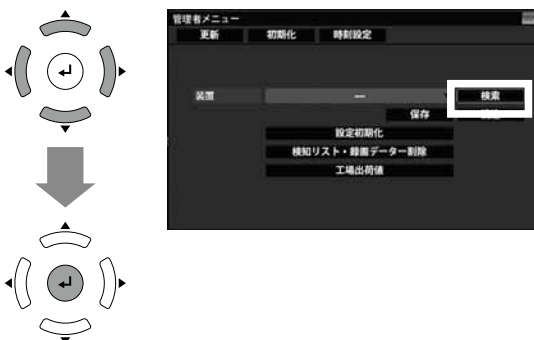
■システム - 管理者メニュー：初期化

DVR-S220の画面を例に説明しています。

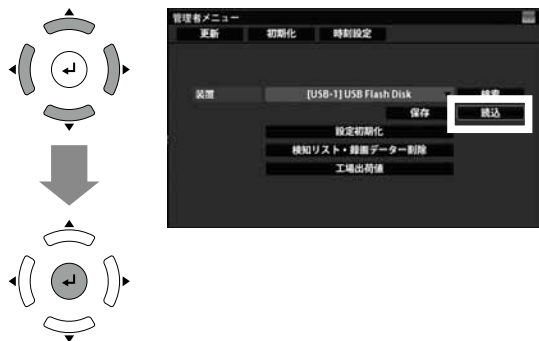
設定保存ファイルの設定内容をDVRに反映する

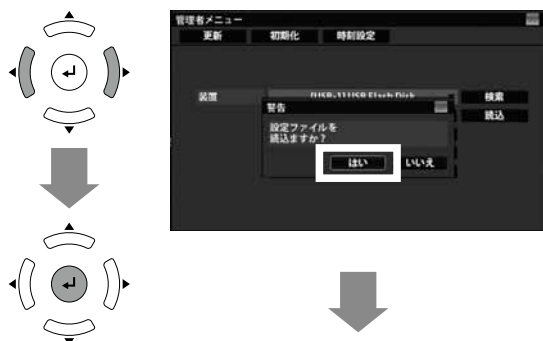
1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。【◀▶】ボタンで［システム］へ移動し、【▲▼】ボタンで［情報］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 情報設定画面が表示されます。【▲▼◀▶】ボタンで［管理者メニュー］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 更新画面が表示されます。【▲▼◀▶】ボタンで［初期化］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

4 初期化画面が表示されます。

5 設定保存ファイルが保存されているUSBフラッシュメモリーを本体のUSB端子に挿入します。

6 次に、【▲▼◀▶】ボタンで［検索］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

7 [装置]項目にUSB フラッシュメモリーが表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［読込］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

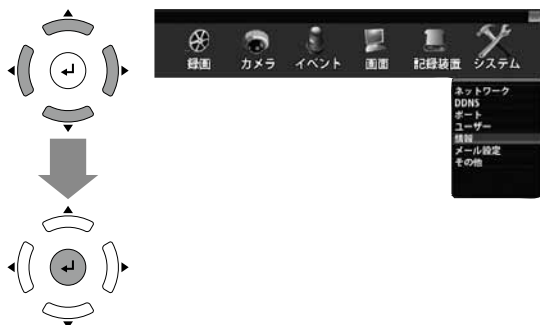
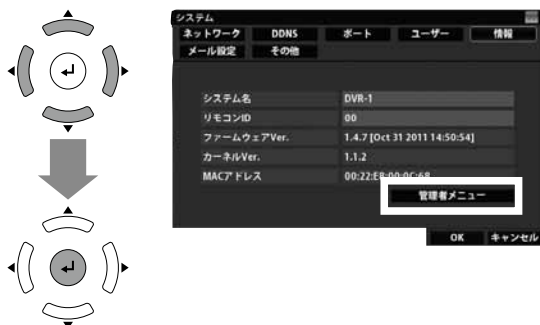
8 「設定ファイルを読込ますか?」の確認画面が表示されます。
【◀▶】ボタンで［はい］へ移動し、【決定】ボタンを押すと、保存を開始します。
※[いいえ]を選択すると、確認画面を閉じます。

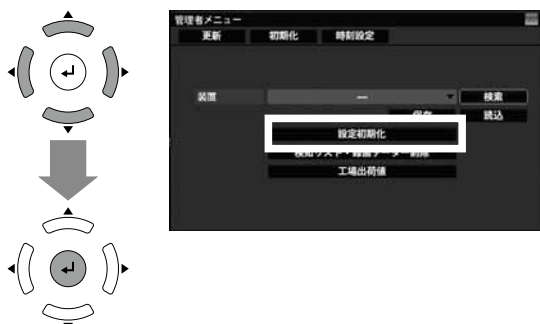
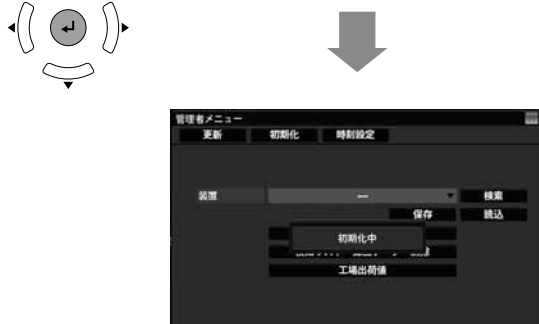
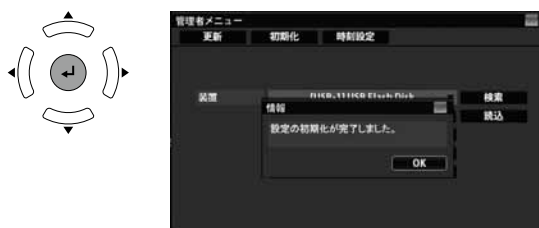
9 「保存完了」の確認画面が表示されたら【決定】ボタンを押します。

10 これで設定は終了です。
【キャンセル】ボタンを押すと、DVR が再起動してライブ画面に戻ります。
※USBフラッシュメモリーには、「config.dat」という名称の設定保存ファイルが作成されていることをご確認ください。

キャンセル

■システム - 管理者メニュー：初期化

DVR-S220の画面を例に説明しています。

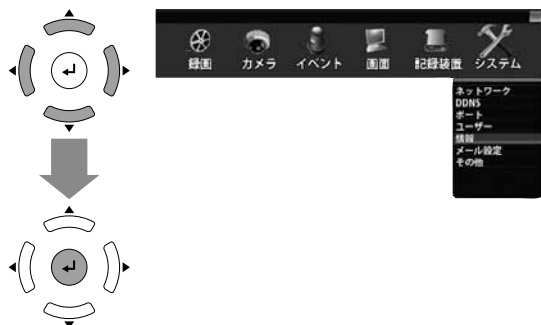
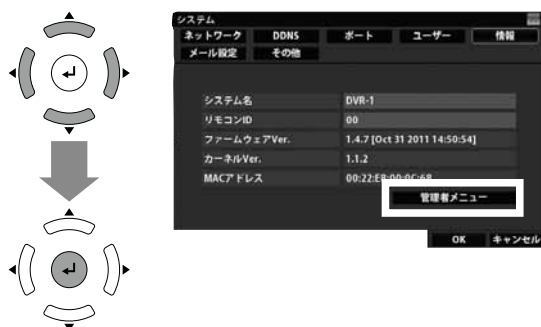
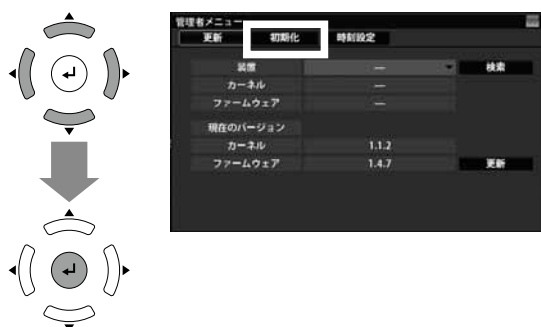
DVRの設定内容を初期化する

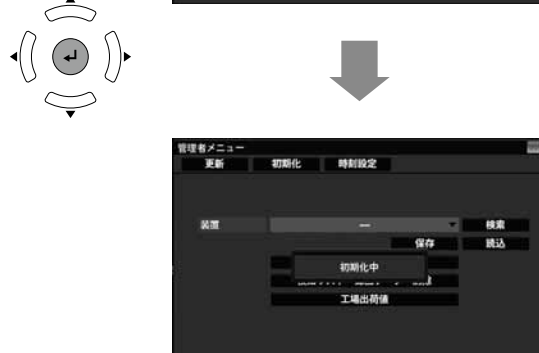
1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［システム］へ移動し、【▲▼】ボタンで［情報］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 情報設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［管理者メニュー］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 更新画面が表示されます。【▲▼◀▶】ボタンで［初期化］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

4 初期化画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［設定初期化］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

5 「設定を初期化しますか?」の確認画面が表示されます。
【◀▶】ボタンで［はい］へ移動し、【決定】ボタンを押すと、保存を開始します。
※［いいえ］を選択すると、確認画面を閉じます。

6 「設定の初期化が完了しました」の確認画面が表示されたら【決定】ボタンを押します。

7 これで設定内容の初期化は終了です。
【キャンセル】ボタンを押すと、DVR が再起動してライブ画面に戻ります。

キャンセル

録画保存されたデータ・リストを削除する

1 P.26を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで[システム]へ移動し、【▲▼】ボタンで[情報]を選択して【決定】ボタンを押します。

2 情報設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで[管理者メニュー]へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 更新画面が表示されます。【▲▼◀▶】ボタンで[初期化]へ移動し、【決定】ボタンを押します。

4 初期化画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで[検知リスト・録画データ削除]へ移動し、【決定】ボタンを押します。

5 「リスト・録画データを初期化しますか?」の確認画面が表示されます。
【◀▶】ボタンで[はい]へ移動し、【決定】ボタンを押すと、保存を開始します。
※[いいえ]を選択すると、確認画面を閉じます。

6 「リスト・録画データの初期化が完了しました」の確認画面が表示されたら【決定】ボタンを押します。

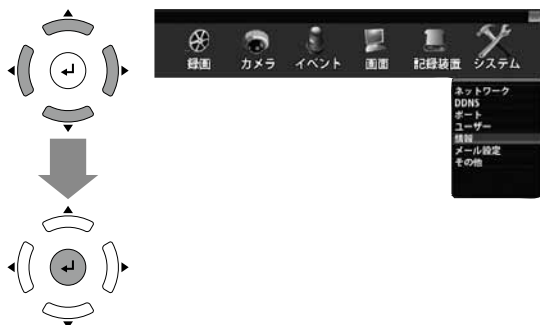
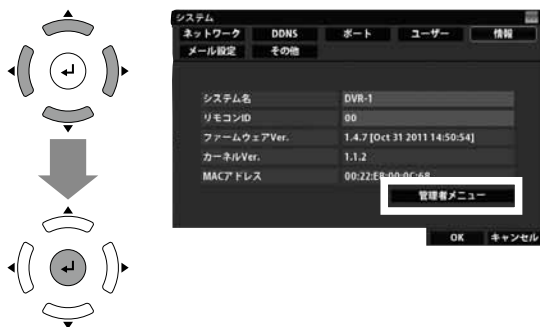
7 これで設定内容の初期化は終了です。
【キャンセル】ボタンを押すと、DVRが再起動してライブ画面に戻ります。

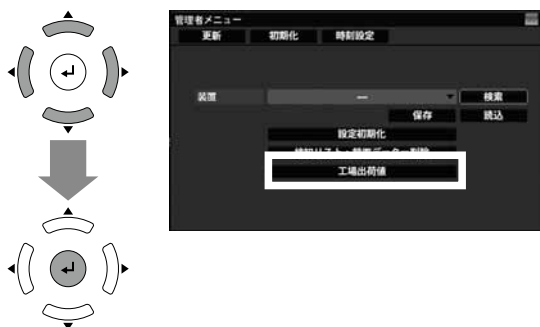
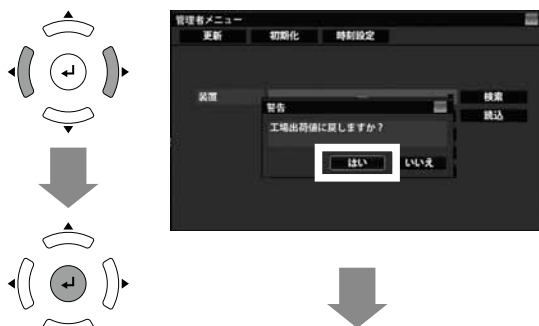
キャンセル

■システム - 管理者メニュー：初期化

DVR-S220の画面を例に説明しています。

DVRを工場出荷値に初期化する

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［システム］へ移動し、【▲▼】ボタンで［情報］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 情報設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［管理者メニュー］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 更新画面が表示されます。【▲▼◀▶】ボタンで［初期化］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

4 初期化画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［工場出荷値］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

5 「工場出荷値に戻しますか？」の確認画面が表示されます。
【◀▶】ボタンで［はい］へ移動し、【決定】ボタンを押すと、保存を開始します。
※［いいえ］を選択すると、確認画面を閉じます。

6 「工場出荷値にしました。」の確認画面が表示されたら、【決定】ボタンを押します。

7 これで設定内容の初期化は終了です。
【キャンセル】ボタンを押すと、DVR が再起動してライブ画面に戻ります。

■システム - 管理者メニュー：時刻設定

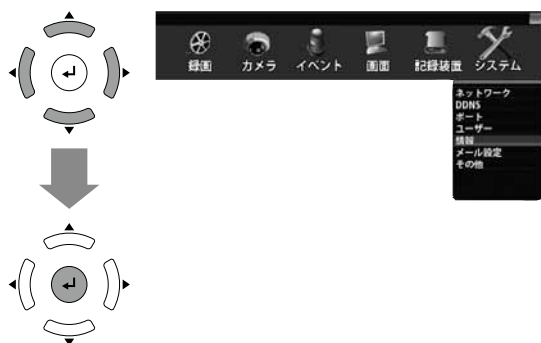
DVR-S220の画面を例に説明しています。

本機の表示時計を設定できます。

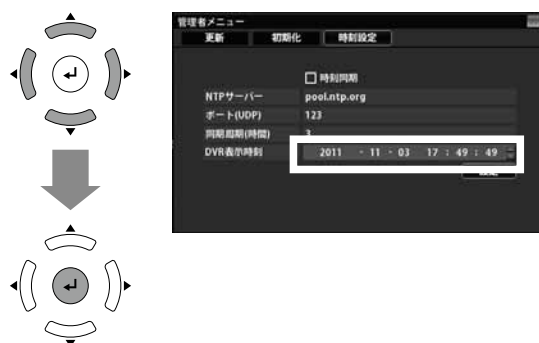
項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
時刻同期	□（しない）	☑（時刻同期する）/ □（時刻同期しない） NTP サーバー［pool.ntp.org］にインターネット接続*して、本機の時刻同期するかどうかを設定できます。
NTPサーバー	pool.ntp.org	3 時間おきに NTP サーバーにインターネット接続*して、本機の時間を合わせます。
ポート（UDP）	123	
同期周期（時間）	3	
DVR 表示時刻	ー	設定されている［西暦 - 月 - 日　時：分：秒］が表示されます。

＊本機がインターネット接続できる環境になっている必要があります。

手動で時間を合わせる

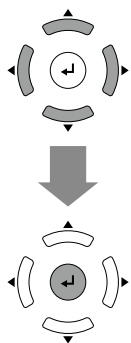
1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［システム］へ移動し、【▲▼】ボタンで［情報］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 情報設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［管理者メニュー］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 更新画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［時刻設定］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

4 時刻設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［DVR表示時刻］項目の［西暦］、［月］、［日］、［時］、［分］、［秒］の修正する部分を選択して【決定】ボタンを押します。

■システム - 管理者メニュー：時刻設定

DVR-S220の画面を例に説明しています。

5 窓の中が白色に切り替わります。
【▲▼】ボタンで数字を合わせます。
※【▲】ボタンで数字が大きく、【▼】ボタンで数字が小さくなります。【▲▼】ボタンを押し続けると、数字が連続で変わります。
※マウスの場合は、[▲]を選択してクリックすると数字が大きく、[▼]を選択してクリックすると数字が小さくなります。

6 時間を合わせたら、【▲▼◀▶】ボタンで［設定］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

7 [DVR表示時刻]が更新されます。
これで設定は終了です。
【キャンセル】ボタンを繰り返して押し、ライブ画面に戻ります。
マウスの場合は、[☒]をクリックしても同様です。

キャンセル

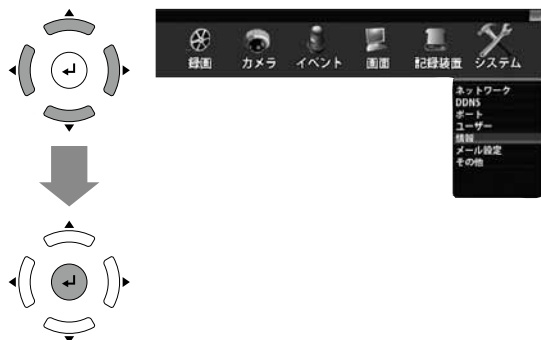
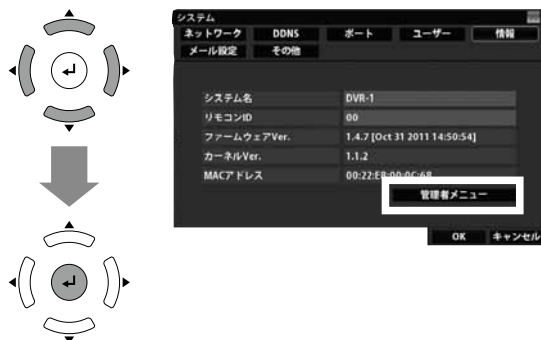
㊟手動設定の場合、4～5分/月の誤差が生じる場合があります。こまめに設定してください。

■システム - 管理者メニュー：時刻設定

DVR-S220の画面を例に説明しています。

NTPサーバーで時間を合わせる

例 時刻同期を［☑］に設定する場合

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［システム］へ移動し、【▲▼】ボタンで［情報］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 情報設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［管理者メニュー］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 更新画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［時刻設定］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

4 時刻設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［時刻同期］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。
※【決定】ボタンを押すたびに［□］と［☑］が切り替わります。

5 時刻同期に［☑］を入れ、【▲▼◀▶】ボタンで［設定］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

6 ［DVR表示時刻］が更新されます。
これで設定は終了です。
【キャンセル】ボタンを繰り返して押し、ライブ画面に戻ります。
マウスの場合は、［☒］をクリックしても同様です。

キャンセル

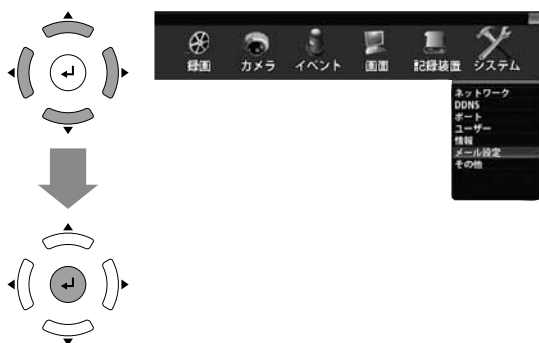
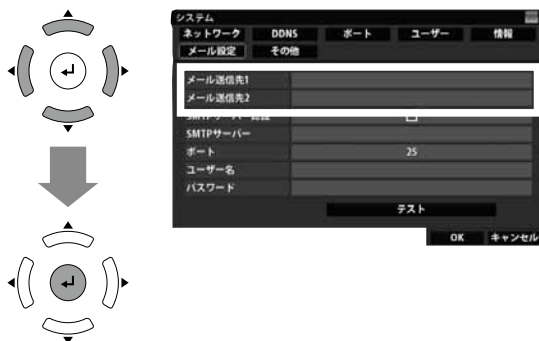
■システム - メール設定

項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
メール送信先1	ー	送信先のメールアドレスを入力します。
メール送信先2	ー	
SMTPサーバー認証	□（無し）	☑（認証有り）/ □（認証無し） 送信元に使用するメールサーバー（SMTPサーバー）にあわせます。
SMTPサーバー	ー	送信元に使用するメールアドレスの情報を入力します。
ポート	ー	
ユーザー名	ー	
パスワード	ー	

メールを設定する

例 下記内容のメール設定をする場合

●メール送信先：selen@selenguard.com
●SMTPサーバー認証：☑(有り)
●SMTPサーバー：smtp.selenguard.com
●ポート：587
●ユーザー名：selen
●パスワード：12345678

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［システム］へ移動し、【▲▼】ボタンで［メール設定］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 メール設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［メール送信先1］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 入力パレットが表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンでカーソルを移動させ入力する英数字を選択し、【決定】ボタンでメール送信先アドレスを入力していきます。

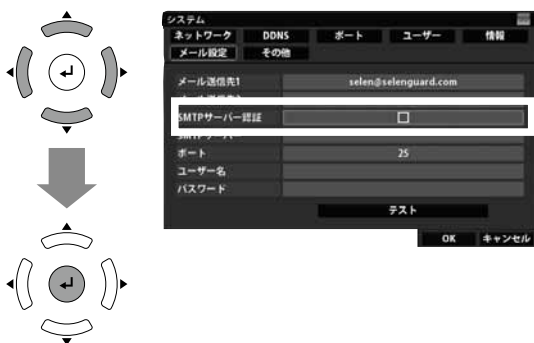
▼入力パレットについて

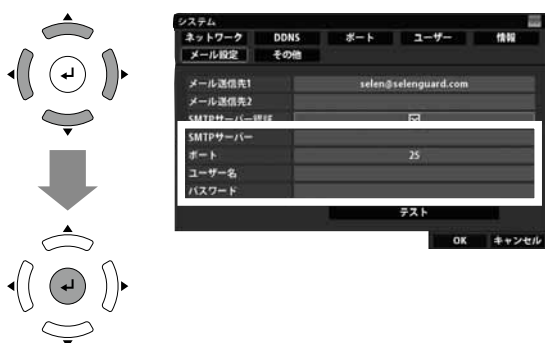
英数字・記号	それぞれ英数字・記号を入力します。
Ent	入力を確定してパレットを閉じます。
Ret	入力を確定してパレットを閉じます。
Shift	大文字/小文字と記号の表示を切り替えます。
Bksp	1 文字消去します。
Space	スペースを入力します。
en	何も入力されません。

4

メール送信先アドレスの入力が終了したら、【▲▼◀▶】でカーソルを［Ent］か［Ret］に移動させ、【決定】ボタンを押します。
または、【キャンセル】ボタンを押します。
※メール送信先アドレスを2つ設定する場合は、*2*、*3*、*4* の操作を繰り返して入力します。

5

次に、【▲▼◀▶】ボタンで［SMTP サーバー認証］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

6

表示が、［□］から［☑］に切り替わります。
※表示は【決定】ボタンを押す度に、［□］と［☑］が切り替わります。
続けて、順に【▲▼◀▶】ボタンで［SMTP サーバー］、［ポート］、［ユーザー名］、［パスワード］項目へ移動し、【決定】ボタンを押して*3*、*4* の操作を繰り返して入力します。

7

すべての項目を入力したら、【▲▼◀▶】ボタンで［テスト］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

8

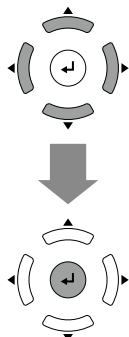
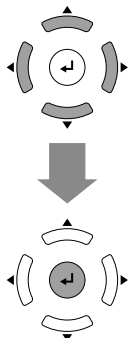
「メール送信成功」画面が表示されたら、［OK］が選択された状態で、【決定】ボタンを押します。マウスの場合は、［☒］をクリックしても同様です。

接続に失敗した場合

「接続に失敗しました」画面が表示されたら、［OK］が選択された状態で、【決定】ボタンを押します。マウスの場合は、［☒］をクリックしても同様です。

メール設定画面に戻ります。
入力内容を再度ご確認ください。
また、ユーザー名は、メールアドレスによって、メールアドレスすべてを入力する場合と、@ の左側を入力する場合があります。

■システム - メール設定

9 入力パレットが閉じます。
【▲▼◀▶】ボタンで［OK］へ移動し、【決定】ボタンを押します。

【▲▼◀▶】ボタンで［ネットワーク］～［メール設定］を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

その他設定画面で［OK］を選択し、【決定】ボタンを押す前に、［ネットワーク］～［メール設定］画面へ移動して設定変更することができます。
［OK］は、「システム」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

10 メニュー画面に戻ります。
P.27を参考に設定変更を反映させます。

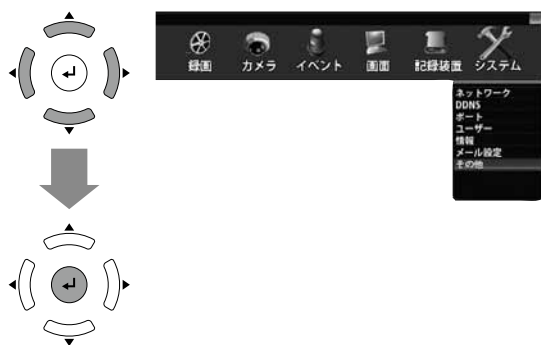
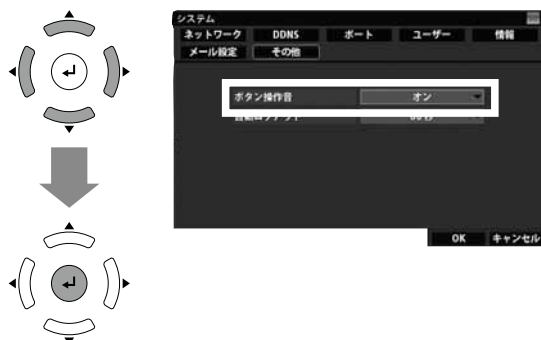
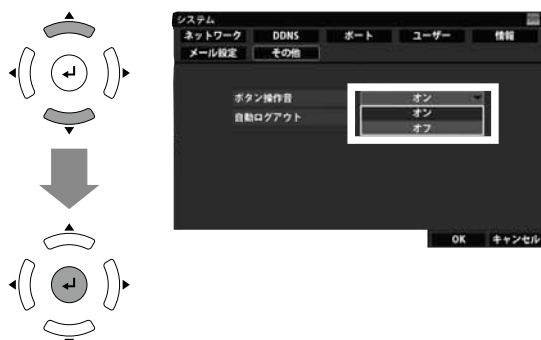
■システム - その他（ボタン操作音）

ボタン操作音の設定ができます。

項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
ボタン操作音	オン	オン（操作音を鳴らす）/ オフ（操作音を鳴らさない） ㊟ボタン操作音設定が［オフ］になっている場合は、警報ブザー音を途中で止めることができなくなります。

ボタン操作音を消す

例 ボタン操作音を［オフ］に設定する場合

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［システム］へ移動し、【▲▼】ボタンで［その他］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 その他設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［ボタン操作音］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 ［ボタン操作音］の設定項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで設定したい項目を選択して、【決定】ボタンを押します。
※続けて、［自動ログアウト］の設定変更も可能です。

4 【▲▼◀▶】ボタンで［OK］を選択して、【決定】ボタンを押します。
※［キャンセル］を選択して【決定】ボタンを押した場合は、設定項目の変更内容を確定せずにメニュー画面に戻ります。

【▲▼◀▶】ボタンで［ネットワーク］～［メール設定］を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

その他設定画面で［OK］を選択し、【決定】ボタンを押す前に、［ネットワーク］～［メール設定］画面へ移動して設定変更することができます。
［OK］は、「システム」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

5 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

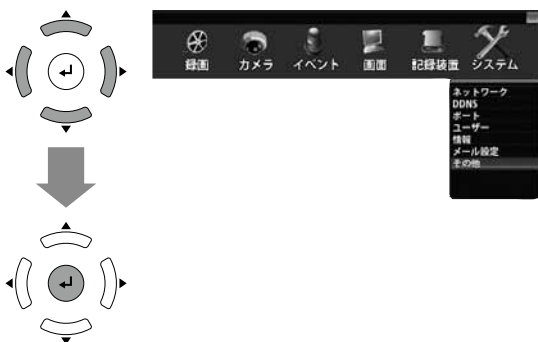
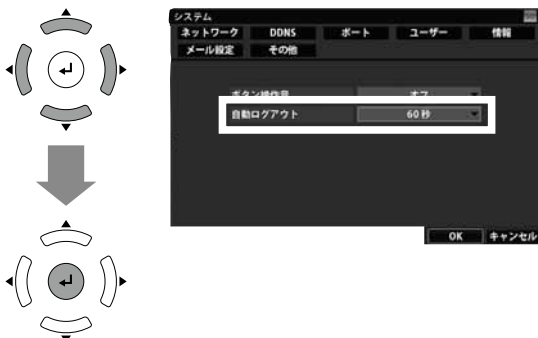
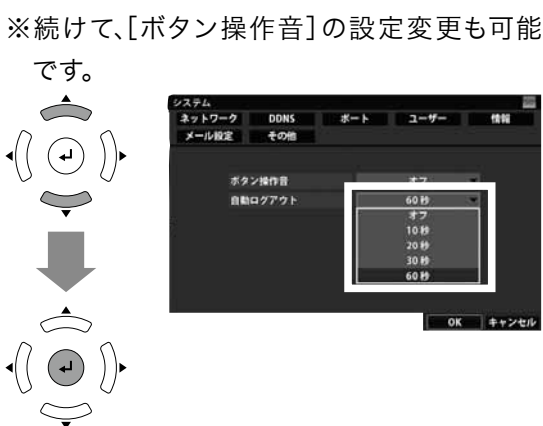
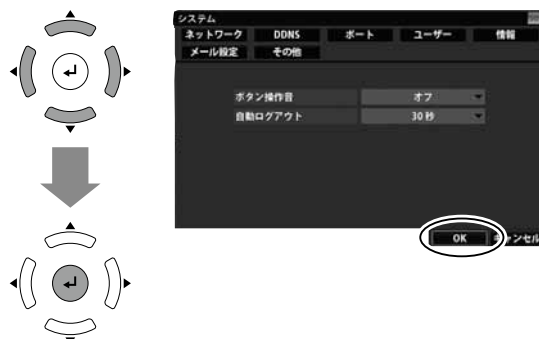
■システム - その他（自動ログアウト）

自動ログアウト設定ができます。　セキュリティ上、自動ログアウトを有効にしておくことをおすすめします。

項 目	初期設定値	内容（設定範囲、切替内容）
自動ログアウト	60 秒	オフ / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 60秒 一定時間操作しないと自動的にログアウトさせることができます。 また、［オフ］に設定すると自動でログアウトはしません。

自動ログアウト時間を変更する

例 自動ログアウトを［30秒］に設定する場合

1 P.26 を参考にメニュー画面を表示します。
【◀▶】ボタンで［システム］へ移動し、【▲▼】ボタンで［その他］を選択して【決定】ボタンを押します。

2 その他設定画面が表示されます。
【▲▼◀▶】ボタンで［自動ログアウト］項目へ移動し、【決定】ボタンを押します。

3 ［自動ログアウト］の設定項目が表示されます。
【▲▼】ボタンで設定したい項目を選択して、【決定】ボタンを押します。
※続けて、［ボタン操作音］の設定変更も可能です。

4 【▲▼◀▶】ボタンで［OK］を選択して、【決定】ボタンを押します。
※［キャンセル］を選択して【決定】ボタンを押した場合は、設定項目の変更内容を確定せずにメニュー画面に戻ります。

【▲▼◀▶】ボタンで［ネットワーク］～［メール設定］を選択して【決定】ボタンを押すと、それぞれの設定画面に移動します。

その他設定画面で［OK］を選択し、【決定】ボタンを押す前に、［ネットワーク］～［メール設定］画面へ移動して設定変更することができます。
［OK］は、「システム」項目全体の変更内容を確定させるボタンです。

5 メニュー画面に戻ります。
P.27 を参考に設定変更を反映させます。

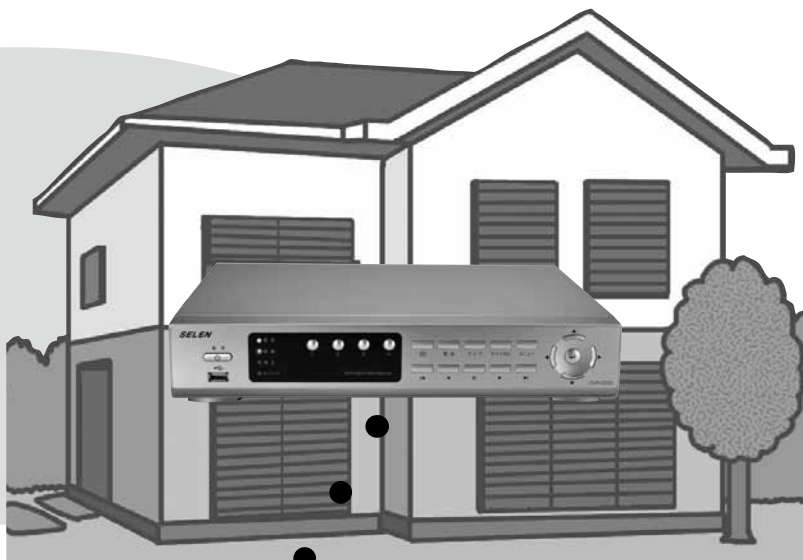
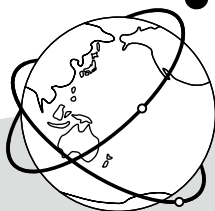
ネットワーク設定

ネットワークの構築にあたっては、別冊の「遠隔操作ガイド」をあわせてご覧ください。

ネットワークの概要

本製品は、離れた場所でもパソコン・スマートフォンなどから映像を確認することができます。
また、Eメールが受信できる携帯電話などへDVRの状況を連絡することができです。

1

同じLAN内あるパソコンから
DVRの映像を確認する。
⇒P.127参照

※無線ルーターご使用の場合は、
スマートフォン等のWiFi機能で
LAN接続することができます。

2

インターネット接続できる
パソコンからDVRの映像
を確認する。

3

インターネット接続で
きるスマートフォン等
からDVRの映像を確認
する。

4

Eメールが受信できる
携帯電話等へDVRの状
況を連絡させる。

⇒「遠隔操作ガイド」参照

パソコンの推奨環境
- ◆本　体：Windows
- ◆Ｏ　Ｓ：Windows XP、Windows Vista、Windows 7
- ◆ブラウザ：Internet Explorer 6.0（32ビット）
- ◆ＣＰＵ：Core 2 Duo 3.0GHz以上
- ◆メモリ：1024MB以上
- ◆ビデオメモリ：32MB以上
- ◆画面解像度：1024 × 768以上
- ◆ランタイム：DirectX9.0以上

LAN内のパソコンからDVRの映像を確認する

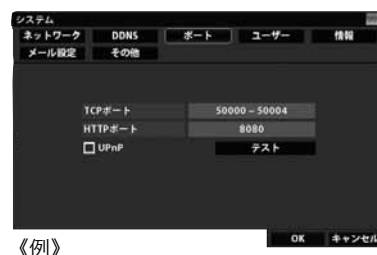
同一のLAN内にあるパソコン（Internet Explorer上のビュアー画面）でDVRのライブ映像の確認、パン・チルト操作、録画データの再生をすることができます。

Webビュアー画面の表示手順

DVR-S220の画面を例に説明しています。

1 DVRのIPアドレス・ポートの確認

P.92「システム- ネットワーク」を参考に、DVRの［IPアドレス］を、P.100「システム- ポート」を参考に［HTTP ポート］を確認します。

《例》

《例》

2 Webブラウザ（Internet Explorer）にアドレス入力

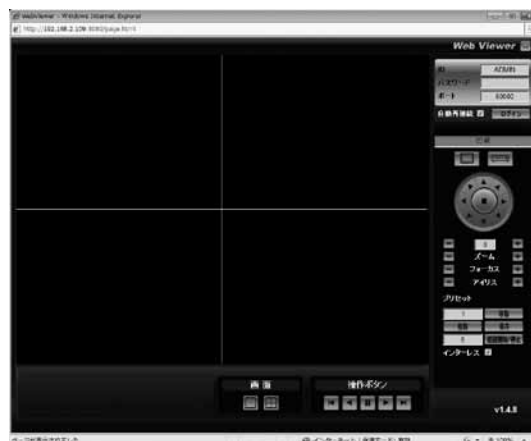
アドレスバーに ［http://］＋［DVR のIPアドレス］＋［:（コロン）］＋［HTTPポート番号］を入力します。

http:// DVR のIPアドレス：HTTPポート番号

3 「ActiveX」インストール

使用するパソコンで、初めてWeb ビュアーを開こうとする時、Internet Explorer 内で「ActiveX」のインストールを行う必要があります。
詳しくは、P.130「ActiveX のインストール方法」をご覧ください。

4 Webビュアー画面の表示

2回目以降のアクセス時も、「ウィンドウは、表示中のWebページにより閉じられようとしています。このウィンドウを閉じますか?」の確認画面が出ますが、どちらでも構いません。
Webビュアーは、別ウィンドウで表示されます。
権限のあるユーザーでログインすると、ライブ映像が表示されます。
ログイン・詳しい操作の方法は、別冊の「遠隔操作ガイド」をご覧ください。

インターネット接続の準備

本製品は、離れた場所でもインターネット接続できるパソコン・スマートフォンなどから映像を確認することができます。インターネットで映像を確認する場合は、あらかじめDVR・ルーター等の設定が必要です。

インターネット接続のためにしておくこと

1 DVRのローカルエリアネットワーク接続確認

ローカルエリアネットワーク内で映像を確認するができることを確認します。**⇒P.127参照**

2 DDNSドメイン設定

●「MY-DDNS.COM」を設定する場合

本製品は、あらかじめ「MY-DDNS.COM」のドメインが登録されています。

設定方法⇒P.94「MY-DDNS.COMをドメインに設定する」参照

●「DynDNS」を使ってドメインを取得して設定する場合

本製品は、「DynDNS」のDDNS 機能に対応しています。
「DynDNS」を使用する場合は、あらかじめ登録と設定が必要です。
※アドレスの更新が一定期間ない場合や、頻繁にアドレス更新している場合は、ドメインの削除や遮断される場合がありますのでご注意ください。

設定方法⇒P.96「DYNDNSをドメインに設定する」参照

●DDNS対応ルーターなどでドメインを取得して設定する場合

ルーターなどの取扱説明書を参照して取得してください。
※使用する機器は、DVR と同じローカルネットワーク内にあることが必要です。

3 ポート開放

インターネット経由でアクセスするには、ルーターのポートを開放する必要があります。
ポートの開放には、次の2 通りの方法があります。

UPnP機能でポートを開放する

ルーターがUPnP機能に対応している場合は、DVR側を設定するだけでルーターが自動的にポートを開放します。

手順

❶IPアドレスを自動取得に設定します。(初期設定値)

設定方法⇒P.92「IPアドレスを設定する」内参照

❷[UPnP]設定します。

設定方法⇒P.102「UPnPを有効に設定する」参照

※ルーター側にUＰnP機能があることをご確認ください。

※他の機器でＵＰnP機能を使用している場合、他の機器のポートがDVRに割り当てられてしまうことがあります。
ポート番号がLAN内の他の機器で使用されていないことをご確認ください。

ポートフォワーディングでポートを開放する

ルーターがUPnP 機能に対応していない場合は、DVR側とルーター側両方の設定が必要です。

手順

❶IPアドレスを固定に設定します。

設定方法⇒P.92「IP アドレスを設定する」参照

❷LAN内で他の機器と重複しないTCPポート番号、HTTPポートを設定します。

設定方法⇒P.100「ポートを変更する」参照

❸❶❷で設定したIPアドレスとTCPポート番号(5つ)、HTTPポート番号をルーター側でポートフォワーディング設定します。

ルーターなどの取扱説明書を参照してください。

※ルーターによってポートフォワーディング機能を、アドレス変換、静的IP マスカレード、バーチャルサーバー、仮想サーバー、またはポートマッピングと説明している場合があります。

以上で準備完了です。

詳しい接続方法・操作方法は、別冊の「遠隔操作ガイド」をご覧ください。

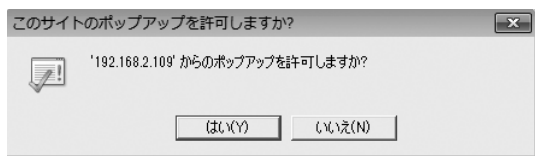
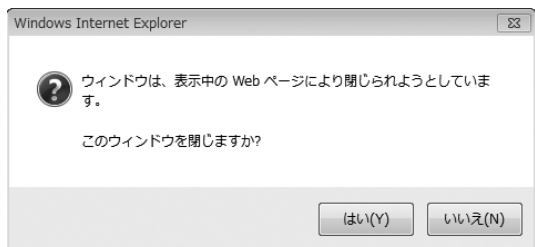
「ActiveX」のインストール方法

使用するパソコンで、初めてWebビュアーを開こうとする時、Internet Explorer 内で「ActiveX」のインストールを行う必要があります。

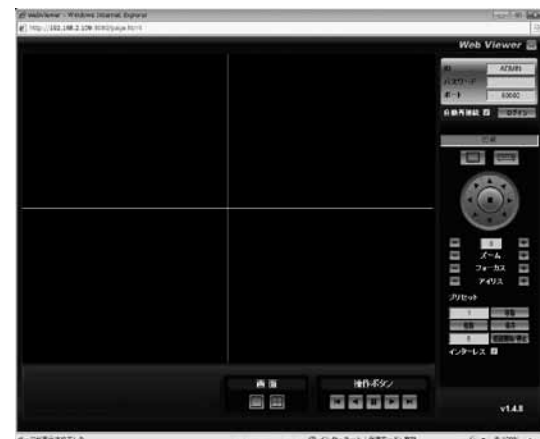
※ここでは、Windows7 を例に説明しています。

1 「ポップアップはブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを表示するにはここをクリックしてください... ポップアップブロックを解除してください」の表示がでたら、クリックします。

2 「このサイトのポップアップを常に許可（A)...」をクリックします。

3 「このサイトのポップアップを許可しますか?」で、[はい]をクリックします。

4 「ウィンドウは、表示中のWeb ページにより閉じられようとしています。このウィンドウを閉じますか?」で、[はい]をクリックします。

5 Webビュアーが表示されています。「このWebサイトは、……アドオンをインストールするには、ここをクリックしてください...」の表示がでたら、クリックします。

6 「このコンピューター上のすべてのユーザーにこのアドオンをインストールする（A)...」をクリックします。

7 Webビュアーが正常に表示されます。

メール送信機能を使う

DVRの状況をEメール送信してお知らせすることができます。

[メール送信内容]　メールは、次のような内容で送信されます。

項　目	件　名	本 文（例）	説　明
電源オン	[DVR] Power On	Event: Power On Time: 2011-11-15 10:56:18.830	●電源が入れられた時に時間をメール送信します。
HDD 異常	HDD is full.	Event: HDD full. Time: 2011-11-07 20:49:58.290	●ハードディスク容量がいっぱいになった時にメール送信します。 ※上書き設定になっていない場合のみ。
	[DVR] HDD Error	Event: HDD Error Time: 2011-11-11 07:23:39.550	●ハードディスクに何らかの異常があった時にメール送信します。
	S.M.A.R.T. Error	Event: S.M.A.R.T. Error Time: 2011-11-11 07:21:41.710	●ハードディスクのエラー情報に基づいてメール送信します。
ビデオロス	[DVR] Event mail	Event: Video Loss CH: 1 Time: 2011-11-03 10:45:56.180	●カメラチャンネルの信号が途絶えた時に、時間とカメラチャンネルをメール送信します。
動体検知	[DVR] Event mail	Event: Motion CH: 1 Time: 2011-11-03 10:41:34.120	●動体検知をした時に、時間とカメラチャンネルをメール送信します。
センサー	[DVR] Event mail	Event: Sensor CH: 1 Time: 2011-11-03 10:40:22.320	●センサー検知をした時に、時間とカメラチャンネルをメール送信します。
テスト	[DVR] Test mail	Event: Test mail Time: 2011-11-07 16:39:54.650	●メール設定でテストした時にメール送信します。

※ センサー、動体検知には対象となるカメラの番号が入ります。

メール送信設定手順

1 メール送信の設定

P.120「メールを設定する」を参照し、メール設定をします。

2「イベント- メールフィルター」の設定

P.68「メールを送るイベントを設定する」を参照し、どんな時にメールを送るのかを設定をします。
※1 のメール送信設定が完了していても、この［メールフィルター］設定で［☑］がない場合にはメール送信の機能は働きません。

その他

パン・チルトカメラ操作について

本機は、パン・チルトカメラをDVR側から操作することができます。
パン・チルトカメラを接続したカメラチャンネルのカメラ設定でパン・チルトカメラの設定をしてください。
（P.62「パン・チルトカメラの設定をする」参照）

パン・チルト操作画面の表示方法

操作画面は、パン・チルトカメラが接続・設定されたカメラチャンネルのライブ画面を単一画面にして、【決定】ボタンを押す、またはマウスで右クリックしてツールバーを表示させ、[PTZ] を選択して【決定】ボタンを押すと表示されます。

パン・チルトカメラの操作方法

表　示	名　称	主な操作内容
	移動ボタン	●カメラのレンズを動かして、それぞれの方向に画面を移動します。 ※中央の[■]は、機種により移動をストップします。
ズーム	ズーム	●ズーム機能の調整ボタンです。 [+]、[−] を選択して、画面を確認しながら【決定】ボタン、またはクリックして調整します。
フォーカス	フォーカス	●フォーカスの調整ボタンです。 [+]、[−] を選択して、画面を確認しながら【決定】ボタン、またはクリックして調整します。
アイリス	アイリス	●アイリスの調整ボタンです。 [+]、[−] を選択して、、画面を確認しながら【決定】ボタン、またはクリックして調整します。
速度 x1	速度	●カメラのレンズを動かして、画面が移動する時の速度を調整できます。 [▲]、[▼] を選択して、【決定】ボタン、またはクリックして調整します。
巡回 5秒 開始 削除 プリセット 1 移動 保存	巡回・ プリセット	（右頁を参照）
	閉じる	●選択して【決定】ボタンを押すと、パン / チルト操作画面を閉じます、

プリセットの設定・操作について

カメラが映し出している場所を設定（プリセット）しておくことができます。
プリセットは、128 カ所まで登録可能です。

▼プリセットを設定する

①移動ボタンで、設定したい場所を画面に表示します。
② [プリセット番号] を選択して【決定】ボタンを押す。またはクリックして窓を白くします。
[▲]、[▼]でプリセット番号をあわせます。
③ [保存] を選択して【決定】ボタンを押す。またはクリックしします。

▼プリセットを削除する

① [プリセット番号] を選択して【決定】ボタンを押す。またはクリックして窓を白くします。
[▲]、[▼]で削除するプリセット番号をあわせます。
② [削除] を選択して【決定】ボタンを押す。またはクリックします。

▼ライブ映像をプリセット位置へ移動させる

① [プリセット番号] を選択して【決定】ボタンを押す。またはクリックして窓を白くします。
[▲]、[▼]でプリセット番号をあわせます。
② [移動] を選択して【決定】ボタンを押す。またはクリックします。

巡回機能について

プリセット設定した場所を順番に監視する機能です。
巡回機能を使用するためには、あらかじめいくつかのプリセット設定をしておく必要があります。

▼巡回する

①移動を開始した時から、次のプリセット位置へ移動を開始するまで（移動＋静止）のおおよその時間を設定します。
[巡回] を選択して【決定】ボタンを押す。またはクリックして窓を白くします。
[▲]、[▼]で時間をあわせます。
※移動＋静止時間は、[1秒]⇔ [3秒]⇔ [5秒]⇔ [10秒]⇔ [20秒]⇔ [30秒] の順に切り替わります。
② [開始] を選択して【決定】ボタンを押す。またはクリックします。
巡回を開始します。[開始] は、[停止] の表示に変わります。㊟Web操作の時、表示は変更されません。
※ログアウト後も停止するまで巡回し続けます。

▼巡回を停止する

○停止する時は、[停止] を選択して【決定】ボタンを押す。またはクリックします。
※ログアウトしている場合は、ログインして、再度パン/ チルト操作画面を表示させてください。

WEBビュアーで操作する場合について

◆ [プリセット番号]、[静止時間] は、数字で入力します。
◆プリセットは、128 カ所まで登録可能です。
◆移動＋静止時間については、数字で入力した秒数（約）になります。
※WEBビュアーでの操作は、パソコン性能・ネットワーク状況等により正しく操作できない場合があります。

リモコンのオン/ オフ切替について

本製品は、1つのリモコンで複数のＤＶＲが操作できるように設計されています。
DVR は、DVR側の設定と同じIDをリモコンで設定するとリモコン操作が可能になります。
また、DVR側の設定と異なるIDをリモコンで設定するとリモコン　操作できなくなります。
ただし、DVR側に [00]（初期設定値）が設定されている場合は、リモコンでの設定に関係なくリモコン操作をすることができます。

リモコン操作の組み合わせ例

	DVR側の[リモコンID]設定 ⇒P.108「リモコンIDを変更する」参照		リモコン IDの入力	リモコン操作
例①	DVR［A］	00	設定しても・ 設定しなくても ※DVR側の設定が[00]の場合は、リモコン設定に関係なく操作可能になります。	操作できる ※2台同時に操作可能
	DVR［B］	00		
例②	DVR［A］	00	［01］で設定	操作できる ※2台同時に操作可能
	DVR［B］	01	［01］で設定	
例③	DVR［A］	01	［01］で設定	操作できる
	DVR［B］	02	［02］以外で設定	操作できない
例④	DVR［A］	01	［01］で設定	操作できる
	DVR［B］	02	［02］で設定	操作できる
例⑤	DVR［A］	01	［01］以外で設定	操作できない

リモコンでの ID設定方法

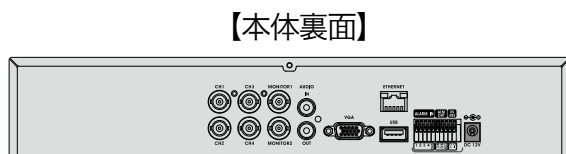
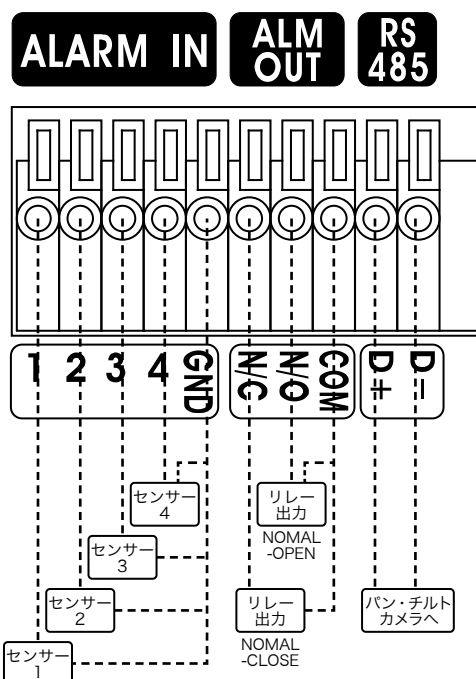
1 ライブ画面の時に、リモコンをDVR 本体に向けて【ID】ボタンを押します。

2 リモコンID設定画面が表示されます。

DVRリモコンID:08
リモコンID:

3 リモコン操作をできるようにする場合は、表示されている [DVRリモコンID] と同じ数字を、リモコン操作できないようにする場合は、[DVRリモコンID] と異なる数字を入力して【OK】ボタンを押します。

※リモコン操作ができないように設定した場合も、【ID】ボタンだけは常に操作できます。

背面の端子について

【本体裏面】

■外部センサーを使用し録画を開始したいとき

◇外部センサーを使用し録画を開始したいときは、「ALARM IN」を使用します。

◇外部センサーはCH番号に連動して4個まで接続できます。右の図を参考に入力端子1～4およびGNDにセンサーを接続してください。

◇接続したセンサーのタイプ（NORMAL-CLOSE【N/C】タイプまたはNORMAL-OPEN【N/O】タイプ）にあわせて、[センサー]を設定してください。
⇒P.64「センサーの設定を変更する」参照

◇外部センサーでの録画は、[センサー]のほかに[録画スケジュール]で、イベント録画[E]、またはセンサー録画[S]にする必要があります。
※検知録画の場合、検知前約5秒、検知後約10秒が録画されます。また、検知がはたらいている間は録画を継続します。

⚠注意

センサーは、無電圧のものを接続してください。
無電圧のセンサー以外では、本機が破損する場合があります。

■リレー端子（ALM OUT）を使うとき

◇本製品は、接続したセンサーが検知した場合や動体検知が検知した場合、およびビデオロスが発生した場合にリレーがはたらきます。

◇リレー端子は、「NOMAL-OPEN」および「NOMAL-CLOSE」タイプです。

◇上の図を参考に接続してください。

◇リレー出力は、[リレー出力]設定する必要があります。**⇒P.66「リレー出力の設定を変更する」**

※リレー出力の時間は[リレー出力]設定で変更できます。

⚠注意

リレー端子への接続は、DC5V／1.0A以下の外部機器をお使いください。
DC5V／1.0Aより上の機器を接続すると、本機が破損する場合があります。

■パン・チルトカメラを使うとき

◇カメラと「RS485」端子を信号線で接続します。
※カメラ側の接続方法は、カメラの取扱説明書をご確認ください。

◇パン・チルトカメラを使用する時は、設定が必要です。**⇒P.62「パン・チルトカメラの設定をする」**

仕 様

項　　目	仕　　様	
型　　式	DVR-S220	DVR-S320
電　　源	専用 AC アダプター　入力：AC100V 50/60Hz　出力：DC12V	
消 費 電 力	約 18W ※カメラ 4 台接続で録画状態の安定時	約 23W ※カメラ 4 台接続で録画状態の安定時
使用温度範囲	約＋ 5 ～約＋ 40℃	
使用湿度範囲	約 80％以下	
外 形 寸 法	約 W340 × H67 × D260 mm　※突起物含まず	
質　　量	約 2.2kg（AC アダプター含まず）	約 3.1kg（AC アダプター含まず）
映 像 入 力	1.0Vp-p　75 Ω（BNC）　4 系統	1.0Vp-p　75 Ω（BNC）　8 系統
映 像 出 力	モニター出力（BNC）　2 系統	
	RGB 出力（VGA）　1 系統	
音 声 入 力	RCA 入力　1 系統	
音 声 出 力	RCA 出力　1 系統	
圧 縮 方 式	H.264	
記 録 媒 体	HDD（1TB 内蔵）	HDD（1TB × 2 内蔵）
録画フレーム	[30]・[15]・[7]・[4]・[2]・[1]・[0]	
外部センサー入力	4 系統	4 系統 ※ CH1 と CH5、CH2 と CH6、CH3 と CH7、CH4 と CH8 連動
リレー出力	1 系統	
信 号 入 力	RS-485 入力　1 系統　※パン / チルトカメラを操作する信号入力です。	
ネットワークポート	イーサネット RJ-45　100BASE-Tx ／ 10BASE-T	
USB 端 子	USB2.0　2 系統	
マ ウ ス	USB マウス	
バックアップメディア	USBフラッシュメモリー　FAT16 ／ FAT32	
リモコン電池	単四形電池　2 本	

株式会社セレン

〒170-0013
東京都豊島区東池袋 1-11-6 相馬ビル
Tell：03-5911-1045
Fax：03-5911-1046
E-mail：info@selenguard.com
URL：http://www.selenguard.com